

vol.2

Grease Trap Catalog

グリーストラップ総合カタログ

Products
NIHON-PIT
Catalog

 **株式会社 日本ピット**

汚れの関所

配管(パイプ)・自然環境に悪影響



水は自然から与えられた私たちの財産です。
その水をキレイな水にしてかえす、それが自然へのエチケットです。

環境は人々の手で造り、人々の手で守って行く
これは人間社会へのエチケットです。

の有る物は通しません!!

CONTENTS

選定基準

- グリース阻集器の選定基準（店舗全面積に基づく選定方法）… 3
- グリース阻集器の選定基準（利用人数に基づく選定方法）…… 7

グリーストラップ

- FRP製 グリーストラップ（深型） …………… 14
- パイプ流入床置き型（食器洗いシンク用）グリーストラップ … 19
- FRP製 カサ上げ …………… 21
- SUS製 グリーストラップ（深型） …………… 23
- FRP製 側溝流入床吊り型グリーストラップ …………… 27
- SUS製 側溝流入床吊り型グリーストラップ …………… 29
- 大型グリーストラップ（FRP・SUS） …………… 31

耐火型

- FRP製 耐火型グリーストラップ（タイカラップ-F） …………… 35
- SUS製 耐火型グリーストラップ（タイカラップ-S） …………… 37

浅型

- FRP製 浅型阻集器 …………… 43
- SUS製 浅型阻集器 …………… 50
- MO型標準適合機種表 …………… 57

備考

- 各種掃除用具…………… 58
- 各阻集器の保守管理について …………… 59



JP 式グリース阻集器の選定基準 (厨房を含む店舗全面積に基づく選定方法)

1. 選 定 法 (空気調和・衛生工学会規格、SHASE - S217-2008 抜粋)

PP式グリース阻集器の選定は、一般にちゅう房を含む店舗全面積(以下、店舗全面積という)に基づく選定方法を用います。

- (1) 2および3に示す計算法によって、流入流量および阻集グリース 及びたい積残さの質量をもとめる。
- (2) SHASE - S217-2008 に基づいて表示された許容流入流量および標準阻集グリースの質量が、2および3の計算によって求めたそれぞれの値以上となる阻集器を選定する。(表一 1 に示す)

2. 流入流量の計算法

流入流量は、式Aによって求める。

$$Q = Aw_m \times \frac{n}{n_o} \times \frac{1}{t} k \quad \dots\dots\dots A$$

ここに、

- Q : 流入流量 [ℓ / min]
 A : ちゅう房を含む店舗全面積 (以下、店舗全面積という) [m^2]
 w_m : 店舗全面積 $1m^2 \cdot 1日$ あたりの使用水量 (標準値を表一 3 に示す) [ℓ / ($m^2 \cdot 日$)]
 n : 回転数 [1席・1日あたりの利用人数]
 (標準値を表一 2 に示す。なお、受渡当時者間の打ち合わせにより定めてもよい) [人 / (席・日)]
 n_o : 補正回転数 (標準値を表一 4 に示す) [人 / (席・日)]
 t : 1日あたりのちゅう房使用時間 (標準値を表一 3 に示す) [min / (日)]
 k : 危険率を用いて定めたときの流量の平均流量に対する倍率 (標準値を表一 3 に示す) [倍]

3. 阻集グリース 及びたい積残さの質量の計算法

阻集グリース 及びたい積残さの質量は、式Bによって求める。

$$G = G_u + G_b \quad \dots\dots\dots B$$

ここに、

- G : 阻集グリース 及びたい積残さの質量 (Kg)
 G_u : 阻集グリースの質量 (Kg)
 G_b : たい積残さの質量 (Kg)

3.1 阻集グリースの質量

阻集グリースの質量は、式Cによって求める。

$$G_u = Ag_u \times \frac{n}{n_o} \times i_u C_2 \quad \dots\dots\dots C$$

ここに、

- G_u : 阻集グリースの質量 [Kg]
 A : 店舗全面積 [m^2]
 g_u : 店舗全面積 $1m^2 \cdot 1日$ あたりの阻集グリースの質量 (標準値を表一 3 に示す) [g / ($m^2 \cdot 日$)]
 n : 回転数 [1席・1日あたりの利用人数]
 (標準値を表一 2 に示す。なお、受渡当時者間の打ち合わせにより定めてもよい) [人 / (席・日)]
 n_o : 補正回転数 (標準値を表一 4 に示す) [人 / (席・日)]
 i_u : 阻集グリースの掃除周期 (受渡し当事者間の打合せによる) [日]
 c_2 : 定数 (= 10^{-3}) [Kg / g]

3.2 たい積残さの質量

たい積残さの質量は、式Dによって求める。

$$G_b = Ag_b \times \frac{n}{n_o} \times i_b C_2 \quad \dots\dots\dots D$$

ここに、

- G_b : たい積残さの質量 [Kg]
 A : 店舗全面積 [m^2]
 g_b : 店舗全面積 $1m^2 \cdot 1日$ あたりのたい積残さの質量 (標準値を表一 3 に示す) [g / ($m^2 \cdot 日$)]
 n : 回転数 [1席・1日あたりの利用人数]
 (標準値を表一 2 に示す。なお、受渡当時者間の打ち合わせにより定めてもよい) [人 / (席・日)]
 n_o : 補正回転数 (標準値を表一 4 に示す) [人 / (席・日)]
 i_b : たい積残さの掃除周期 (受渡し当事者間の打合せによる) [日]
 c_2 : 定数 (= 10^{-3}) [Kg / g]

表-1 グリース阻集器性能一覧表

グリース阻集器型式		実容量 (ℓ)	許容流入流量 (ℓ/min)	標準阻集 グリース量 (kg)	最大阻集 グリース量 (kg)
FRP製	ステンレス製				
	JP-SR-425F	15	11.3	3.5	3.9
	JP-SR-530F	30	22.5	7	7.9
JP-TOSC-840H		38	28.5	8.9	10
JP-P-630H, JP-PR-630H, JP-PX-630PH		50	37.5	11.8	12.5
	JP-S-630H, JP-SR-630H, JP-GXS-630PH	54	40.5	12.7	13
JP-TOSC-1050H		56	42	13.2	14.7
JP-P-735H, JP-PR-735H, JP-PX-735PH		75	56.3	17.7	18.6
	JP-S-735H, JP-SR-735H, JP-GXS-735PH	78	58.5	18.4	18.6
JP-TOSC-1260H		83	62.3	19.6	21.7
JP-P-840H, JP-PR-840H, JP-PX-840PH		100	75	23.6	24.8
	JP-S-840H, JP-SR-840H, JP-GXS-840PH	100	75	23.6	24.5
JP-TOSC-1560H		105	78.8	24.8	27.5
	JP-S-945H, JP-SR-945H, JP-GXS-945PH	140	105	33	33.6
JP-P-945H, JP-PR-945H, JP-PX-945PH		150	112.5	35.4	36.8
	JP-S-1050H, JP-SR-1050H, JP-GXS-1050PH	180	135	42.5	45
JP-G-1050H, JP-GR-1050H, JP-GX-1050PH		190	142.5	44.9	47.7
JP-G-1260H, JP-GR-1260H, JP-GX-1260PH		270	202.5	63.7	66.3
	JP-S-1260H, JP-SR-1260H, JP-GXS-1260PH	270	202.5	63.7	64.6
JP-G-1470H, JP-GR-1470H, JP-GX-1470PH		390	292.5	92.1	97.8
	JP-S-1470H, JP-SR-1470H, JP-GXS-1470PH	390	292.5	92.1	99.1
	JP-JIA-I-500T-PI	500	375	118	118
	JP-JIA-I-800T-PI	800	600	189	189
	JP-JIA-I-1000T-PI	1000	750	236	236

表-2 回転数の標準値

食 種		回転数の基準値 〔人／席・日〕
営業用ちゅう房	中 国 (中 華) 料 理	5.0
	洋 食	4.5
	和 食	5.0
	ラーメン・そば・うどん	5.0
	軽 食	7.0
	喫 茶	8.0
	ファーストフード	8.0
社員・従業員用ちゅう房		4.0

表-3 各 因 子 の 標 準 値

食 種		因 子	w_m 店舗全面積 1㎡・1日あた りの使用水量 〔ℓ／(㎡・日)〕	t 1日あたりの ちゅう房 使用時間 〔min／日〕	k 危険率を用いて 定めたときの流 量の平均流量に 対する倍率 〔倍〕	g_a 1㎡・1日あたり の阻集グリース の 質 量 〔g／(㎡・日)〕	g_b 1㎡・1日あたり のたい積残さ の 質 量 〔g／(㎡・日)〕
営業用ちゅう房	中 国 (中 華) 料 理		130	720	3.5	18.0	8.0
	洋 食		95			9.0	3.5
	和 食		100			7.0	2.5
	そ ば ・ う ど ん		150			9.0	3.0
	ラ ー メ ン		150			19.5	7.5
	軽 食		90			6.0	2.0
	喫 茶		85			3.5	1.5
	ファーストフード		20			3.0	1.0
社員・従業員用ちゅう房			90	600		6.5	3.0

注 * 1日あたりの使用時間が前もってわかっている場合は、その時間を1日あたりのちゅう房使用時間としてもよい。

表-4 補正回転数の標準値

食 種		補正回転数 〔人／（席・日）〕																
		ちゅう房を含む店舗全面積 〔㎡〕																
		25㎡	50㎡	75㎡	100㎡	125㎡	150㎡	175㎡	200㎡	250㎡	300㎡	400㎡	500㎡	600㎡	700㎡	800㎡	1000㎡	1500㎡
営業用ちゅう房	中 国（中 華） 料 理	—	—	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	—	—	—	—	—	—
	洋 食	—	—	—	2.0	2.1	2.3	2.4	2.6	2.8	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4	—	—
	和 食	—	—	2.1	2.3	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.2	—	—	—	—	—	—
	ラーメン・そば・うどん	—	2.9	3.5	4.1	4.4	4.8	5.0	5.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	軽 食	3.3	4.2	4.4	4.7	4.8	4.9	4.9	5.0	5.1	—	—	—	—	—	—	—	—
	喫 茶	3.7	4.7	5.3	5.7	5.9	6.0	6.1	6.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フ ァ ー ス ト フ ード		3.3	4.2	4.4	4.7	4.8	4.9	4.9	5.0	5.1	—	—	—	—	—	—	—	—
社員 従業員用ちゅう房		—	—	—	—	—	2.4	2.6	2.8	3.0	3.3	3.6	3.8	3.9	4.1	4.2	4.3	4.5

注 * ちゅう房を含む店舗全面積が、表中の数値の間となる場合には、比例補正して求める。

〔計 算 例〕

店舗全面積 200 m²の営業用ちゅう房（洋食店）における阻集器の選定手順を示す。

なお、回転数は標準値 4.5 人 / (席・日)、阻集グリースの掃除周期は 7 日 (1 週間)、たい積残さの掃除周期は 14 日とする。

(1) 流入流量の計算

流入流量は、回転数が 4.5 人 / (席・日) であるので、式 A から次のように求められる。

$$Q = Aw_m \times \frac{n}{n_o} \times \frac{1}{t} k = 200 [\text{m}^2] \times 95 [\ell / (\text{m}^2 \cdot \text{日})] \times \frac{4.5}{2.6} \times \frac{1}{[720\text{min} / \text{日}]} \times 3.5 [\text{倍}] = 159.8 [\ell / (\text{m}^2 \cdot \text{日})]$$

(2) 阻集グリース 及びたい積残さの質量の計算

阻集グリースの質量 G_u は、阻集グリースの掃除周期が 7 日 (1 週間) であるので、式 C から次のように求められる。

$$\begin{aligned} G_u &= Ag_u \times \frac{n}{n_o} \times i_u c_2 \\ &= 200 [\text{m}^2] \times 9.0 [\text{g} / (\text{m}^2 \cdot \text{日})] \times \frac{4.5}{2.6} \times 7 [\text{日}] \times 10^{-3} [\text{kg} / \text{g}] = 21.8 [\text{kg}] \end{aligned}$$

たい積残さの質量 G_b は、たい積残さの掃除周期が 14 日であるので、式 D から次のように求められる。

$$\begin{aligned} G_b &= Ag_b \times \frac{n}{n_o} \times i_b c_2 \\ &= 200 [\text{m}^2] \times 3.5 [\text{g} / (\text{m}^2 \cdot \text{日})] \times \frac{4.5}{2.6} \times 14 [\text{日}] \times 10^{-3} [\text{kg} / \text{g}] = 17.0 [\text{kg}] \end{aligned}$$

したがって、阻集グリースおよびたい積残さの質量 G は、式 B から次のように求められる。

$$G = G_u + G_b = 21.8 + 17.0 = 38.8 [\text{kg}]$$

SHASE-S217-2008 に基づいて表示された各値が許容流入流量については 159.8 ℓ/min 同等以上、かつ標準阻集グリース量についても 38.8 Kg 同等以上の PP 式グリース阻集器を選ぶ。

決定!

FRP製グリース阻集器の場合（表-1より）

G-1260H 又は GR-1260H 又は GX-1260PH

（許容流入流量 202.5 ℓ/min、標準阻集グリース量 63.8Kg）

ステンレス製グリース阻集器の場合（表-1より）

S-1260H 又は SR-1260H 又は GXS-1260PH

（許容流入流量 202.5 ℓ/min、標準阻集グリース量 63.8Kg）

機種別性能表及び店舗面積早見表

※選定条件

- ・回転数や補正回転数、及び各因子は標準値を用いて算出しています。
- ・阻集グリースの掃除周期は7日、たい積残さの掃除周期は14日で算出しています。
- ・表内一部分は（利用人数に基づく選定方法）より選定して下さい。

FRP製埋設型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(㎡)													
JP-P(R)- 630H	50	37.5	11.8	—	—	—	—	—	51	53	209	—	P15 P18
735H	75	56.3	17.7	—	—	—	—	—	82	96	250	—	
840H	100	75	23.6	—	—	—	59	67	116	134	—	—	
945H	150	112.5	35.4	92	109	108	131	143	180	200	—	—	
JP-G(R)- 1050H	190	142.5	44.9	119	159	152	189	200	234	—	—	173	P16 P18
1260H	270	202.5	63.7	176	277	239	200	—	250	—	—	324	
1470H	390	292.5	92.1	262	439	379	—	—	—	—	—	529	

FRP製浅型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(㎡)													
JP-TOSC- 840H	38	28.5	8.9	—	—	—	—	—	33	35	154	—	P46 P49
1050H	56	42	13.2	—	—	—	—	—	58	63	238	—	
1260H	83	62.3	19.6	—	—	—	—	—	94	108	250	—	
1560H	105	78.8	24.8	—	—	—	66	75	122	142	—	—	

SUS製グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(㎡)													
JP-SR- 425F	15	11.3	3.5	—	—	—	—	—	—	—	52	—	P20
530F	30	22.5	7	—	—	—	—	—	—	25	119	—	
JP-S(R)- 630H	54	40.5	12.7	—	—	—	—	—	56	59	228	—	P24 P26
735H	78	58.5	18.4	—	—	—	—	—	86	100	250	—	
840H	100	75	23.6	—	—	—	59	67	116	134	—	—	P24 P26
945H	140	105	33	85	101	98	116	126	168	196	—	—	
1050H	180	135	42.5	112	144	142	175	188	221	200	—	154	
1260H	270	202.5	63.7	176	277	239	200	200	250	—	—	324	
1470H	390	292.5	92.1	262	439	379	—	—	—	—	—	529	
JP-JIA- 500	500	375	118	337	586	400	—	—	—	—	—	732	P33
800	800	600	189	400	996	—	—	—	—	—	—	1254	
1000	1000	750	236	—	1281	—	—	—	—	—	—	1500	

FRP製耐火型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(㎡)													
JP-PX- 630PH	50	37.5	11.8	—	—	—	—	—	51	53	209	—	P36
735PH	75	56.3	17.7	—	—	—	—	—	82	96	250	—	
840PH	100	75	23.6	—	—	—	59	67	116	134	—	—	
945PH	150	112.5	35.4	92	109	108	131	143	180	200	—	—	
JP-GX- 1050PH	190	142.5	44.9	119	159	152	189	200	234	—	—	173	P36
1260PH	270	202.5	63.7	176	277	239	200	—	250	—	—	324	
1470PH	390	292.5	92.1	282	439	379	—	—	—	—	—	529	

ステンレス製耐火型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(㎡)													
JP-GXS(R)- 630PH	54	40.5	12.7	—	—	—	—	—	56	59	228	—	P38 P40
JP-GXS(R)- 735PH	78	58.5	18.4	—	—	—	—	—	86	100	250	—	
JP-GXS(R)- 840PH	100	75	23.6	—	—	—	59	67	116	134	—	—	P38 P40
JP-GXS(R)- 945PH	140	105	33	85	101	98	116	126	168	196	—	—	
JP-GXS(R)- 1050PH	180	135	42.5	112	144	142	175	188	221	200	—	154	
JP-GXS(R)- 1260PH	270	202.5	63.7	176	277	239	200	200	250	—	—	324	
JP-GXS(R)- 1470PH	390	292.5	92.1	262	439	379	—	—	—	—	—	529	

※補正回転数は、SHASE-S217-2008 抜粋解説（面積ごとの）算出式より算出した値を使用しております。

許容流入流量及び標準阻集グリース量を算出し、どちらの値も上回る容量を選定しております。

選定基準

JP 式グリース阻集器の選定基準 (利用人数に基づく選定方法)

1. 選 定 法 (空気調和・衛生工学会規格、SHASE - S217-2008 抜粋)

利用人数が判明している場合には、利用人数に基づく選定方法を用いる事も可能です。

- (1) 2および3に示す計算法によって、流入流量および阻集グリース 及びたい積残さの質量をもとめる。
- (2) SHASE - S217-2008 に基づいて表示された許容流入流量および標準阻集グリースの質量が、2および3の計算によって求めたそれぞれの値以上となる阻集器を選定する。(表-1 に示す)

2. 流入流量の計算法

流入流量は、式Aによって求める。

$$Q = NW_m \times \frac{1}{t} k \quad \dots\dots\dots A$$

ここに、

- Q : 流入流量 [L / min]
- N : 1日当たりの利用人数 [人 / 日]
- W_m : 利用人数 1 人当たりの使用水量 (標準値を表-5に示す) [L / 日]
- t : 1日あたりのちゅう房使用時間 (標準値を表-5に示す) [min / 日]
- k : 危険率を用いて定めたときの流量の平均流量に対する倍率 (標準値を表-5に示す) [倍]

3. 阻集グリース 及びたい積残さの質量の計算法

阻集グリース 及びたい積残さの質量は、式Bによって求める。

$$G = G_u + G_b \quad \dots\dots\dots B$$

ここに、

- G : 阻集グリース 及びたい積残さの質量 (Kg)
- G_u : 阻集グリースの質量 (Kg)
- G_b : たい積残さの質量 (Kg)

3.1 阻集グリースの質量

阻集グリースの質量は、式Cによって求める。

$$G_u = Ng_u \times i_u C_2 \quad \dots\dots\dots C$$

ここに、

- G_u : 阻集グリースの質量 [Kg]
- N : 1日当たりの利用人数 [人 / 日]
- g_u : 利用人数 1 人当たりの阻集グリースの質量 (標準値を表-5に示す) [g / 人]
- i_u : 阻集グリースの掃除周期 (受渡し当事者間の打合せによる) [日]
- c₂ : 定数 (=10⁻³) [Kg / g]

3.2 たい積残さの質量

たい積残さの質量は、式Dによって求める。

$$G_b = Ng_b \times i_b C_2 \quad \dots\dots\dots D$$

ここに、

- G_b : たい積残さの質量 [Kg]
- N : 1日当たりの利用人数 [人 / 日]
- g_b : 利用人数 1 人当たりのたい積残さの質量 (標準値を表-5に示す) [g / 人]
- i_b : たい積残さの掃除周期 (受渡し当事者間の打合せによる) [日]
- c₂ : 定数 (=10⁻³) [Kg / g]

表-1 グリース阻集器性能一覧表

グリース阻集器型式		実容量	許容流入流量	標準阻集グリース量	最大阻集グリース量
FRP製	ステンレス製	(ℓ)	(ℓ/min)	(kg)	(kg)
	JP-SR-425F	15	11.3	3.5	3.9
	JP-SR-530F	30	22.5	7	7.9
JP-TOSC-840H		38	28.5	8.9	10
JP-P-630HJP-PR-630HJP-PX-630PH		50	37.5	11.8	12.5
	JP-S-630HJP-SR-630HJP-GXS-630PH	54	40.5	12.7	13
JP-TOSC-1050H		56	42	13.2	14.7
JP-P-735HJP-PR-735HJP-PX-735PH		75	56.3	17.7	18.6
	JP-S-735HJP-SR-735HJP-GXS-735PH	78	58.5	18.4	18.6
JP-TOSC-1260H		83	62.3	19.6	21.7
JP-P-840HJP-PR-840HJP-PX-840PH		100	75	23.6	24.8
	JP-S-840HJP-SR-840HJP-GXS-840PH	100	75	23.6	24.5
JP-TOSC-1560H		105	78.8	24.8	27.5
	JP-S-945HJP-SR-945HJP-GXS-945PH	140	105	33	33.6
JP-P-945HJP-PR-945HJP-PX-945PH		150	112.5	35.4	36.8
	JP-S-1050HJP-SR-1050HJP-GXS-1050PH	180	135	42.5	45
JP-G-1050HJP-GR-1050HJP-GX-1050PH		190	142.5	44.9	47.7
JP-G-1260HJP-GR-1260HJP-GX-1260PH		270	202.5	63.7	66.3
	JP-S-1260HJP-SR-1260HJP-GXS-1260PH	270	202.5	63.7	64.6
JP-G-1470HJP-GR-1470HJP-GX-1470PH		390	292.5	92.1	97.8
	JP-S-1470HJP-SR-1470HJP-GXS-1470PH	390	292.5	92.1	99.1
	JP-JIA-I-500T-PI	500	375	118	118
	JP-JIA-I-800T-PI	800	600	189	189
	JP-JIA-I-1000T-PI	1000	750	236	236

表-5 各因子の標準値

食 種		因子	w_m 利用人数1人 当たりの 使用水量 [L/人]	t 1日当たりの ちゅう房 使用時間 [min/日]	k 危険率を用いて 定めたときの流 量の平均流量に 対する倍率 [倍]	g_a 利用人数1人 当たりの阻集 グリースの質量 [g/人]	g_b 利用人数1人 当たりのたい積 残さの質量 [g/人]
営業用ちゅう房	中 国 (中 華) 料 理		80	720	3.5	11.0	5.0
	洋 食		80			8.0	3.0
	和 食		80			5.5	2.0
	ラ ー メ ン		50			6.5	2.5
	そば・うどん		50			3.0	1.0
	軽 食		45			1.0	0.5
	喫 茶		25			1.5	0.5
	ファーストフード		10			3.5	1.5
社員・従業員用ちゅう房			50	600			

注 * 1日あたりの使用時間が前もってわかっている場合は、その時間を1日あたりのちゅう房使用時間としてもよい。

〔計 算 例〕

1日当たりの利用人数が100人の営業用厨房(中国・中華料理店)における阻集器の選定手順を示す。
なお、阻集グリースの掃除周期は7日(1週間)、たい積残さの掃除周期は14日とする。

(1) 流入流量の計算

流入流量は、式 A から次のように求められる。

$$Q = NW_m \times \frac{1}{t} k = 100 [\text{人/日}] \times 80 [\ell/\text{min}] \times \frac{1}{[720\text{min/日}]} \times 3.5 [\text{倍}] = 38.9 [\ell/\text{min}]$$

(2) 阻集グリース及びたい積残さの質量の計算

阻集グリースの質量 G_u は、阻集グリースの掃除周期が7日(1週間)であるので、式 C から次のように求められる。

$$G_u = Ng_u \times i_u C_2 \\ = 100 [\text{人/日}] \times 11.0 [\text{g/人}] \times 7 [\text{日}] \times 10^{-3} [\text{kg/g}] = 7.7 [\text{kg}]$$

たい積残さの質量 G_b は、たい積残さの掃除周期が14日であるので、式 D から次のように求められる。

$$G_b = Ng_b \times i_b C_2 \\ = 100 [\text{人/日}] \times 5.0 [\text{g/人}] \times 14 [\text{日}] \times 10^{-3} [\text{kg/g}] = 7.0 [\text{kg}]$$

したがって、阻集グリースおよびたい積残さの質量 G は、式 B から次のように求められる。

$$G = G_u + G_b = 7.7 + 7.0 = 14.7 [\text{kg}]$$

SHASE-S217-2008 に基づいて表示された各値が許容流入流量については 38.9 ℓ/min 同等以上、かつ標準阻集グリース量についても 14.7 Kg 同等以上の PP 式グリース阻集器を選ぶ。

決定!

FRP製グリース阻集器の場合 (表-1より)

P-735H又はPR-735H又はP-735PH又はPX-735H

(許容流入流量 56.3 ℓ/min、標準阻集グリース量 17.7 Kg)

TOSC-1260H (許容流入流量 62.3 ℓ/min 標準阻集グリース量 19.6 Kg)

ステンレス製グリース阻集器の場合 (表-1より)

S-735H又はSR-735H又はGXS-735PH

(許容流入流量 58.5 ℓ/min、標準阻集グリース量 18.4 Kg)

機種別性能表及び店舗面積早見表

※選定条件

- ・回転数や補正回転数、及び各因子は標準値を用いて算出しています。
- ・阻集グリースの掃除周期は7日、たい積残さの掃除周期は14日で算出しています。

FRP製埋設型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(人/日)													
JP-P(R)- 630H	50	37.5	11.8	80	96	96	145	154	171	308	671	128	P15 P18
735H	75	56.3	17.7	120	144	144	219	231	257	468	1009	193	
840H	100	75	23.6	160	192	192	292	308	342	617	1342	257	
945H	150	112.5	35.4	240	289	289	439	462	514	925	2019	385	
JP-G(R)- 1050H	190	142.5	44.9	304	366	366	556	586	651	1172	2557	488	P16 P18
1260H	270	202.5	63.8	432	520	520	791	833	925	1666	3638	694	
1470H	390	292.5	92.1	625	752	752	1142	1203	1337	2406	5257	1002	

FRP製浅型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(人/日)													
JP-TOSC- 840H	38	28.5	8.98	60	73	73	109	117	130	234	504	97	P46 P49
1050H	56	42	13.2	89	108	108	162	172	192	345	752	144	
1260H	83	62.3	19.6	132	160	160	242	256	284	512	1114	213	
1560H	105	78.8	24.8	168	202	202	307	324	360	648	1414	270	

SUS製グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(人/日)													
JP-SR- 425F	15	11.25	3.5	23	28	28	42	46	51	92	200	38	P20
530F	30	22.5	7	47	57	57	85	92	102	185	400	77	
JP-S(R)- 630H	54	40.5	12.7	85	104	104	157	166	185	333	723	138	P24 P26
735H	78	58.5	18.4	124	150	150	228	240	267	481	1047	200	
840H	100	75	23.6	160	192	192	292	308	342	617	1342	257	P24 P26
945H	140	105	33	224	270	270	408	432	480	864	1885	360	
1050H	180	135	42.5	288	347	347	527	555	617	1110	2428	462	
1260H	270	202.5	63.8	432	520	520	791	833	925	1666	3638	694	
1470H	390	292.5	92.1	625	752	752	1142	1203	1337	2406	5257	1002	
JP-JIA- 500	500	375	118	802	964	964	1465	1542	1714	3085	6742	1285	P33
800	800	600	189	1285	1542	1542	2347	2468	2742	4937	10800	2057	
1000	1000	750	236	1606	1928	1928	2934	3085	3428	6171	13495	2571	

FRP製耐火型グリーストラップ

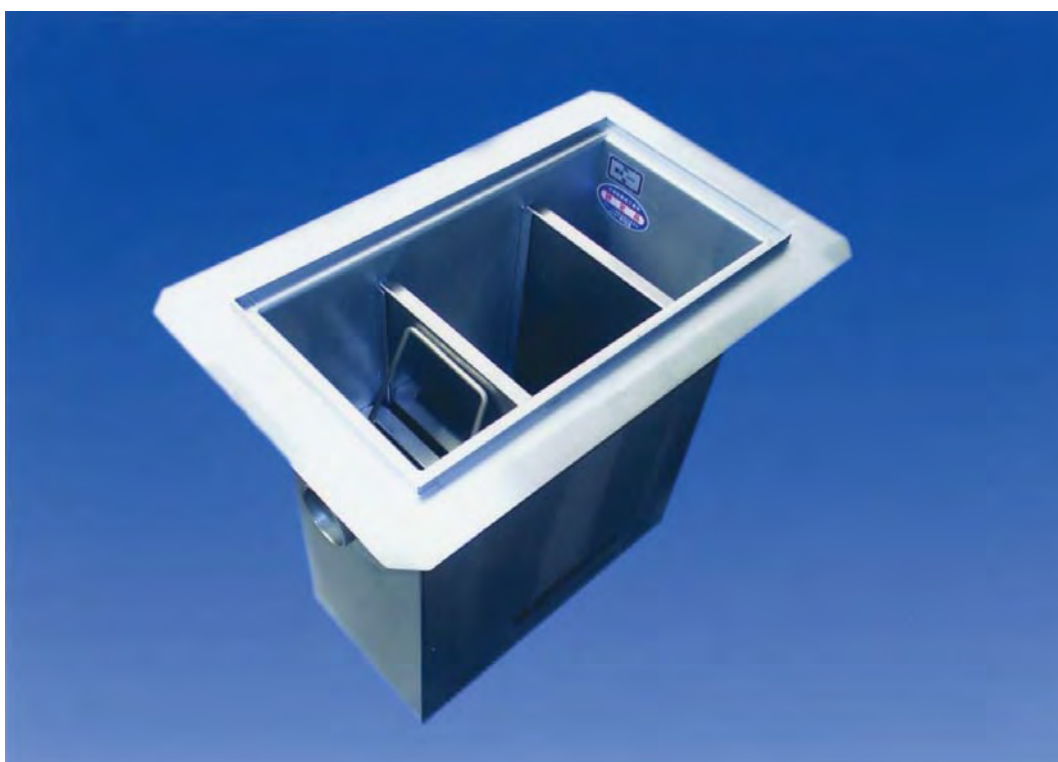
項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(人/日)													
JP-PX- 630PH	50	37.5	11.8	80	96	96	145	154	171	308	671	128	P36
735PH	75	56.3	17.7	120	144	144	219	231	257	468	1009	193	
840PH	100	75	23.6	160	192	192	292	308	342	617	1342	257	
945PH	150	112.5	35.4	240	289	289	439	462	514	925	2019	385	
JP-GX- 1050PH	190	142.5	44.9	304	366	366	556	586	651	1172	2557	488	P36
1260PH	270	202.5	63.8	432	520	520	791	833	925	1666	3638	694	
1470PH	390	292.5	92.1	625	752	752	1142	1203	1337	2406	5257	1002	

ステンレス製耐火型グリーストラップ

項目 型番	実容量 (ℓ)	許容流入 流量 (ℓ)	標準阻集 グリース量 (kg)	中国料理	洋食	和食	ラーメン	そば・うどん	軽食	喫茶	ファーストフード	社員・従業員 厨房	ページ数 (R)
(人/日)													
JP-GXS(R)- 630PH	54	40.5	12.7	85	104	104	157	166	185	333	723	138	P38 P40
JP-GXS(R)- 735PH	78	58.5	18.4	124	150	150	228	240	267	481	1047	200	
JP-GXS(R)- 840PH	100	75	23.6	160	192	192	292	308	342	617	1342	257	P38 P40
JP-GXS(R)- 945PH	140	105	33	224	270	270	408	432	480	864	1885	360	
JP-GXS(R)- 1050PH	180	135	42.5	288	347	347	527	555	617	1110	2428	462	
JP-GXS(R)- 1260PH	270	202.5	63.8	432	520	520	791	833	925	1666	3638	694	
JP-GXS(R)- 1470PH	390	292.5	92.1	625	752	752	1142	1203	1337	2406	5257	1002	

※許容流入流量及び標準阻集グリース量を算出し、どちらの値も上回る容量を選定しております。

選
定
基
準



JP-SR 型 (P25～P26を御参照下さい。)

JP式

FRP・SUS製 グリーストラップ

FRP製側溝流入地中埋設型

施工例	P14
50ℓ～150ℓ (JP-P-B)	P15
50ℓ～150ℓ (JP-P-H)	P15
190ℓ～390ℓ (JP-G-H)	P16

FRP製パイプ流入地中埋設型

施工例	P17
50ℓ～150ℓ (JP-PR-B)	P18
50ℓ～150ℓ (JP-PR-H)	P18
190ℓ～390ℓ (JP-GR-H)	P18

FRP・SUS製床置型

施工例	P19
15ℓ～30ℓ (JP-GR-F)(JP-SR-F)	P20

FRP製カサ上げ

P21

SUS製側溝流入地中埋設型

施工例	P23
54ℓ～78ℓ (JP-S-H)	P24
100ℓ～390ℓ (JP-S-H)	P24

SUS製パイプ流入地中埋設型

施工例	P25
54ℓ～78ℓ (JP-SR-H)	P26
100ℓ～390ℓ (JP-SR-H)	P26

FRP製側溝流入床吊型

施工例	P27
50ℓ～150ℓ (JP-P-PH)	P28
190ℓ～390ℓ (JP-G-PH)	P28

SUS製側溝流入床吊型

施工例	P29
54ℓ～78ℓ (JP-S-PH)	P30
100ℓ～390ℓ (JP-S-PH)	P30

FRP・SUS製大型

施工例	P31
FRP製 ～ 3000ℓ	P32
SUS製 ～ 1000ℓ	P33

FRP製

特 長

安 い

徹底した原価管理により、高品質・低価格を実現!!

軽くて据付が簡単

軽量かつコンパクト! どんな場所にでも簡単に据付可能!
工事費削減 OK!!

掃除が簡単

各部分が脱着可能なので掃除が簡単です!!

グリースの阻集効率バツゲン

自然環境を守り、悪影響のある物は通しません。汚れの関所としての仕事をします。

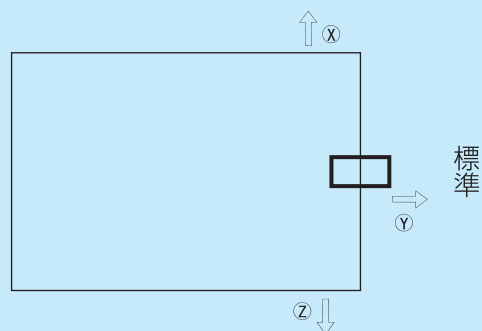
錆びない、腐らない

本体、整流板はFRP（強化プラスチック）で耐蝕性にすぐれ、半永久的な強さを誇ります。

●JP式 FRP製 側溝流入地中埋設型 グリーストラップ



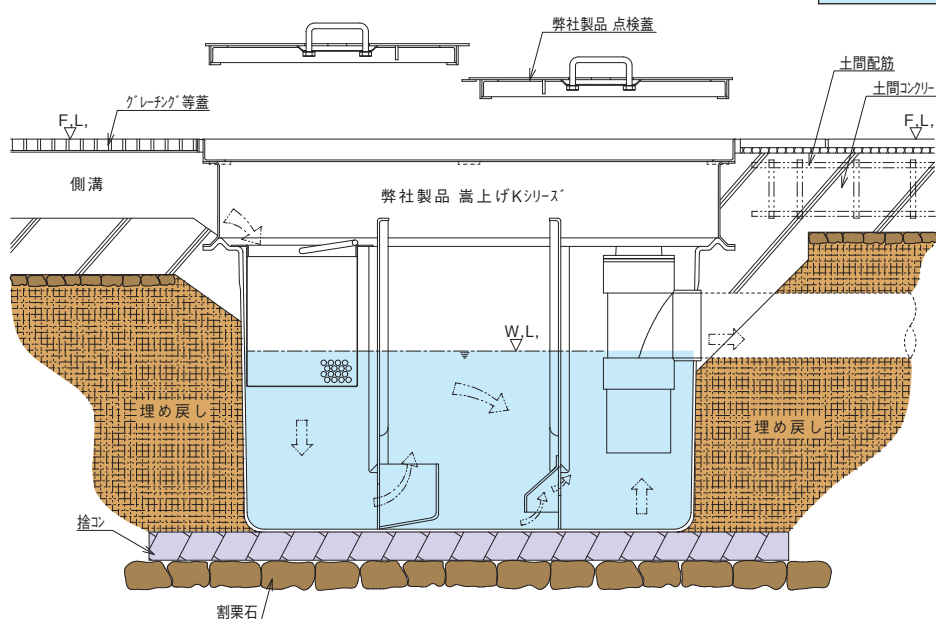
パイプ流出口 位置



*標準品は、③方向となっておりますが、
①または②方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

FRP製グリース阻集器標準推奨施工例 (側溝流入地中埋設型)

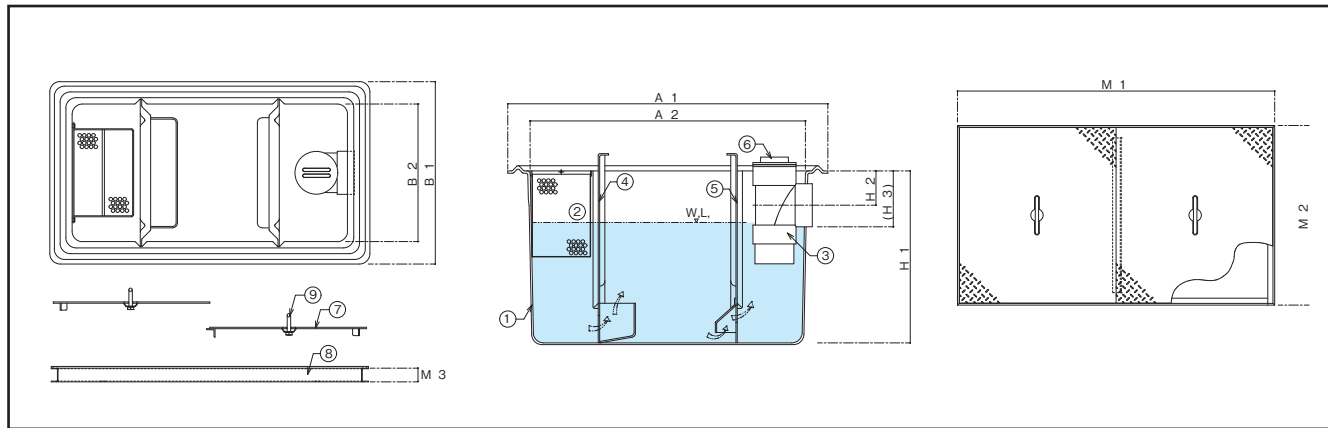


施工手順

- 本体に合わせて土間掘削
(湧水のある場合矢板施工で安全確保の事)
- 割栗(砕石)・付き固め
- 捨コンクリート打設(≒10cm)
(地盤が強い場合は不要)
- 阻集器搬入
- 阻集器据付
- レベル調整・芯出し
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 埋め戻し・転圧
(整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、槽内に水を溜めながら、若しくは張木をしてから埋め戻しの事)
- かさ上げ部分設置
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、枠部分のねじれに注意の事)
- 土間配筋
- 土間コンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

FRP 製 側溝流入地中埋設型グリーストラップ

50ℓ～150ℓ（Bタイプ）



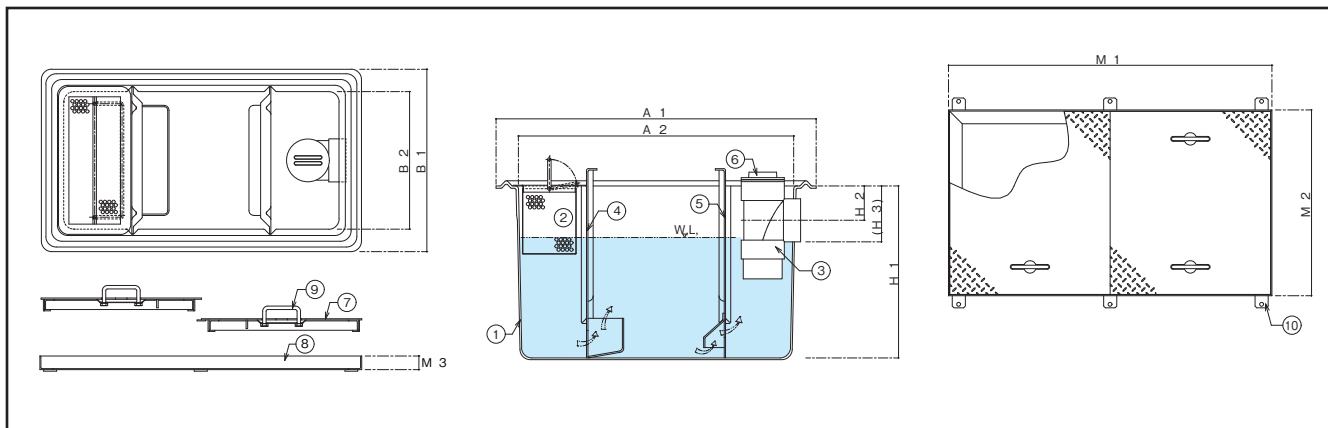
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法							点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-P-630B	50	3	75	710	600	410	300	450	100	(148)	8	712	412	45	1
JP-P-735B	75	3	75	820	700	470	350	500	130	(178)	10	822	472	45	2
JP-P-840B	100	3	100	930	800	530	400	500	100	(162)	13	922	522	45	2
JP-P-945B	150	3	100	1030	900	580	450	550	100	(162)	18	1022	572	45	2

※（ ）内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS304 / 10×4φ×6P
③	流出口(排水トラップ)	塩ビ DT
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	掃除口	塩ビ CO
⑦	点検蓋	シマ板
⑧	点検蓋用枠	チャンネル
⑨	落込式取手	10φ

FRP 製 側溝流入地中埋設型グリーストラップ

50ℓ～150ℓ



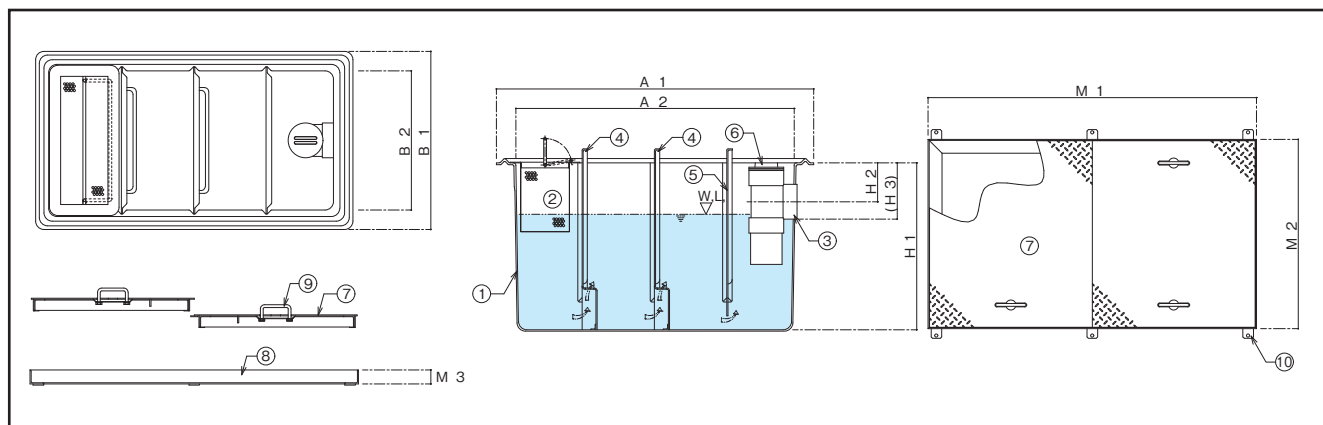
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法							点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-P-630H	50	3	75	710	600	410	300	450	100	(148)	9	720	420	30	1
JP-P-735H	75	3	75	820	700	470	350	500	130	(178)	11	850	500	40	2
JP-P-840H	100	3	100	930	800	530	400	500	100	(162)	14	940	540	40	2
JP-P-945H	150	3	100	1030	900	580	450	550	100	(162)	19	1040	590	40	2

※（ ）内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS304 / 10×4φ×6P
③	流出口(排水トラップ)	塩ビ DT
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	掃除口	塩ビ CO
⑦	点検蓋	シマ板
⑧	点検蓋用枠	L アングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	アンカー-用固定金具	FB-38(40)X4.5t

FRP 製 側溝流入地中埋設型グリーストラップ

190ℓ～390ℓ



品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法							点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-G-1050H	190	4	100	1140	1000	640	500	600	140	(202)	35	1180	680	50	2
JP-G-1260H	270	4	125	1340	1200	740	600	600	140	(215)	45	1390	790	50	3
JP-G-1470H	390	5	125	1540	1400	840	700	650	175	(250)	55	1580	880	50	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS304パンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流出口(排水トラップ)	塩ビ DT
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	掃除口	塩ビ CO
⑦	点検蓋	シマ板
⑧	点検蓋用枠	Lアングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-G-1050HとJP-G-1260Hは整流板が3枚、JP-G-1470Hは整流板が4枚になります。

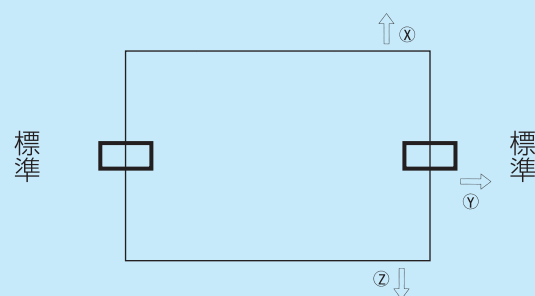


FRP 製 大型グリーストラップ JP-GR型 (P31～P33を御参照下さい。)

●JP式 FRP製 パイプ流入地中埋設型 グリーストラップ



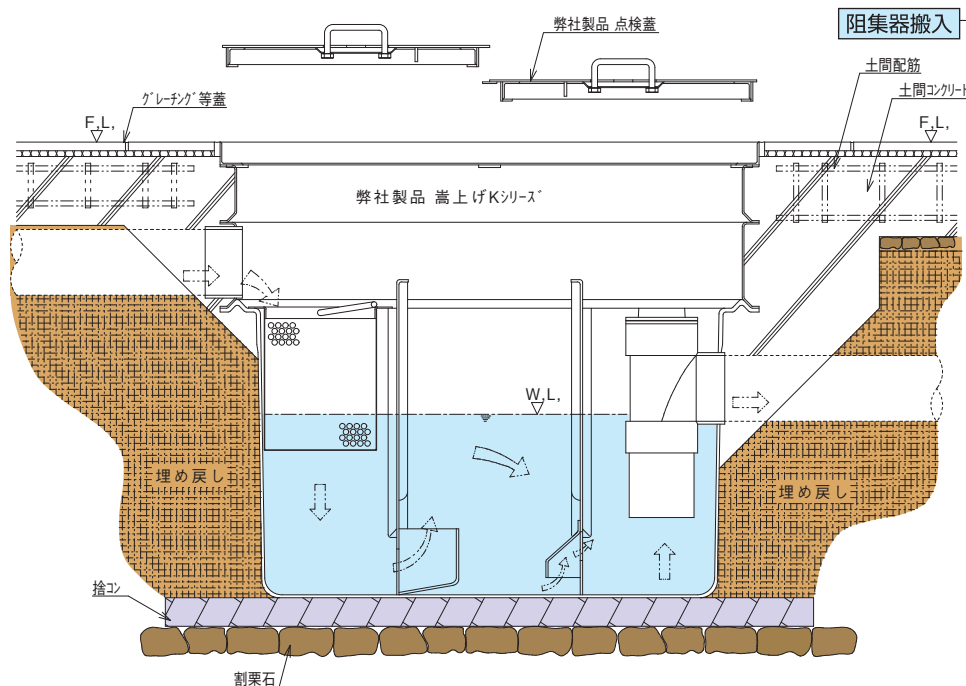
パイプ流入・流出口 位置



流出口変更も可能です。
各種変更の場合、方向・口径・価格等
御確認下さい。

施工図

FRP製グリース阻集器標準推奨施工例 (パイプ流入地中埋設型)

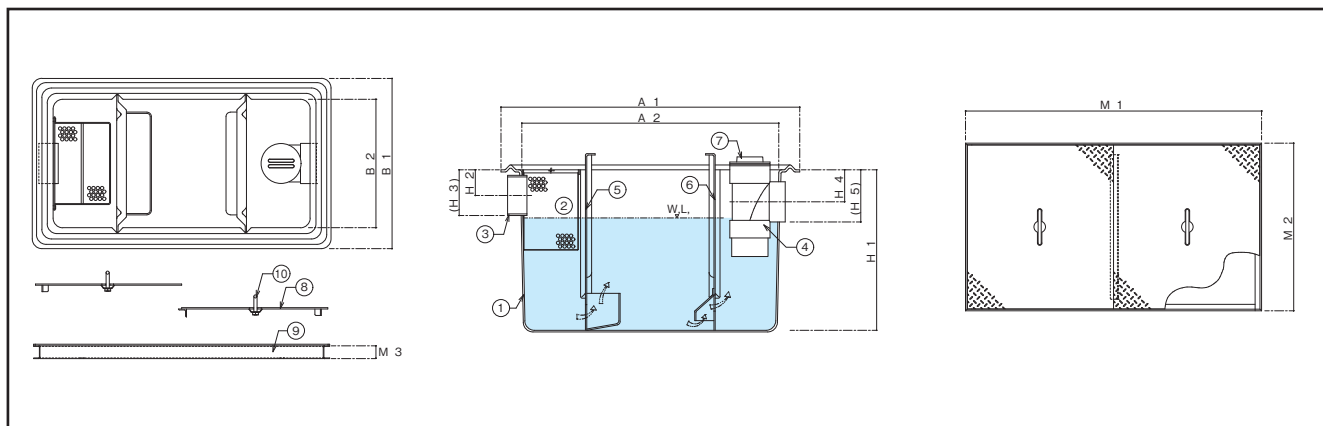


施工手順

- 本体に合わせて土間掘削
(湧水のある場合矢板施工で安全確保の事)
- 割栗(砕石)・付き固め
- 捨コンクリート打設(≒10cm)
(地盤が強い場合は不要)
- 阻集器据付
- レベル調整・芯出し
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 埋め戻し・転圧
(整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、槽内に水を溜めながら、若しくは張木をしてから埋め戻しの事)
- かさ上げ部分設置
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、枠部分のねじれに注意の事)
- 土間配筋
- 土間コンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

FRP 製 パイプ流入地中埋設型グリーストラップ

50ℓ～150ℓ (Bタイプ)



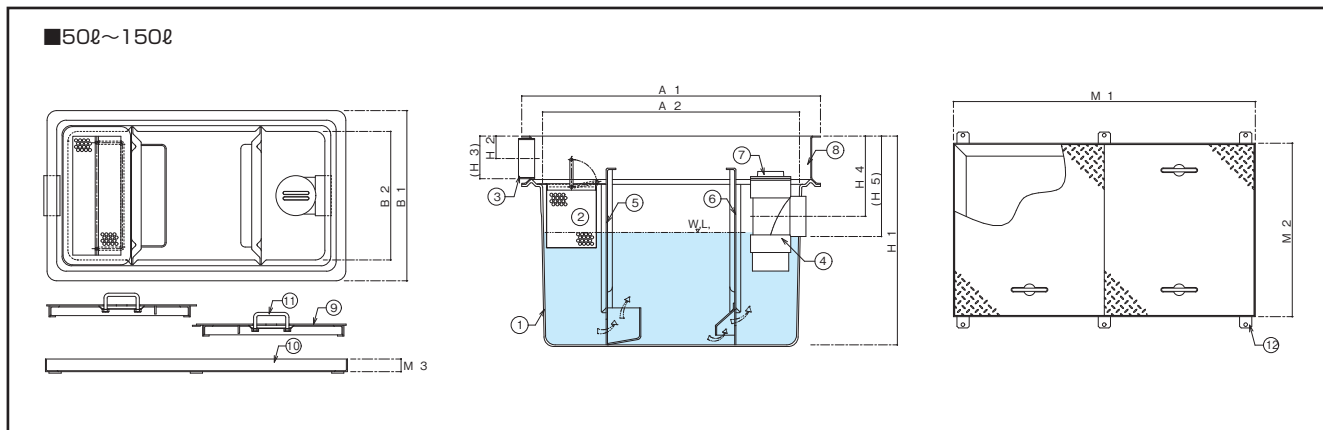
品 番	容量 ℓ	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-PR-630B	50	3	75	710	600	410	300	450	65	(113)	100	(148)	8	712	412	45	1
JP-PR-735B	75	3	75	820	700	470	350	500	65	(113)	130	(178)	10	822	472	45	2
JP-PR-840B	100	3	100	930	800	530	400	500	80	(142)	100	(162)	13	922	522	45	2
JP-PR-945B	150	3	100	1030	900	580	450	550	80	(142)	100	(162)	18	1022	572	45	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	FRP
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 入 口	塩ビ DS
④	流出口(排水トラップ)	塩ビ DT
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	掃 除 口	塩ビ CO
⑧	点 検 蓋	シマ板
⑨	点検蓋用枠	チャンネル
⑩	落込式取手	10φ

FRP 製 パイプ流入地中埋設型グリーストラップ

50ℓ～150ℓ・190ℓ～390ℓ



■50ℓ～150ℓ

品 番	容量 ℓ	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-PR-630H	50	3	75	710	600	410	300	600	80	(128)	250	(298)	10	720	420	30	1
JP-PR-735H	75	3	75	820	700	470	350	650	80	(128)	280	(328)	12.5	850	500	40	2
JP-PR-840H	100	3	100	930	800	530	400	650	70	(132)	250	(312)	16	940	540	40	2
JP-PR-945H	150	3	100	1030	900	580	450	700	70	(132)	250	(312)	22	1040	590	40	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	FRP
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 入 口	塩ビ DS
④	流出口(排水トラップ)	塩ビ DT
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	掃 除 口	塩ビ CO
⑧	かさ上げ	FRP
⑨	点 検 蓋	シマ板
⑩	点検蓋用枠	Lアングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-GR-1050HとJP-GR-1260Hは整流板が3枚、JP-GR-1470Hは整流板が4枚になります。

■190ℓ～390ℓ

品 番	容量 ℓ	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-GR-1050H	190	4	100	1140	1000	640	500	600	80	(142)	140	(202)	35	1180	680	50	2
JP-GR-1260H	270	4	125	1340	1200	740	600	600	100	(175)	140	(215)	45	1390	790	50	3
JP-GR-1470H	390	5	125	1540	1400	840	700	650	100	(175)	175	(250)	55	1580	880	50	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

● JP式

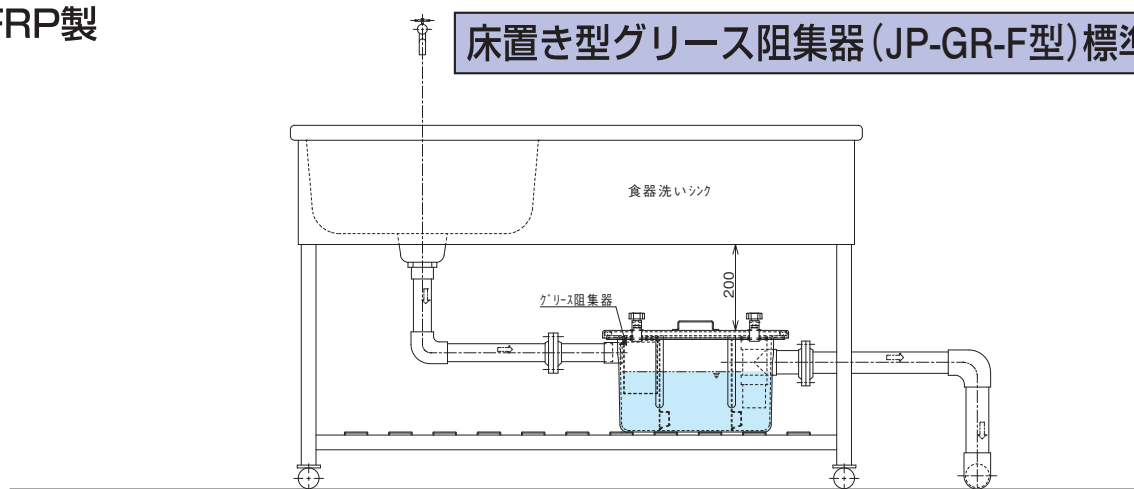
FRP製・SUS製

床置型グリーストラップ



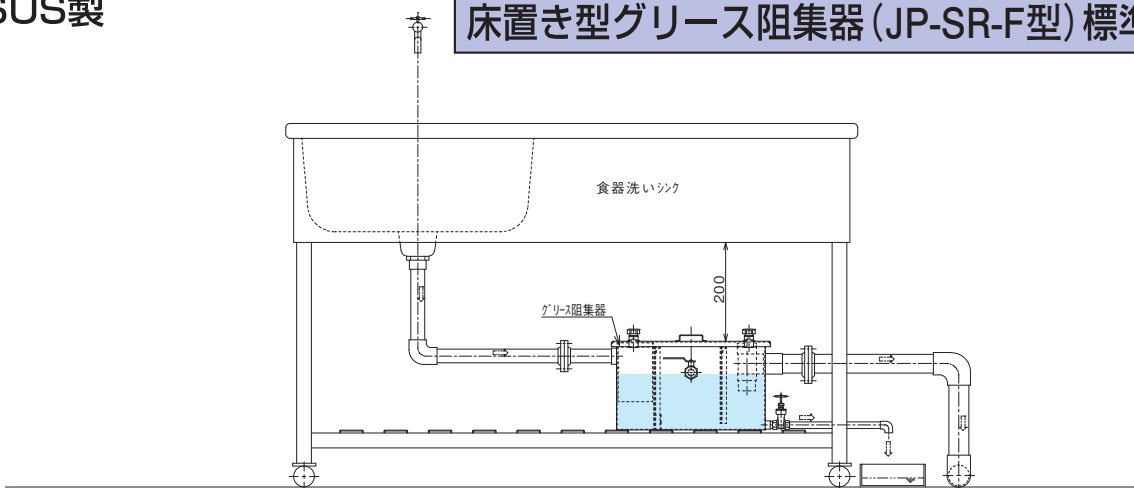
FRP製

床置き型グリース阻集器 (JP-GR-F型) 標準施工図



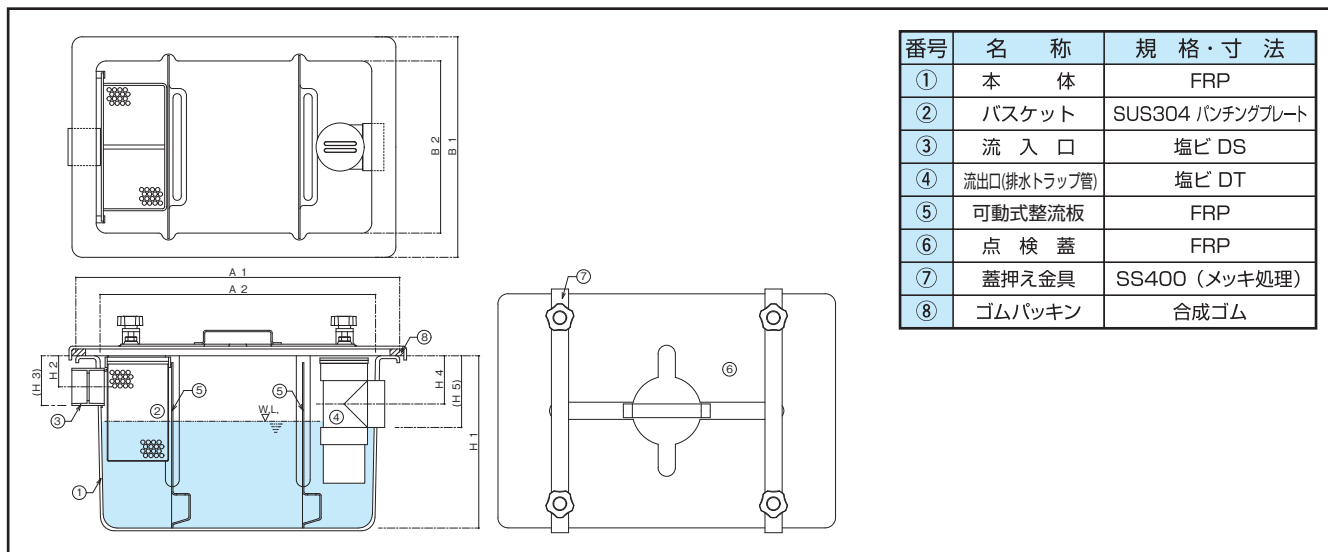
SUS製

床置き型グリース阻集器 (JP-SR-F型) 標準施工図



FRP製 パイプ流入床置型グリーストラップ

15ℓ～30ℓ

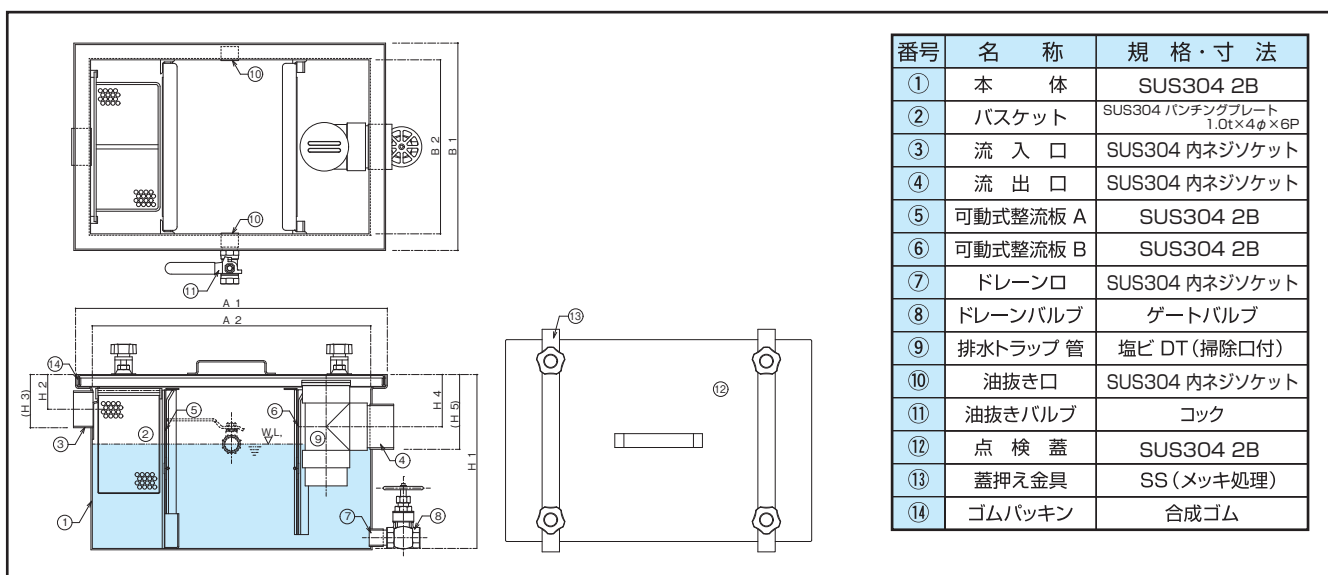


品 番	容 量 ℓ	槽 数	口 径 流入/排出	本 体 寸 法								
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5
JP-GR-425F	15	3	40/50	(470)	400	(320)	250	250	45	(71)	70	(103)
JP-GR-530F	30	3	40/50	(570)	500	(370)	300	300	45	(71)	70	(103)

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

SUS製 パイプ流入床置型グリーストラップ

15ℓ～30ℓ

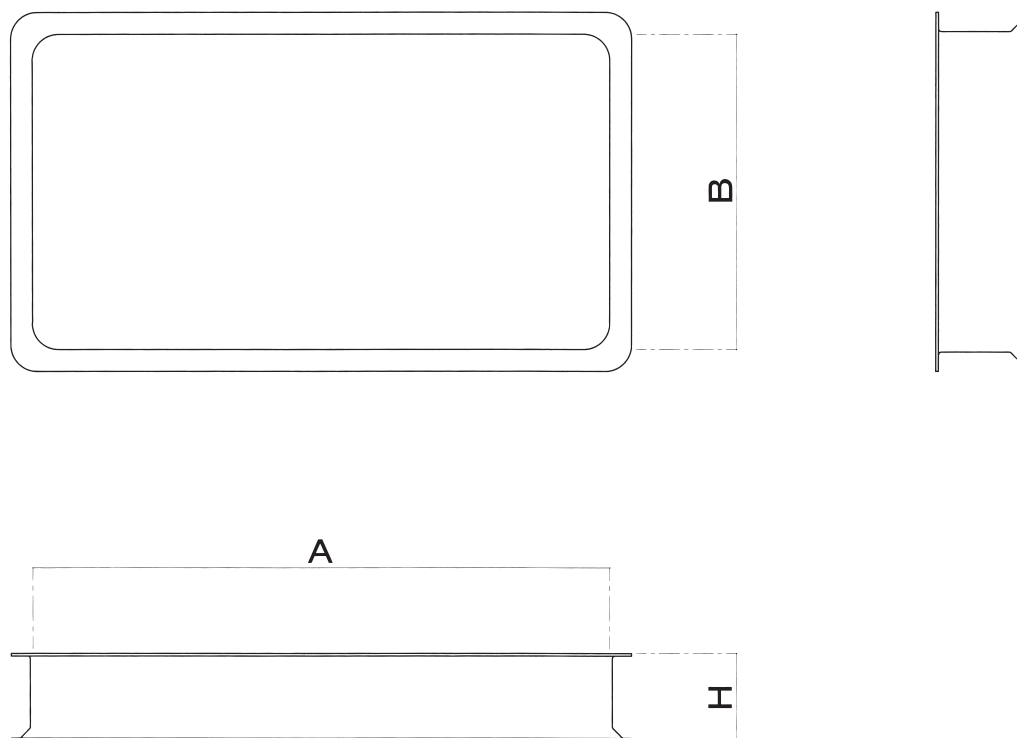


品 番	容 量 ℓ	槽 数	口 径 流入/排出	本 体 寸 法								
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5
JP-SR-425F	15	3	40/50	(440)	400	(290)	250	250	50	(77)	75	(108)
JP-SR-530F	30	3	40/50	(540)	500	(340)	300	300	50	(77)	75	(108)

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

FRP 製 カサ上げ

(深型用)



品 番	内 寸 法		
	A	B	H
JP-K-6-100 (630用)	660	360	100
JP-K-6-150 (630用)	660	360	150
JP-K-7-100 (735用)	770	420	100
JP-K-7-150 (735用)	770	420	150
JP-K-8-100 (840用)	870	470	100
JP-K-8-150 (840用)	870	470	150
JP-K-9-100 (945用)	970	520	100
JP-K-9-150 (945用)	970	520	150
JP-K-10-100 (1050用)	1082	582	100
JP-K-10-150 (1050用)	1082	582	150
JP-K-12-100 (1260用)	1292	692	100
JP-K-12-200 (1260用)	1292	692	200
JP-K-14-100 (1470用)	1492	792	100
JP-K-14-200 (1470用)	1492	792	200



これは便利!!



そんな時!! クリップでパチッ!



カサ上げを何個か重ねたい...



仮固定完了!!



四方を止めれば...



あとはレベルにあわせて...

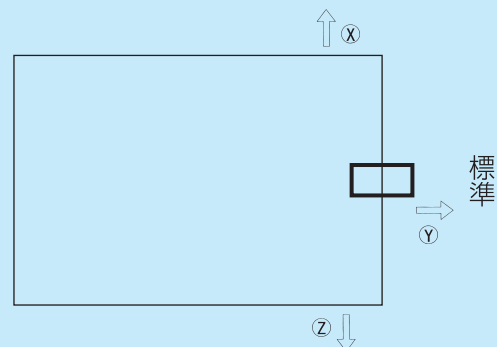


cut で終了!!

●JP式 SUS製 側溝流入地中埋設型 グリーストラップ



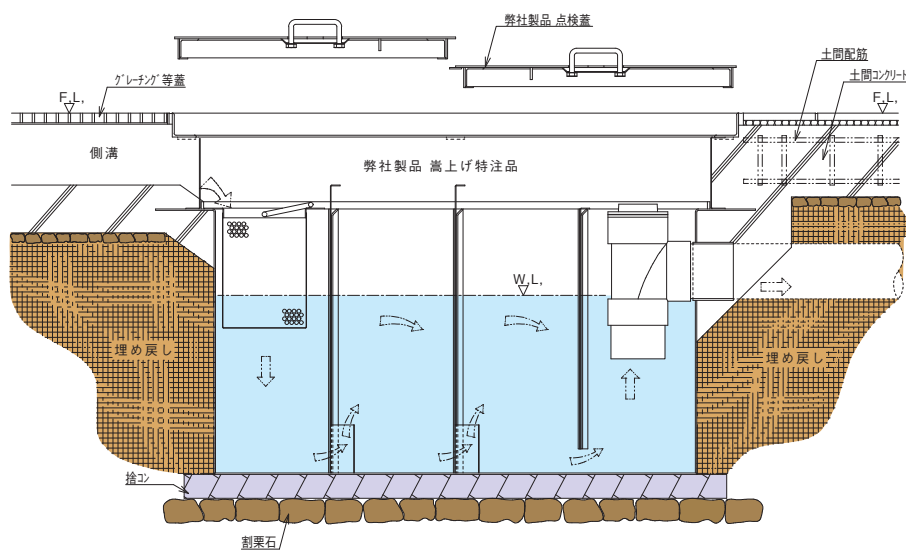
パイプ流出口 位置



*標準品は、Y方向となっておりますが、
XまたはZ方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

SUS製グリース阻集器標準推奨施工例 (側溝流入地中埋設型)

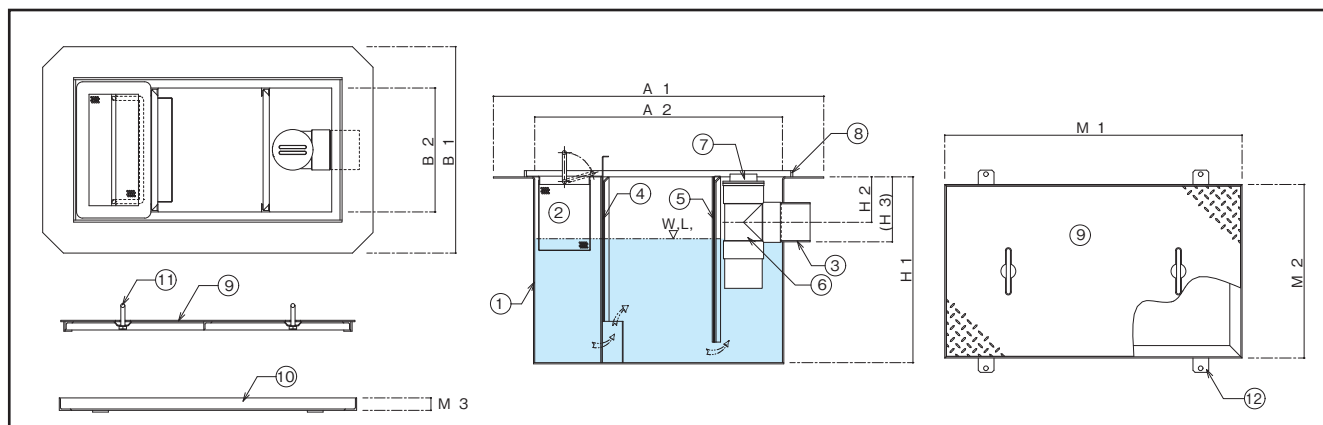


施工手順

- 本体に合わせて土間掘削
(湧水のある場合矢板施工で安全確保の事)
- 割栗(砕石)・付き固め
- 捨コンクリート打設(≒10cm)
(地盤が強い場合は不要)
- 阻集器搬入
- 阻集器据付
- レベル調整・芯出し
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 埋め戻し・転圧
(整流板が着脱できなくなる恐れがある
ため、槽内に水を溜めながら、若しくは
張木をしてから埋め戻しの事)
- かさ上げ部分設置
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがある
ため、枠部分のねじれに注意の事)
- 土間配筋
- 土間コンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

SUS製 側溝流入地中埋設型グリーストラップ

54ℓ～78ℓ



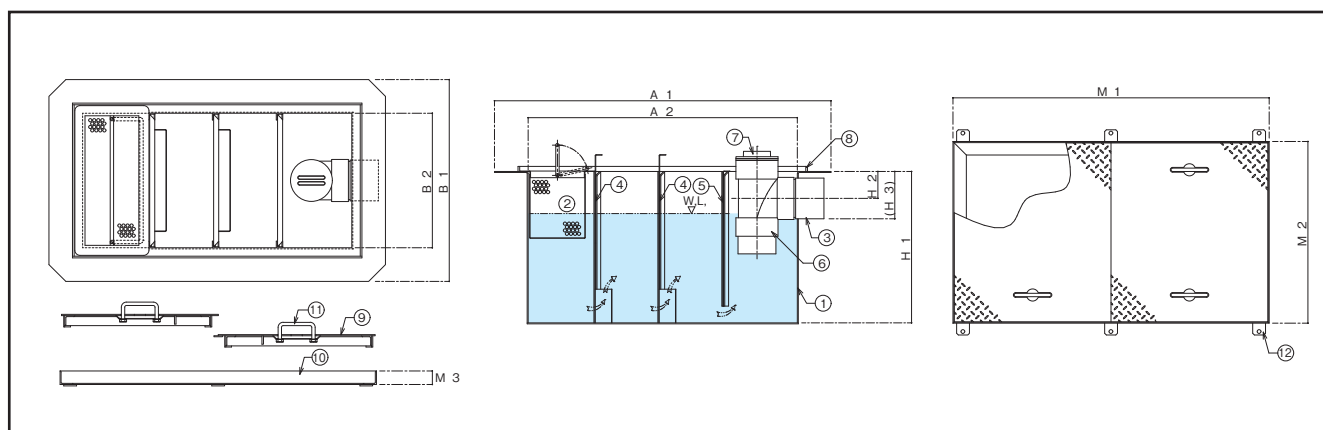
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法							点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-S-630H	54	3	80	800	600	500	300	450	110	(157)	33	720	420	30	1
JP-S-735H	78	3	80	900	700	550	350	450	90	(137)	39.5	850	500	40	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304パンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流出口	SUS 304内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑤	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑥	排水トラップ	塩ビ DT
⑦	掃除口	塩ビ CO
⑧	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑨	点検蓋	シマ板
⑩	点検蓋用枠	Lアングル
⑪	落込式 取手	10φ
⑫	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

SUS製 側溝流入地中埋設型グリーストラップ

100ℓ～390ℓ



品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法							点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-S-840H	100	4	100	1000	800	600	400	450	80	(140)	49	940	540	40	2
JP-S-945H	140	4	100	1150	900	700	450	500	100	(160)	61	1040	590	40	2
JP-S-1050H	180	4	100	1250	1000	750	500	550	130	(190)	73	1180	680	50	2
JP-S-1260H	270	4	125	1520	1200	920	600	600	145	(219)	97	1390	790	50	3
JP-S-1470H	390	5	125	1720	1400	1020	700	600	135	(209)	130	1580	880	50	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

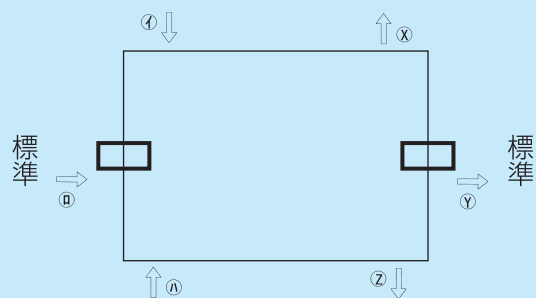
番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304パンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流出口	SUS 304内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑤	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑥	排水トラップ	塩ビ DT
⑦	掃除口	塩ビ CO
⑧	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑨	点検蓋	シマ板
⑩	点検蓋用枠	Lアングル
⑪	落込式 取手	10φ
⑫	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-S-1470Hは整流板が4枚になります。

●JP式 SUS製 パイプ流入地中埋設型 グリーストラップ



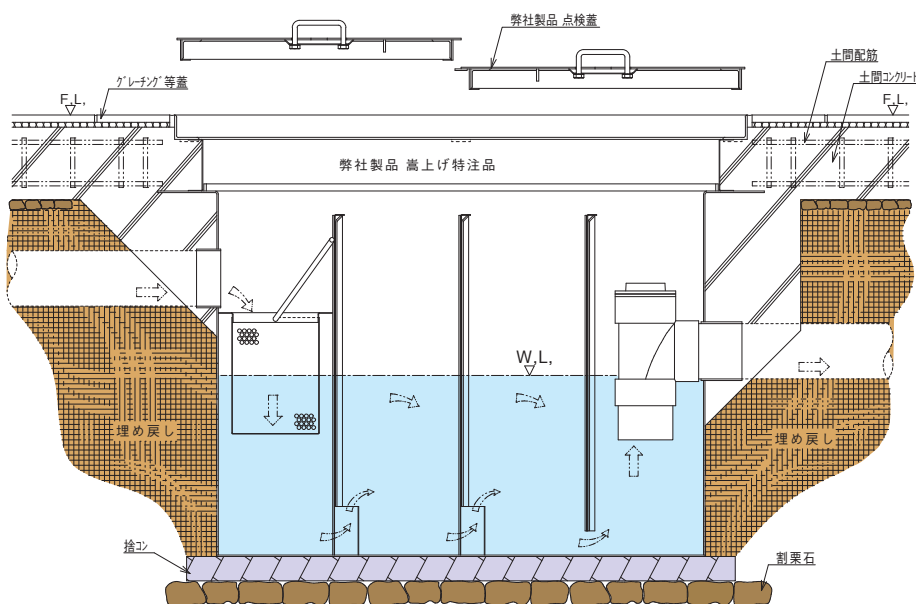
パイプ流入・流出口 位置



流入口および流出口変更も可能です。
各種変更の場合、方向・口径・価格等
御確認下さい。

施工図

SUS製グリース阻集器標準推奨施工例 (パイプ流入地中埋設型)

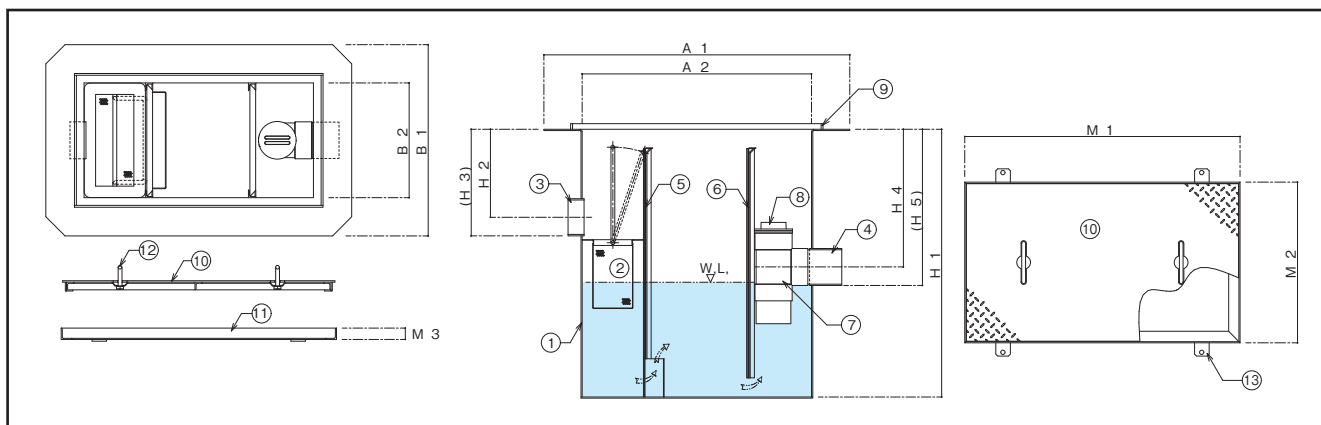


施工手順

- 本体に合わせて土間掘削
(湧水のある場合矢板工で安全確保の事)
- 割栗(砕石)・付き固め
- 捨コンクリート打設(≒10cm)
(地盤が強い場合は不要)
- 阻集器据付
- レベル調整・芯出し
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 埋め戻し・転圧
(整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、槽内に水を溜めながら、若しくは張木をしてから埋め戻しの事)
- かさ上げ部分設置
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、枠部分のねじれに注意の事)
- 土間配筋
- 土間コンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

SUS製 パイプ流入地中埋設型グリーストラップ

54ℓ～78ℓ



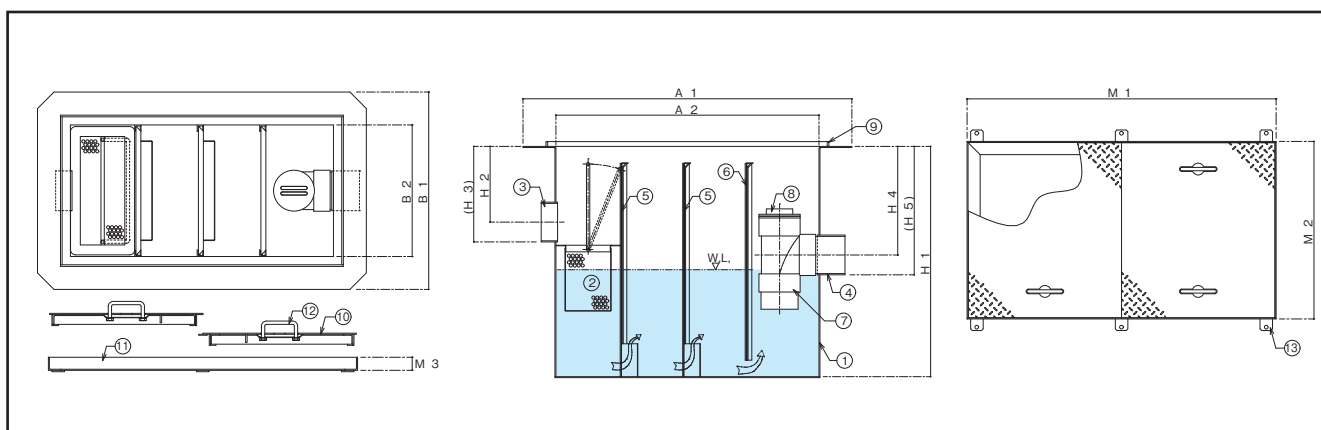
品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
	ℓ			A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-SR-630H	54	3	80	800	600	500	300	700	230	(277)	360	(407)	40	720	420	30	1
JP-SR-735H	78	3	80	900	700	550	350	700	230	(277)	340	(387)	48	850	500	40	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流入口	SUS 304内ネジソケット
④	流出口	SUS 304内ネジソケット
⑤	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑥	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑦	排水トラップ	塩ビ DT
⑧	掃除口	塩ビ CO
⑨	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑩	点検蓋	シマ板
⑪	点検蓋用枠	Lアングル
⑫	落込式取手	10φ
⑬	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

SUS製 パイプ流入地中埋設型グリーストラップ

100ℓ～390ℓ



品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
	ℓ			A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-SR-840H	100	4	100	1000	800	600	400	700	230	(290)	330	(390)	60	940	540	40	2
JP-SR-945H	140	4	100	1150	900	700	450	700	200	(260)	300	(360)	70	1040	590	40	2
JP-SR-1050H	180	4	100	1250	1000	750	500	750	180	(240)	330	(390)	80	1180	680	50	2
JP-SR-1260H	270	4	125	1450	1200	850	600	800	250	(324)	345	(419)	110	1390	790	50	3
JP-SR-1470H	390	5	125	1720	1400	1020	700	850	300	(374)	385	(459)	145	1580	880	50	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

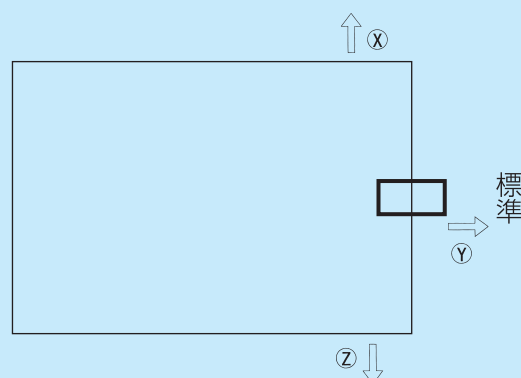
番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流入口	SUS 304内ネジソケット
④	流出口	SUS 304内ネジソケット
⑤	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑥	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑦	排水トラップ	塩ビ DT
⑧	掃除口	塩ビ CO
⑨	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑩	点検蓋	シマ板
⑪	点検蓋用枠	Lアングル
⑫	落込式取手	10φ
⑬	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-SR-1470H は整流板が4枚になります。

●JP式 FRP製 側溝流入床吊り型 グリーストラップ



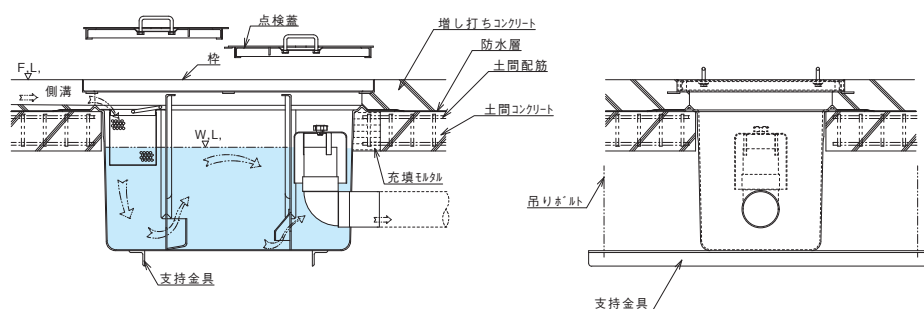
パイプ流出口 位置



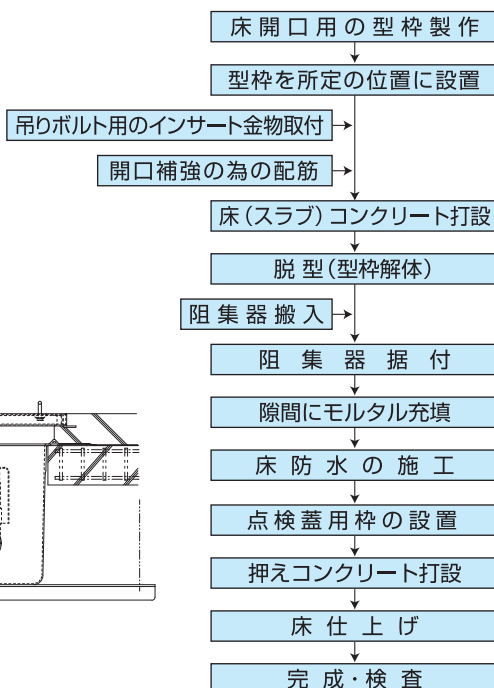
*標準品は、④方向となっておりますが、
①または②方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

FRP製床吊り型側溝流入式グリース阻集器 標準推奨施工例



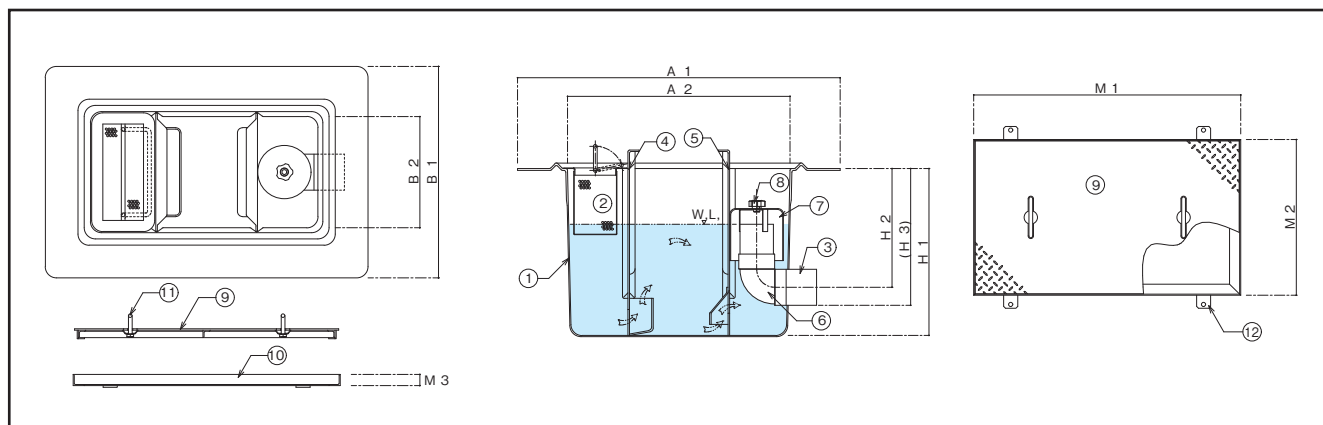
施工手順



*防火区画貫通施工の場合は耐火型をご使用下さい。(P35 ～を御参照下さい。)

FRP 製 側溝流入床吊り型グリーストラップ

50ℓ～150ℓ



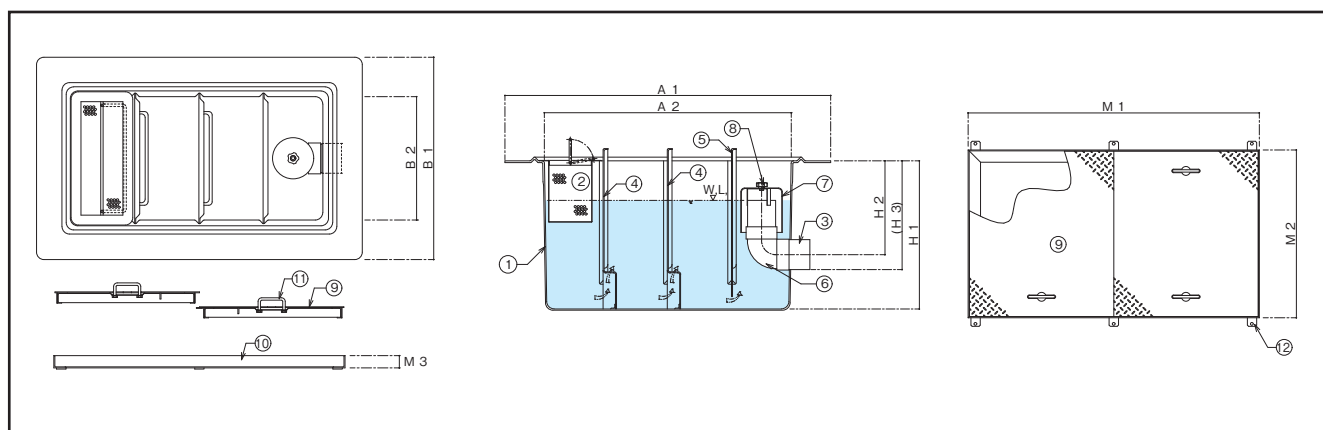
品 番	容量 ℓ	槽 数	口 径	本 体 寸 法							自重(kg)	点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3		M 1	M 2	M 3	
JP-P-630PH	50	3	75	870	600	570	300	450	320	(368)	10	720	420	30	1
JP-P-735PH	75	3	75	970	700	620	350	500	365	(413)	12	850	500	40	2
JP-P-840PH	100	3	100	1070	800	670	400	500	350	(412)	15	940	540	40	2
JP-P-945PH	150	3	100	1220	900	770	450	550	350	(412)	20	1040	590	40	2

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	FRP
②	バスケット	SUS304 パンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 出 口	塩ビ DS
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	排水トラップ管	塩ビ DL
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	押えノブ	10φ
⑨	点 検 蓋	シマ板
⑩	点検蓋用枠	Lアングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

FRP 製 側溝流入床吊り型グリーストラップ

190ℓ～390ℓ



品 番	容量 ℓ	槽 数	口 径	本 体 寸 法							自重(kg)	点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3		M 1	M 2	M 3	
JP-G-1050PH	190	4	100	1320	1000	820	500	600	380	(442)	36	1180	680	50	2
JP-G-1260PH	270	4	125	1520	1200	920	600	600	420	(495)	46	1390	790	50	3
JP-G-1470PH	390	5	125	1720	1400	1020	700	650	450	(525)	56	1580	880	50	3

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

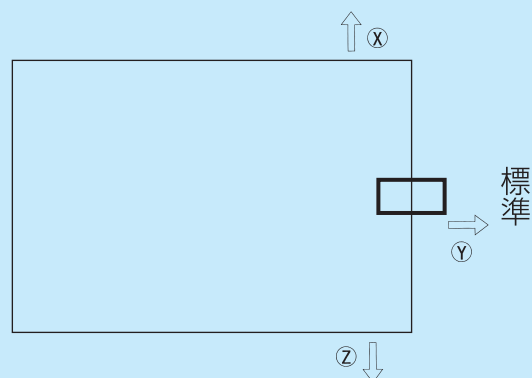
番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	FRP
②	バスケット	SUS304 パンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 出 口	塩ビ DS
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	排水トラップ管	塩ビ DL
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	押えノブ	10φ
⑨	点 検 蓋	シマ板
⑩	点検蓋用枠	Lアングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-G-1050PH と JP-G-1260PH は整流板が 3 枚、JP-G-1470PH は整流板が 4 枚になります。

●JP式 SUS製 側溝流入床吊り型 グリーストラップ



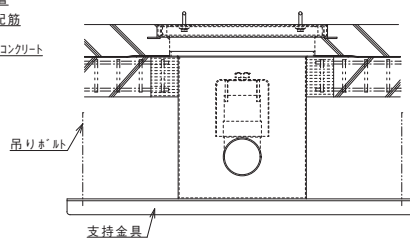
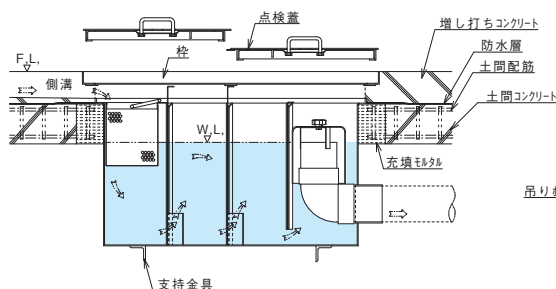
パイプ流出口 位置



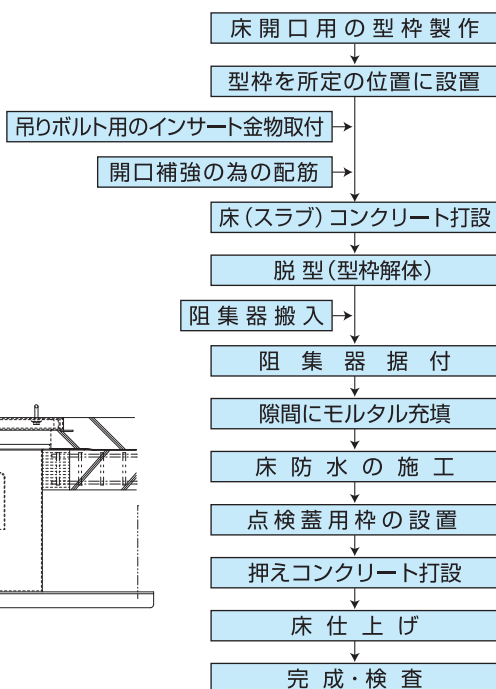
*標準品は、④方向となっておりますが、
①または②方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

SUS製床吊り型側溝流入式グリース阻集器 標準推奨施工例



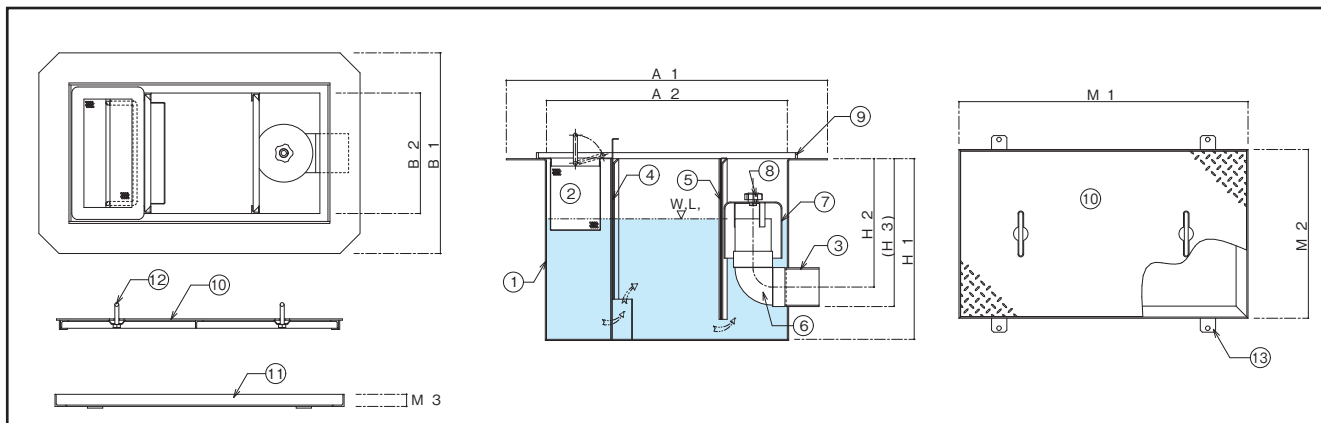
施工手順



*防火区画貫通施工の場合は耐火型をご使用下さい。(P35 ～を御参照下さい。)

SUS製 側溝流入床吊り型グリーストラップ

54ℓ～78ℓ



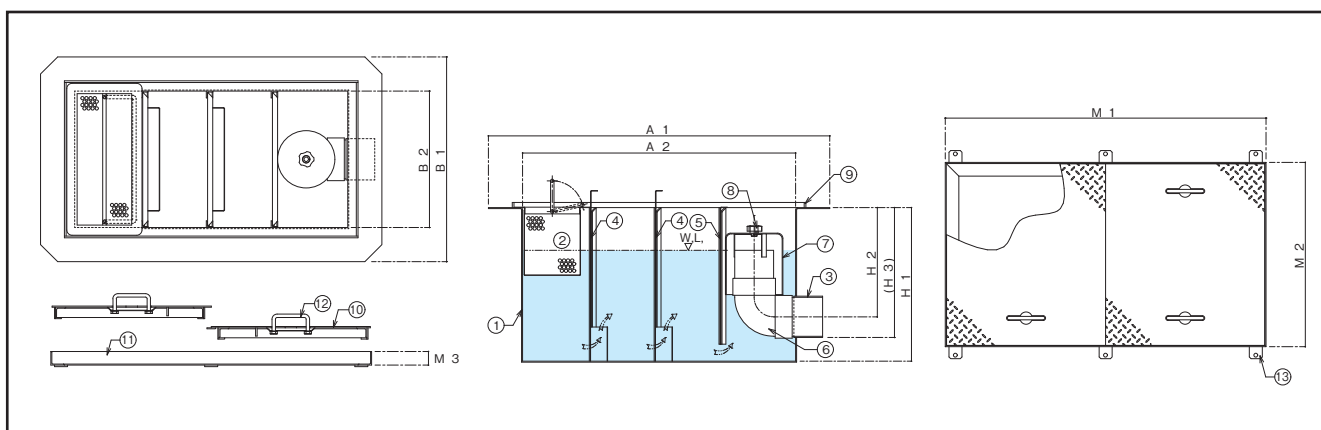
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法								点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-S-630PH	54	3	80	800	600	500	300	450	320	(367)	34	720	420	30	1
JP-S-735PH	78	3	80	900	700	550	350	450	320	(367)	40.5	850	500	40	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×8P
③	流出口	SUS304内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑤	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑥	排水トラップ管	塩ビ DL
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	押えノブ	10φ
⑨	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑩	点検蓋	シマ板
⑪	点検蓋用枠	Lアングル
⑫	落込式取手	10φ
⑬	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

SUS製 側溝流入床吊り型グリーストラップ

100ℓ～390ℓ



品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法								点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-S-840PH	100	4	100	1000	800	600	400	450	320	(380)	50	940	540	40	2
JP-S-945PH	140	4	100	1150	900	700	450	500	350	(410)	62	1040	590	40	2
JP-S-1050PH	180	4	100	1250	1000	750	500	550	400	(460)	74	1180	680	50	2
JP-S-1260PH	270	4	125	1520	1200	920	600	600	400	(474)	98	1390	790	50	3
JP-S-1470PH	390	5	125	1720	1400	1020	700	600	400	(474)	131	1580	880	50	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×8P
③	流出口	SUS304内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑤	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑥	排水トラップ管	塩ビ DL
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	押えノブ	10φ
⑨	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑩	点検蓋	シマ板
⑪	点検蓋用枠	Lアングル
⑫	落込式取手	10φ
⑬	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

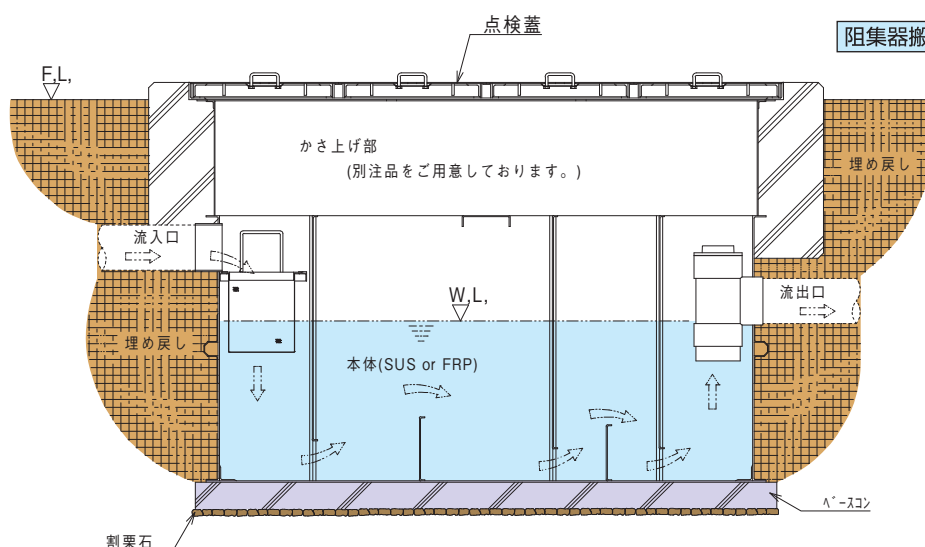
*JP-S-1470PH は整流板が4枚になります。

安価！ 高性能！ 工期短縮！

大食堂・大厨房には 大型グリース阻集器を設置下さい。

標準品としてFRP製5機種、SUS製3機種揃えて
おります。特注品も御相談ください。

大型グリース阻集器 (JP-JIA型・JP-GR型) 標準推奨施工例



- * 割栗石は JIS A 5003(石材)による硬質のもの又は硬質の割玉石を使用して下さい。
- * 割栗石は JIS A 5001(道路用砕石)によるC-40程度の再生クラッシャーランを使用してもかまいません。
- * 締め固めは、切込み砕石を目潰し砂利として、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締め程度とする十分な締め固めを推奨します。
- * 厚みは締め固め施工後で50mm以上を推奨します。
- * 周辺の地質が軟弱な場合、阻集器本体の周囲をコンクリートで胴巻きする等、土圧を十分考慮して下さい。

施工手順

- 本体に合わせて土間掘削
(必ず矢板施工で安全確保の事)
- 割栗(砕石)・付き固め
- ベースコンクリート打設
(10cm以上)
- 阻集器据付
- レベル調整・芯出し
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 埋め戻し・転圧
(整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、槽内に水を溜めながら、若しくは張木をしてから埋め戻しの事)
- かさ上げ部分設置
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、枠部分のねじれに注意の事)
- * 土間配筋
- * 土間コンクリート打設
- 仕上げ
- 完成・検査

大型オイル阻集器も有ります。

各大型グリース阻集器の標準阻集グリース量と食数目安

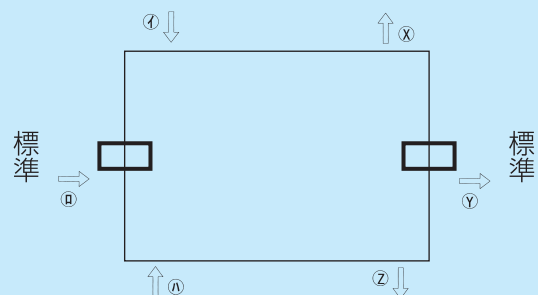
規 格	JP-GR-1575 JP-JIA-I-500T-PI	JP-GR-1787H JP-JIA-I-800T-PI	JP-JIA-I-1000T-PI	JP-GR-2010H	JP-GR-2211H	JP-GR-2512H
項 目						
実 容 量	500ℓ	800ℓ	1000ℓ	1200ℓ	2000ℓ	3000ℓ
許 容 流 入 流 量	375ℓ/min	600ℓ/min	750ℓ/min	900ℓ/min	1500ℓ/min	2250ℓ/min
標準阻集グリース量	118kg	189kg	236kg	284kg	473kg	709kg
食 数(中華)	800食/日	1280食/日	1600食/日	1930食/日	3210食/日	4820食/日
食 数(社員厨房 学校給食)	1285食/日	2050食/日	2570食/日	3085食/日	5140食/日	7710食/日

FRP 製 パイプ流入地中埋設大型グリーストラップ

500 ℓ ～ 3000 ℓ

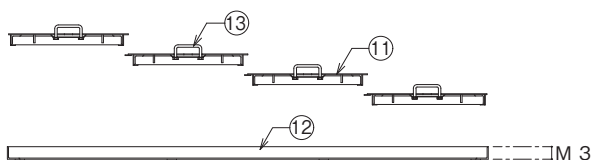
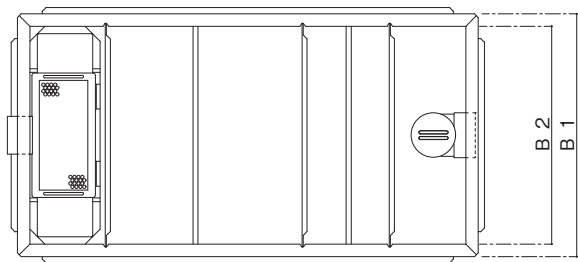


パイプ流入・流出口 位置

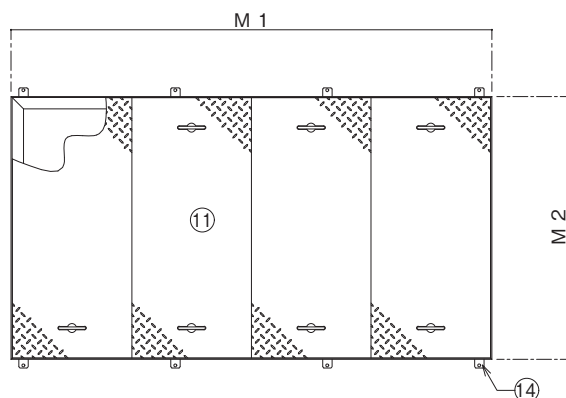
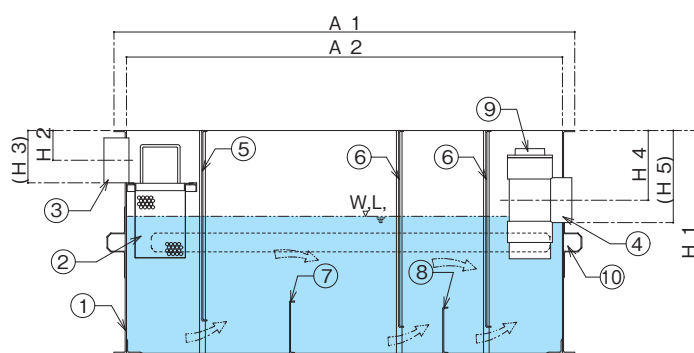


流入口および流出口変更も可能です。
各種変更の場合、方向・口径・価格等
御確認下さい。

グ
リ
ー
ス
ト
ラ
ッ
プ



番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	FRP
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 入 口	塩ビ DS
④	流出口(排水トラップ管)	塩ビ DT
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	固定式整流板 A	FRP
⑧	固定式整流板 B	FRP
⑨	掃 除 口	塩ビ CO
⑩	補 強	FRP + 充填材(硬質ウレタン)
⑪	点 検 蓋	シマ板
⑫	点検蓋用枠	L アングル
⑬	落込式取手	10φ
⑭	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t



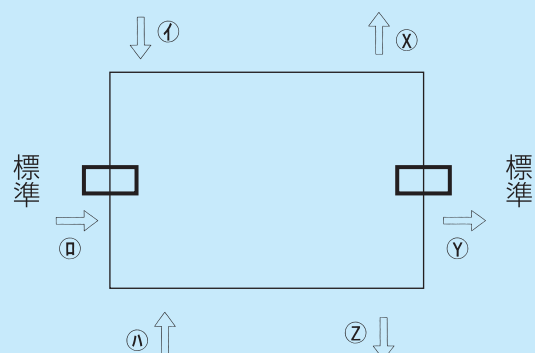
品 番	容量 ℓ	槽数	口径	本 体 寸 法										蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重(kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-GR-1575	500	4	125	1620	1500	870	750	785	130	(205)	250	(325)	60	1680	930	50	4
JP-GR-1787H	800	4	150	1850	1750	975	875	900	120	(209)	295	(384)	80	1930	1055	50	4
JP-GR-2010H	1200	4	150	2100	2000	1100	1000	1000	120	(209)	320	(409)	100	2230	1230	65	4
JP-GR-2211H	2000	4	200	2350	2200	1250	1100	1350	200	(313)	400	(513)	140	2430	1330	65	4
JP-GR-2512H	3000	4	200	2650	2500	1400	1250	1500	200	(313)	420	(533)	185	2730	1480	65	4

SUS製 パイプ流入地中埋設大型グリーストラップ

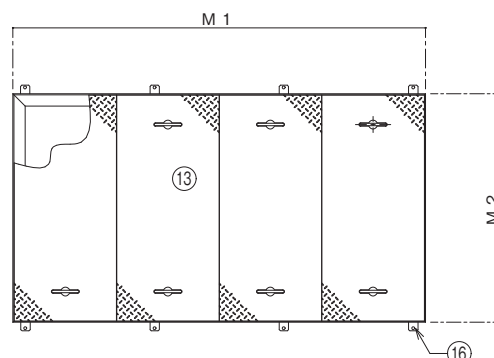
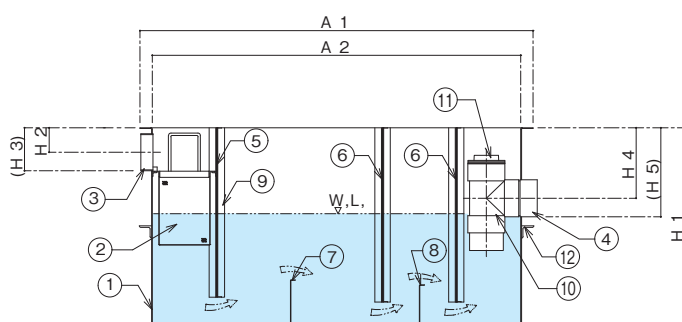
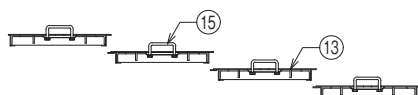
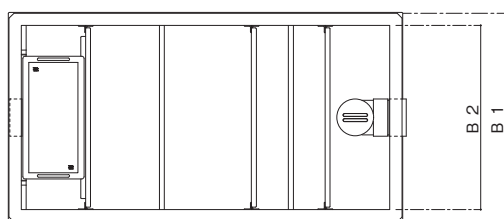
500 ℓ ～ 1000 ℓ



パイプ流入・流出口 位置



*流入口および流出口変更も可能です。
*各種変更の場合、方向・口径・価格等 御確認下さい。



番号	名 称	規 格・寸 法
①	本 体	SUS304
②	バスケット	SUS304 バンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 入 口	SUS304内ネジソケット
④	流出口(排水トラップ管)	SUS304内ネジソケット
⑤	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑥	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑦	固定式整流板 A	SUS304 1.5t
⑧	固定式整流板 B	SUS304 1.5t
⑨	整流板ガイド	SUS304 Lアングル
⑩	排水トラップ 管	塩ビ DT
⑪	掃 除 口	塩ビ CO
⑫	補 強	SUS304 Lアングル
⑬	点 検 蓋	シマ板
⑭	点検蓋用枠	L アングル
⑮	落込式取手	10φ
⑯	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

品 番	容量 ℓ	槽数	口径	本 体 寸 法										蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	自重 (kg)	M 1	M 2	M 3	
JP-JIA-I-500T-PI	500	4	125	1600	1500	850	750	800	100	(174)	287	(361)	170	1680	930	50	4
JP-JIA-I-800T-PI	800	4	150	1850	1750	975	875	900	120	(207)	302	(389)	215	1930	1055	50	4
JP-JIA-I-1000T-PI	1000	4	150/200	2000	1900	1050	950	1115	120	(207)	468	(588)	260	2130	1180	65	4

JP式

耐火型グリーストラップ

●タイカラップ-F

FRP製側溝流入床吊り型(タイカラップ-F)

施工例P35

50ℓ～150ℓ (JP-PX-PH)P36

190ℓ～390ℓ (JP-GX-PH)P36

●タイカラップ-S

SUS製側溝流入床吊り型(タイカラップ-S)

施工例P37

54ℓ～78ℓ (JP-GXS-PH)P38

100ℓ～390ℓ (JP-GXS-PH)P38

SUS製パイプ流入床吊り型(タイカラップ-S)

施工例P39

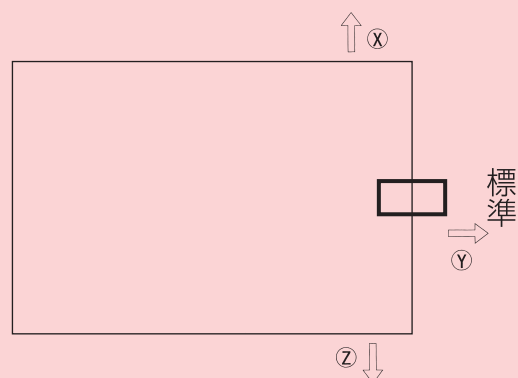
54ℓ～78ℓ (JP-GXSR-PH)P40

100ℓ～390ℓ (JP-GXSR-PH)P40

●JP式 タイカラップ-F FRP製 側溝流入床吊り型



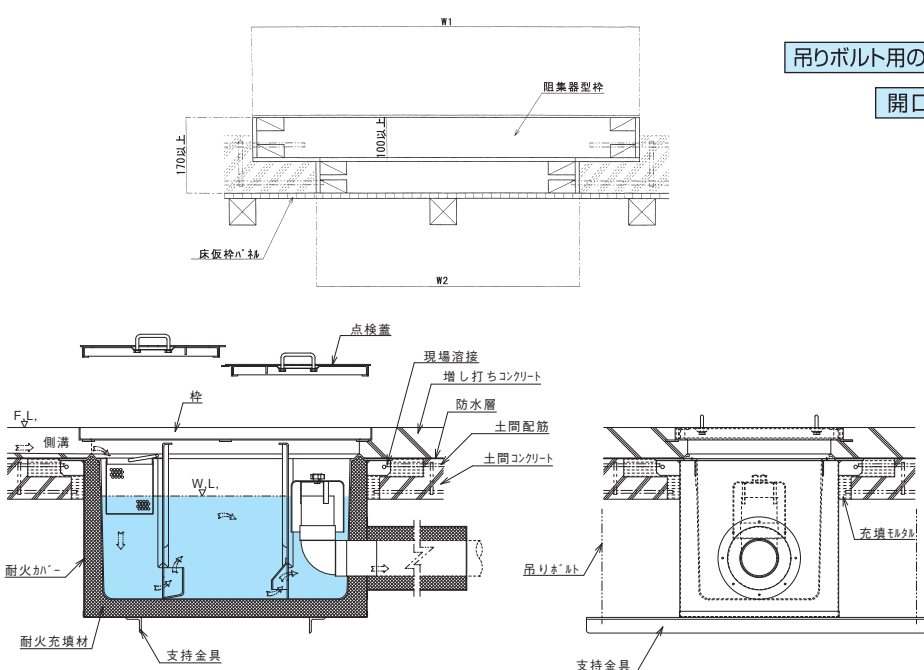
パイプ流出口 位置



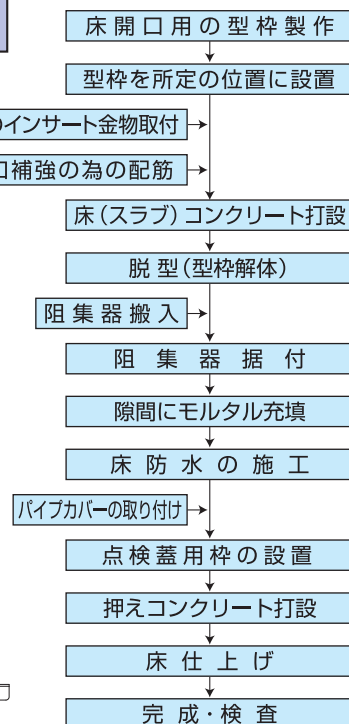
*標準品は、①方向となっておりますが、
③または②方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

FRP製耐火型(防火区画貫通床吊り施工型) 側溝流入式グリース阻集器標準推奨施工例



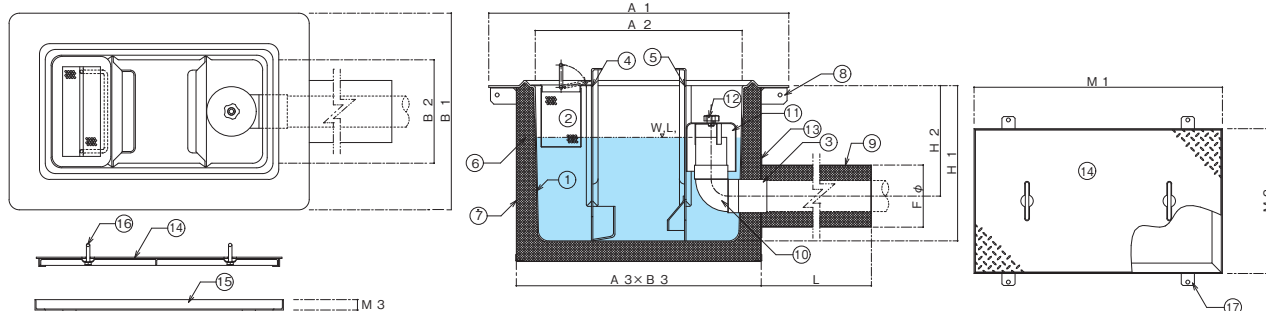
施工手順



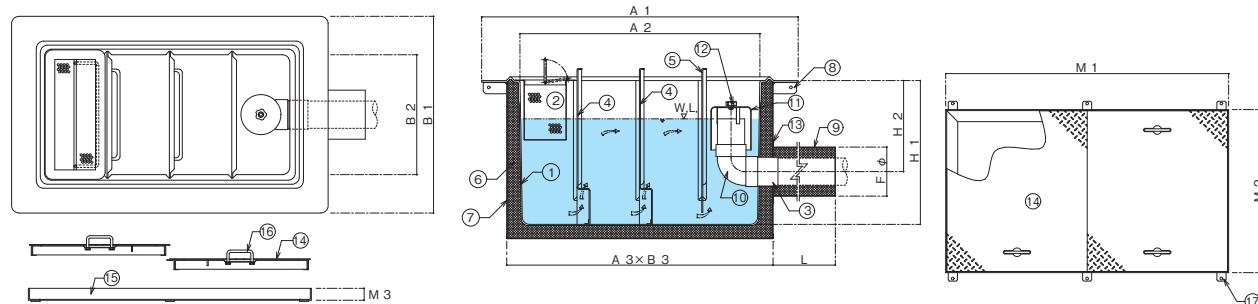
FRP製 側溝流入床吊り型タイカラップ-F

50ℓ～150ℓ・190ℓ～390ℓ

■50ℓ～150ℓ



■190ℓ～390ℓ



耐火型

■50ℓ～150ℓ

品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-PX-630PH	50	3	80	870	600	710	570	300	410	500	510	320	180	40	720	420	30	1
JP-PX-735PH	75	3	80	970	700	810	620	350	460	500	560	320	180	48	850	500	40	2
JP-PX-840PH	100	3	100	1070	800	910	670	400	510	500	560	350	205	60	940	540	40	2
JP-PX-945PH	150	3	100	1220	900	1010	770	450	560	500	610	350	205	73	1040	590	40	2

■190ℓ～390ℓ

品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-GX-1050-PH	190	4	100	1320	1000	1110	820	500	610	500	660	400	205	85	1180	680	50	2
JP-GX-1260-PH	270	4	125	1520	1200	1310	920	600	710	600	660	400	230	100	1390	790	50	3
JP-GX-1470-PH	390	5	125	1720	1400	1510	1020	700	810	600	710	400	230	120	1580	880	50	3

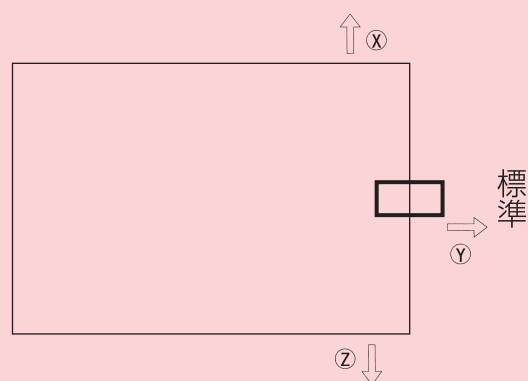
番号	名称	規格・寸法
①	内部槽	FRP
②	バスケット	SUS304 バンダグプレート
③	流出口	SUS304 内ネジソケット
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	耐火断熱材	セラミックファイバー
⑦	外部カバー	SS
⑧	スペーサー	SS
⑨	パイプカバー	SS
⑩	排水トラップ管	塩ビ DL
⑪	パイキャップ	FRP
⑫	押えノブ	10φ
⑬	鉄板ビス	SS M5
⑭	蓋	シマ板
⑮	枠	Lアングル
⑯	落込式取手	10φ
⑰	アンカー用固定金具	FB-3B(40)X4.5t

*JP-GX-1470PHは整流板が4枚になります。

●JP式 タイカラップ-S SUS製 側溝流入床吊り型



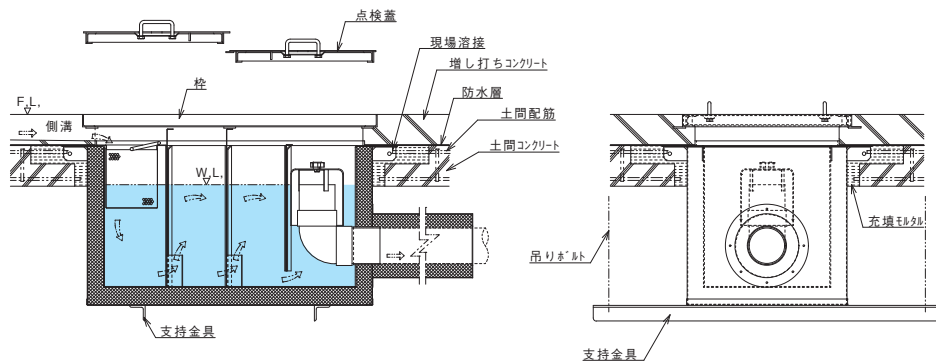
パイプ流出口 位置



* 標準品は、Y方向となっておりますが、
XまたはZ方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

SUS製耐火型(防火区画貫通床吊り施工型) 側溝流入式グリース阻集器標準推奨施工例



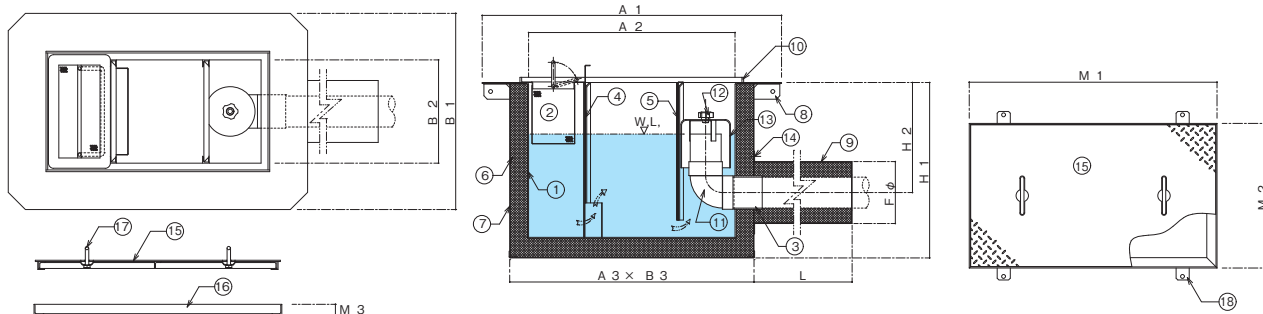
施工手順

- 床開口用の型枠製作
- 型枠を所定の位置に設置
- 吊りボルト用のインサート金物取付
- 開口補強の為に配筋
- 床(スラブ)コンクリート打設
- 脱型(型枠解体)
- 阻集器搬入
- 阻集器据付
- 隙間にモルタル充填
- 床防水の施工
- パイプカバーの取り付け
- 点検蓋用枠の設置
- 押えコンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

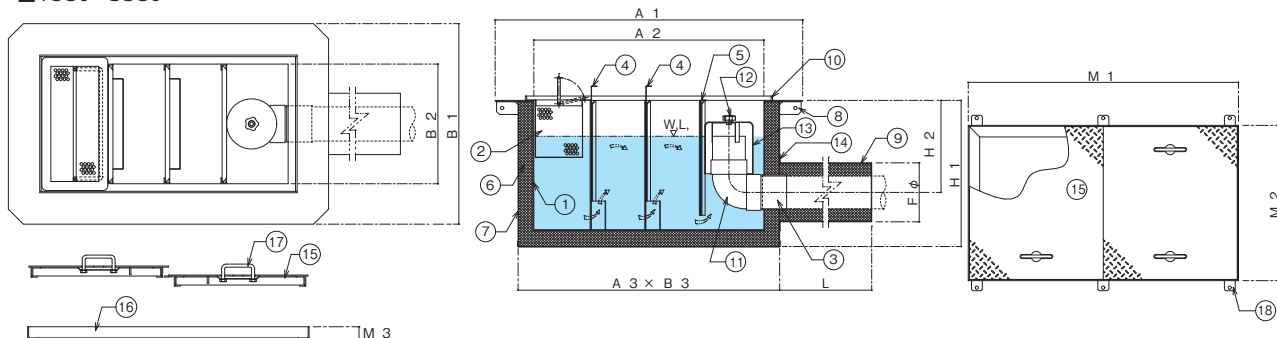
SUS製 側溝流入床吊り型タイカラップ-S

54ℓ～78ℓ・100ℓ～390ℓ

■54ℓ～78ℓ



■100ℓ～390ℓ



耐火型

■54ℓ～78ℓ

品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-GXS-630PH	54	3	80	870	600	710	570	300	410	500	510	320	180	50	720	420	30	1
JP-GXS-735PH	78	3	80	970	700	810	620	350	460	500	510	320	180	60	850	500	40	2

■100ℓ～390ℓ

品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-GXS-840PH	100	4	100	1070	800	910	670	400	510	500	510	320	205	75	940	540	40	2
JP-GXS-945PH	140	4	100	1220	900	1010	770	450	560	500	560	350	205	92	1040	590	40	2
JP-GXS-1050PH	180	4	100	1320	1000	1110	820	500	610	500	610	400	205	110	1180	680	50	2
JP-GXS-1260PH	270	4	125	1520	1200	1310	920	600	710	600	660	400	230	150	1390	790	50	3
JP-GXS-1470PH	390	5	125	1720	1400	1510	1020	700	810	600	660	400	230	190	1580	880	50	3

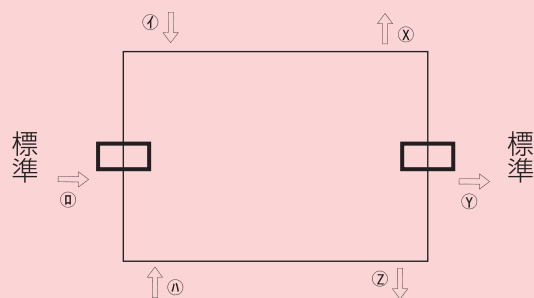
番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 ハンチングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流出口	SUS304 内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑤	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑥	耐火断熱材	セラミックファイバー
⑦	外部カバー	SS
⑧	スペーサー	SS
⑨	パイプカバー	SS
⑩	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑪	排水トラップ管	塩ビ DL
⑫	押えノブ	10φ
⑬	パイキャップ	FRP
⑭	鉄板ビス	SS M5
⑮	点検蓋	シマ板
⑯	点検蓋用枠	Lアングル
⑰	落込式取手	10φ
⑱	アンカー用固定金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-GXS-1470Hは整流板が4枚になります。

● JP式 タイカラップ-S SUS製 パイプ流入床吊り型



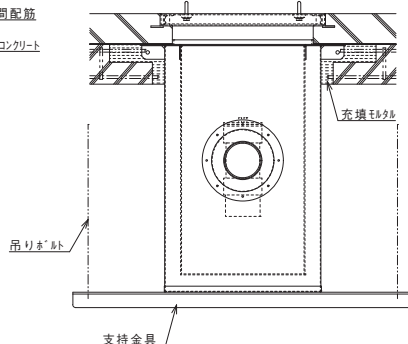
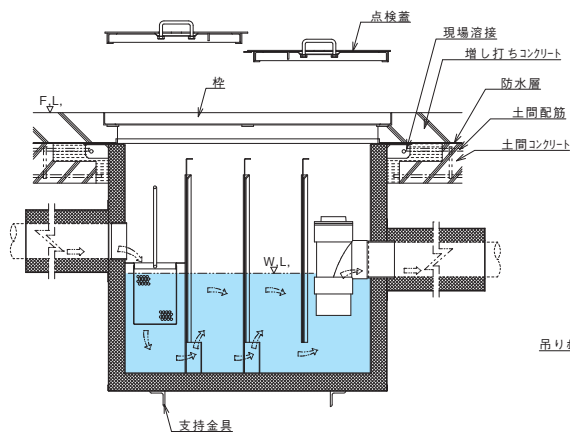
パイプ流入・流出口 位置



流入口および流出口変更も可能です。
各種変更の場合、方向・口径・価格等
御確認下さい。

施工図

SUS製耐火型(防火区画貫通床吊り施工型) パイプ流入式グリース阻集器標準推奨施工例



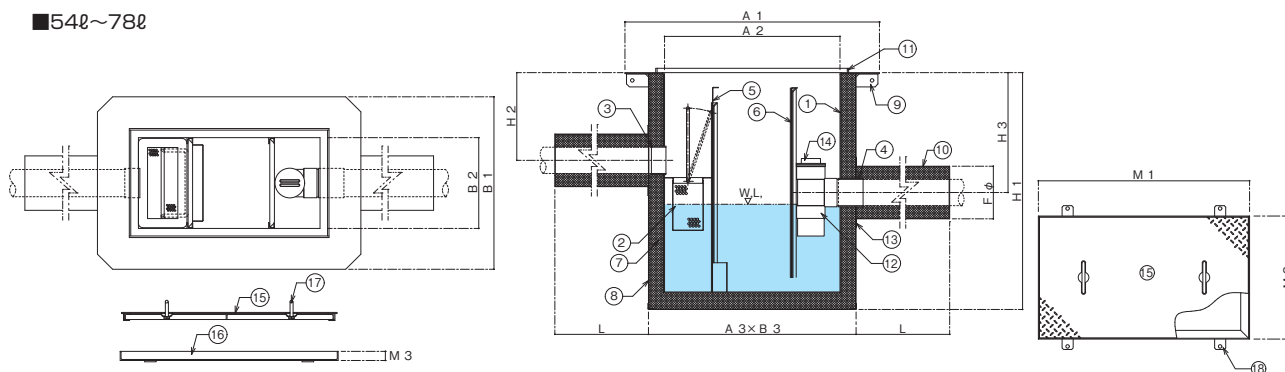
施工手順

- 床開口用の型枠製作
- 型枠を所定の位置に設置
- 吊りボルト用のインサート金物取付
- 開口補強の為の配筋
- 床(スラブ)コンクリート打設
- 脱型(型枠解体)
- 阻集器搬入
- 阻集器据付
- 隙間にモルタル充填
- 床防水の施工
- パイプカバーの取り付け
- 点検蓋用枠の設置
- 押えコンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

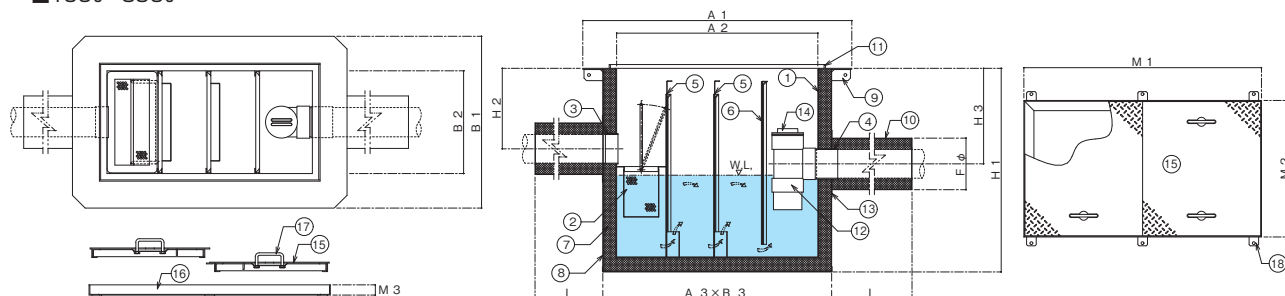
SUS製 パイプ流入床吊り型タイカラップ-S

54ℓ～78ℓ・100ℓ～390ℓ

■54ℓ～78ℓ



■100ℓ～390ℓ



■54ℓ～78ℓ

品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法													点 検 蓋 寸 法			蓋 数
	ℓ			A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	H3	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3		
JP-GXSR-630H	54	3	80	870	600	710	570	300	410	500	810	300	410	180	62	720	420	30	1	
JP-GXSR-735H	78	3	80	970	700	810	620	350	460	500	810	300	390	180	73	850	500	40	2	

■100ℓ～390ℓ

品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法												点 検 蓋 寸 法			蓋数
	ℓ			A1	A2	A3	B1	B2	B3	L	H1	H2	H3	Fφ	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-GXSR-840H	100	4	100	1070	800	910	670	400	510	500	810	320	380	205	90	940	540	40	2
JP-GXSR-945H	140	4	100	1220	900	1010	770	450	560	500	860	320	400	205	110	1040	590	40	2
JP-GXSR-1050H	180	4	100	1320	1000	1110	820	500	610	500	910	320	430	205	130	1180	680	50	2
JP-GXSR-1260H	270	4	125	1520	1200	1310	920	600	710	600	960	350	445	230	175	1390	790	50	3
JP-GXSR-1470H	390	5	125	1720	1400	1510	1020	700	810	600	960	350	435	230	230	1580	880	50	3

番号	名 称	規 格・寸 法
①	内 部 槽	SUS304 3.0t
②	バスケット	SUS304 バンデリングプレート 1.0t×4φ×6P
③	流 入 口	SUS304内ネジソケット
④	流 出 口	SUS304内ネジソケット
⑤	可動式整流板 A	SUS304 1.5t
⑥	可動式整流板 B	SUS304 1.5t
⑦	耐火断熱材	セラミックファイバー
⑧	外部カバー	SS
⑨	スぺーサー	SS
⑩	パイプカバー	SS
⑪	防水止め	SUS304 FB-15×5.0t
⑫	排水トラップ管	塩ビ DT
⑬	鉄板ビス	SS M5
⑭	掃 除 口	塩ビ CO
⑮	点 検 蓋	シマ板
⑯	点検蓋用枠	Lアングル
⑰	落込式取手	10φ
⑱	アンカー固定用金具	FB-38(40)X4.5t

*JP-GXSR-1470Hは整流板が4枚になります。

耐
火
型

JP式浅型阻集器

FRP製

FRP製側溝流入シンダー内埋設型(H=150)

施工例P44

11ℓ・25ℓ (JP-TOSC).....P45

13ℓ～35ℓ (JP-TOSC).....P45

FRP製側溝流入シンダー内埋設型(H=200)

33ℓ～94ℓ (JP-TOSC-S).....P46

FRP製側溝流入シンダー内埋設型(H=250)

38ℓ～105ℓ (JP-TOSC-H)P46

FRP製パイプ流入シンダー内埋設型(H=150)

施工例P47

11ℓ・25ℓ (JP-TOSC-R)P48

13ℓ～35ℓ (JP-TOSC-R).....P48

FRP製パイプ流入シンダー内埋設型(H=200)

33ℓ～94ℓ (JP-TOSC-SM).....P49

FRP製パイプ流入シンダー内埋設型(H=300)

33ℓ～94ℓ (JP-TOSC-SR)P49

FRP製側溝流入シンダー内埋設型(H=350)

38ℓ～105ℓ (JP-TOSC-HR)P49

SUS製

SUS製側溝流入シンダー内埋設型(H=150)

施工例P50

11ℓ・25ℓ (JP-SOSC-15)P51

12ℓ～63ℓ (JP-SOSC-15)P51

SUS製側溝流入シンダー内埋設型(H=200)

21ℓ～105ℓ (JP-SOSC-20).....P52

SUS製側溝流入シンダー内埋設型(H=250)

30ℓ～150ℓ (JP-SOSC-25).....P52

SUS製側溝流入シンダー内埋設型(H=250)

42ℓ～105ℓ (JP-SOSC-H).....P52

SUS製パイプ流入シンダー内埋設型(H=150)

施工例P53

11ℓ・25ℓ (JP-SOSC-R-15)P54

12ℓ～63ℓ (JP-SOSC-R-15)P54

SUS製パイプ流入シンダー内埋設型(H=200)

21ℓ～105ℓ (JP-SOSC-R-20).....P55

SUS製パイプ流入シンダー内埋設型(H=250)

23ℓ～100ℓ (JP-SOSC-R-25).....P55

SUS製側溝流入シンダー内埋設型(H=320)

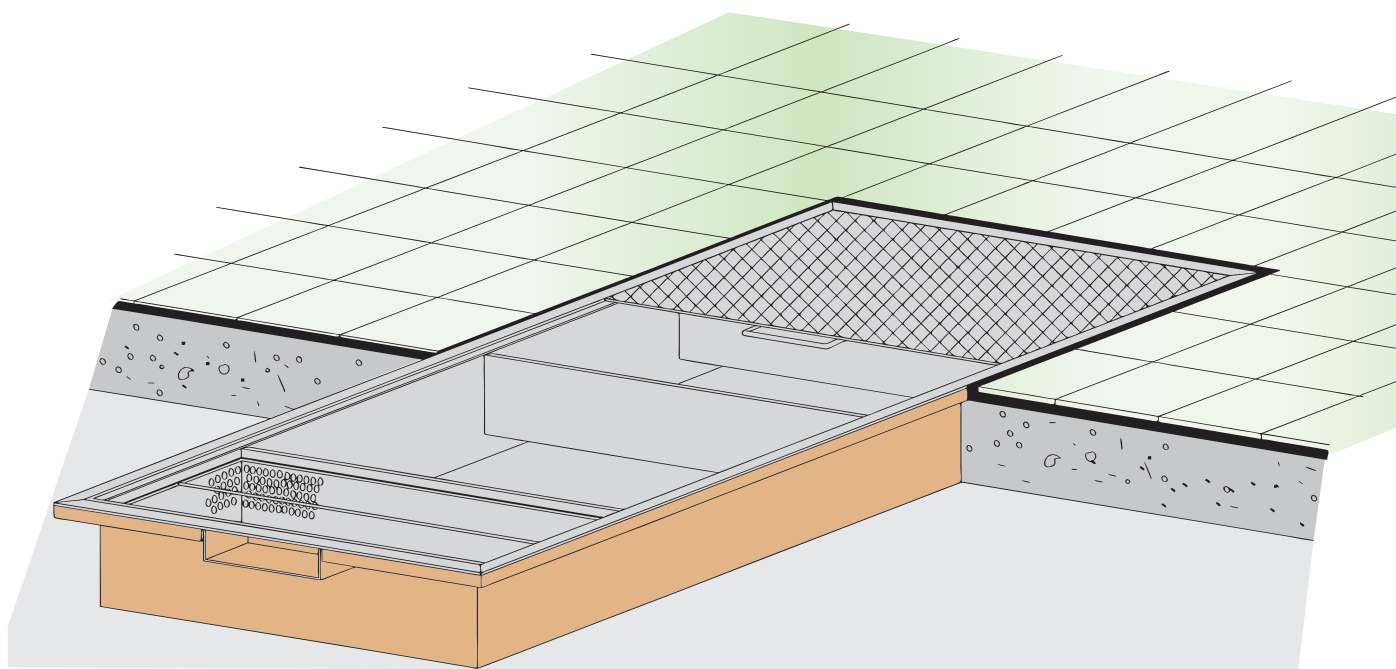
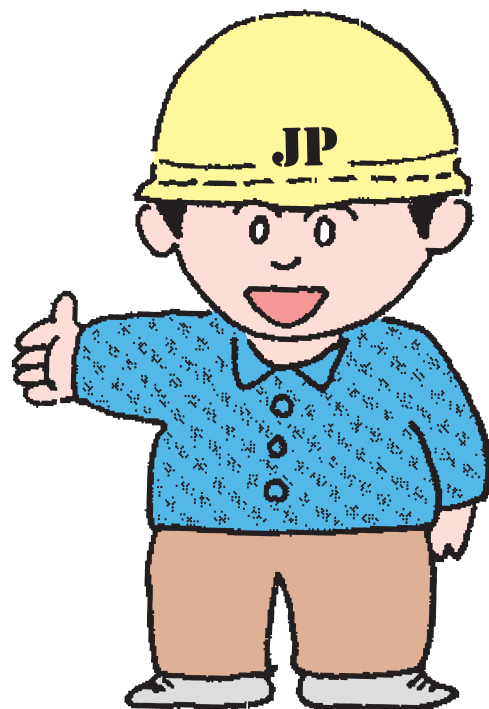
42ℓ～105ℓ (JP-SOSC-HR).....P56

浅型阻集器用標準点検蓋一覧.....P57

こんな時・こんな場所で…

超浅型阻集器を ご使用下さい!!

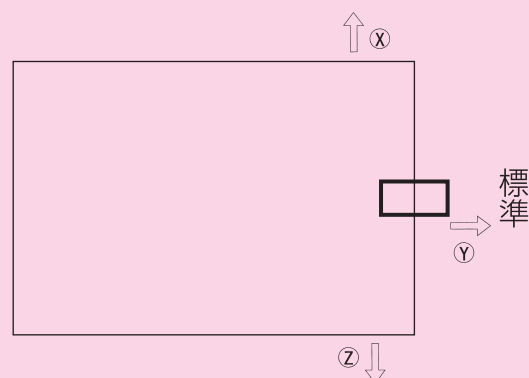
- ◎ 開店日が間近で工期がない。
- ◎ 階下の人に迷惑をかけないで
工事可能。
- ◎ 床の開口、及び床下配管不要。
- ◎ 改築・増築。設置場所はどこでも OK!
- ◎ 理髪店にはヘアートラップ
病院等にはプラスタートラップ等々…
いろいろなニーズに対応します。



●JP式 FRP製 側溝流入シンダー内埋設型 浅型



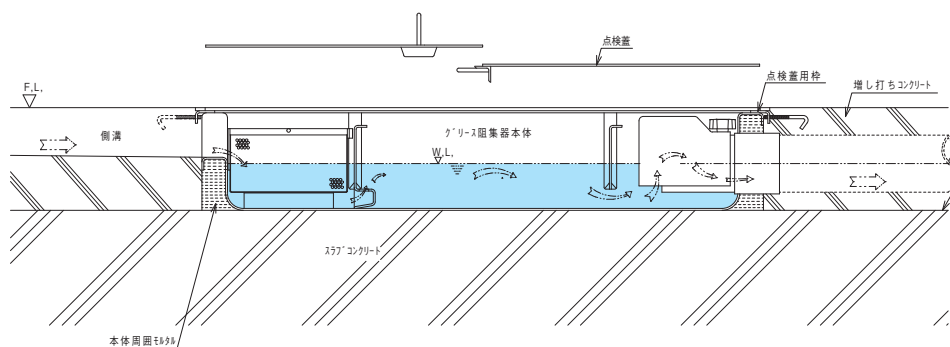
パイプ流出口 位置



*標準品は、Y方向となっておりますが、
XまたはZ方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

FRP製側溝流入式埋設施工型 浅型グリース阻集器標準推奨施工例



施工手順

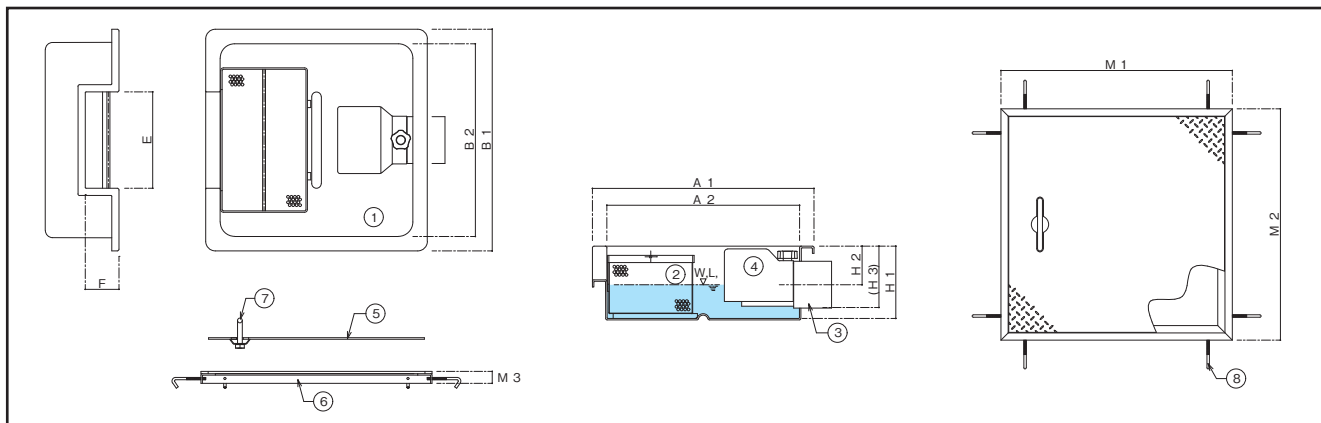
- スラブコンクリート打設
- 防水層施工
- 墨出し(位置決め)
- 阻集器据付
- レベル調整
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- 阻集器本体周囲モルタル固定
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、
枠部分のねじれに注意の事)
- 増し打ちコンクリート打設
- 床仕上げ
- 完成・検査

*増し打ちコンクリートを一発打設の場合、
整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、
槽内に水を溜めながら、若しくは張木
をしてから打設の事

浅
型

FRP製 側溝流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 11ℓ・25ℓ



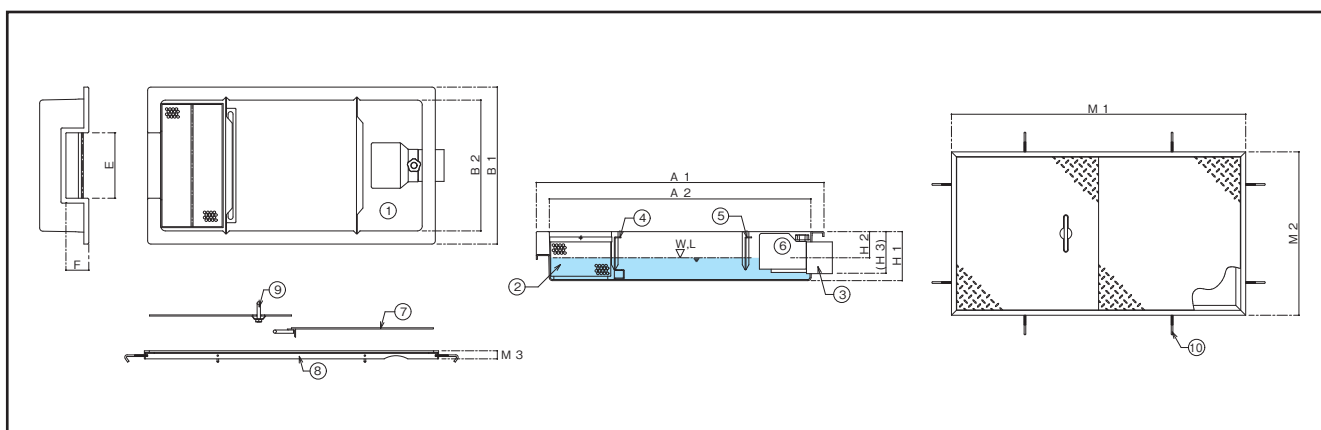
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-40	11	1	75	460	400	460	400	150	80	(128)	200	70	5	480	480	25	1
JP-TOSC-60	25	1	100	680	600	680	600	150	80	(142)	300	70	9	690	690	25	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 / ピンチングプレート
③	流出口	塩ビ DS
④	バイキャップ	FRP
⑤	点検口蓋	シマ板
⑥	点検口枠	Lアングル
⑦	落込式取手	10φ
⑧	ステー	M6φ ネジ

FRP製 側溝流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 13ℓ～35ℓ



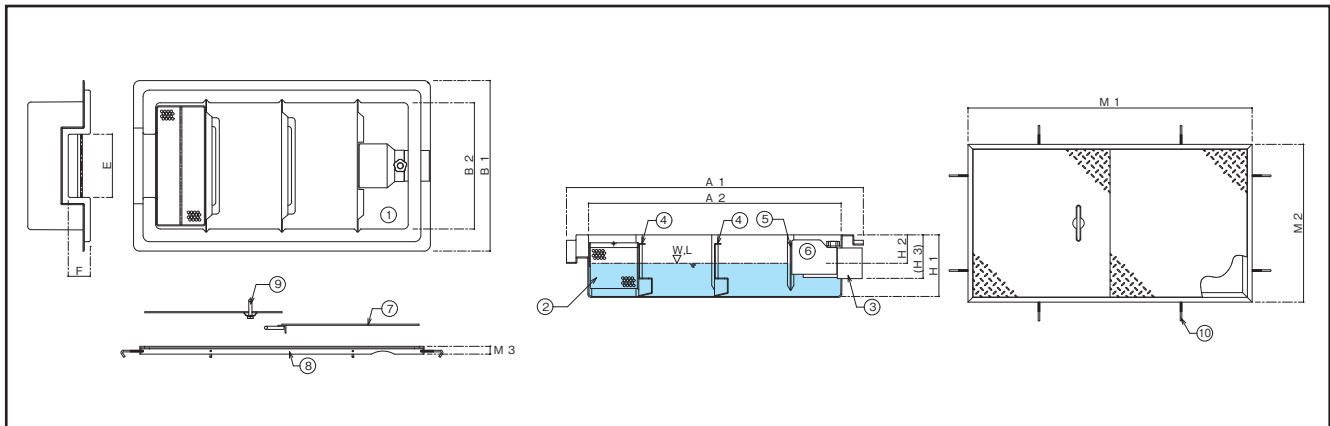
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-630	13	3	75	660	600	360	300	150	80	(128)	200	70	6.5	680	380	25	1
JP-TOSC-840	24	3	75	880	800	480	400	150	80	(128)	200	70	9	900	500	25	2
JP-TOSC-1050	35	4	100	1080	1000	580	500	150	80	(142)	200	70	13	1100	600	25	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 / ピンチングプレート
③	流出口	塩ビ DS
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	バイキャップ	FRP
⑦	点検口蓋	シマ板
⑧	点検口枠	Lアングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	ステー	M6φ ネジ

FRP製 側溝流入シンダー内埋設型

浅型 200H 33ℓ～94ℓ



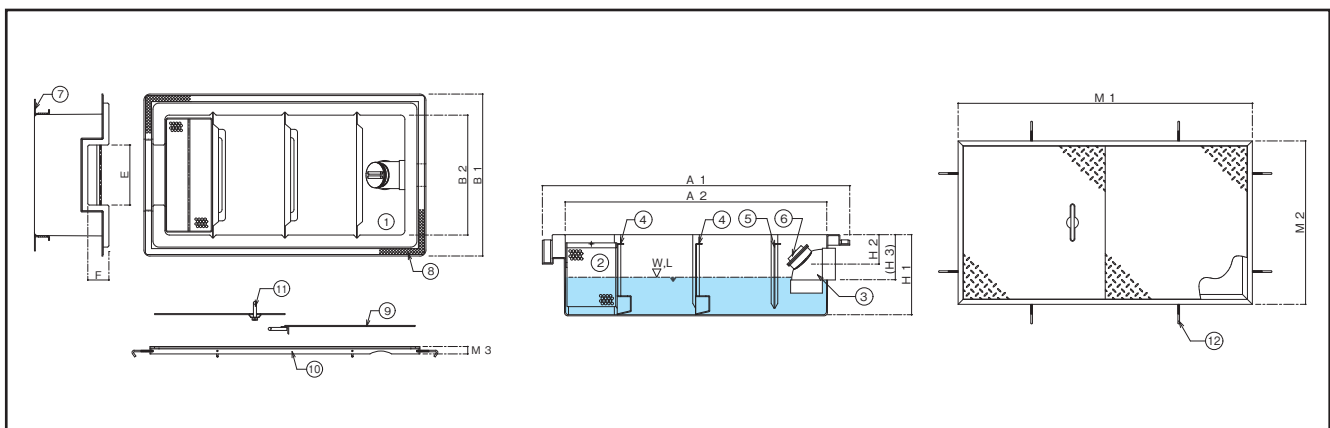
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-840S	33	4	75	940	800	540	400	195	90	(138)	200	70	10	900	500	25	2
JP-TOSC-1050S	52	4	100	1140	1000	640	500	195	90	(152)	200	70	14	1100	600	25	2
JP-TOSC-1260S	75	4	100	1340	1200	740	600	195	90	(152)	200	70	18	1300	700	25	3
JP-TOSC-1560S	94	4	100	1640	1500	740	600	195	90	(152)	200	70	22	1600	700	25	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 / パンチングプレート
③	流出口	塩ビ DS
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	バイキャップ	FRP
⑦	点検口 蓋	シマ板
⑧	点検口 枠	L アングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	ステー	M6φ ネジ

FRP製 側溝流入シンダー内埋設型

浅型 250H 38ℓ～105ℓ



品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-840H	38	4	75	940	800	540	400	245	80	(128)	200	70	12	900	500	25	2
JP-TOSC-1050H	56	4	100	1140	1000	640	500	245	80	(142)	200	70	17	1100	600	25	2
JP-TOSC-1260H	83	4	100	1340	1200	740	600	245	80	(142)	200	70	20	1300	700	25	3
JP-TOSC-1560H	105	4	100	1640	1500	740	600	245	80	(142)	200	70	25	1600	700	25	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

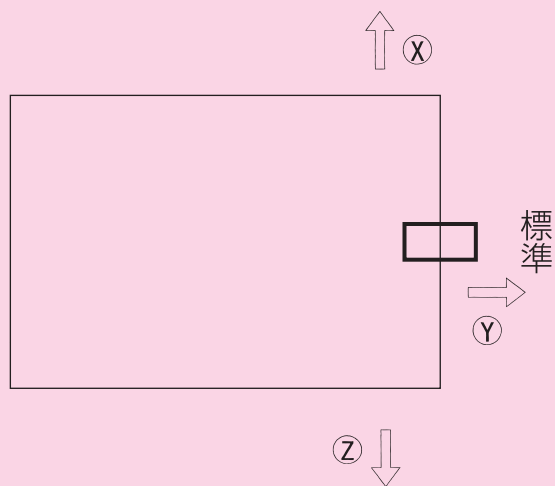
番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 / パンチングプレート
③	流出口	塩ビ DL
④	可動式整流板 A	FRP
⑤	可動式整流板 B	FRP
⑥	掃除口	塩ビ CO
⑦	アンカー固定金具	L アングル
⑧	防水パッキン	ブチールゴム
⑨	点検口 蓋	シマ板
⑩	点検口 枠	L アングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	ステー	M6φ ネジ

浅
型

●JP式 FRP製 パイプ流入シンダー内埋設型 浅型



パイプ流出口 位置

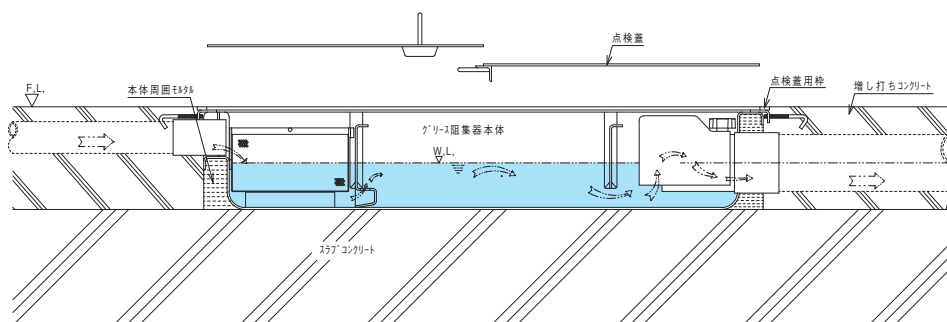


*標準品は、Ⓨ 方向となっております。

*流出口の変更の場合は、方向、口径を指示願います。

施工図

FRP製パイプ流入式埋設施工型
浅型グリース阻集器標準推奨施工例



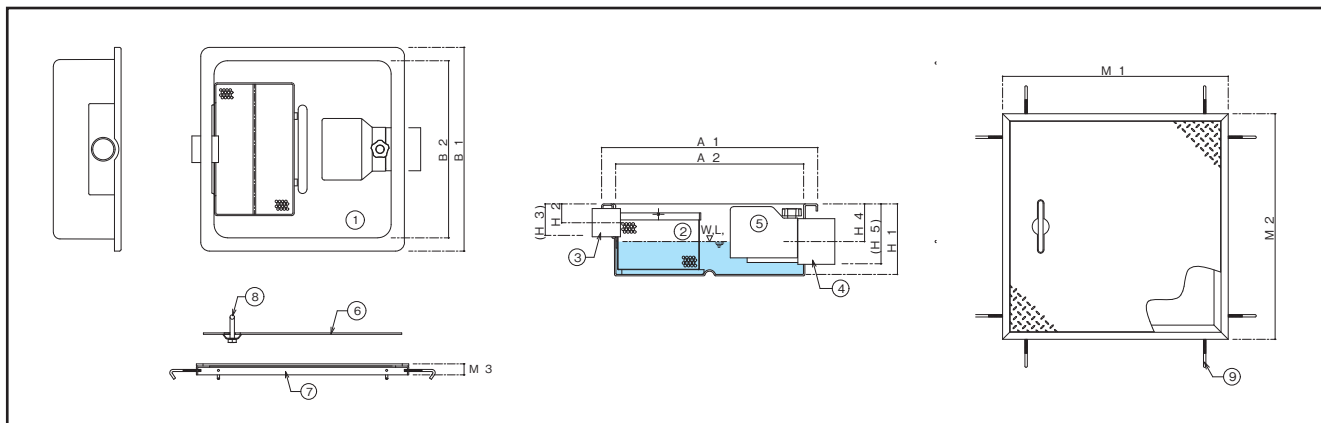
施工手順

- スラブコンクリート打設
- ↓
- 防水層施工
- ↓
- 墨出し(位置決め)
- ↓
- 阻集器搬入
- ↓
- 阻集器据付
- ↓
- レベル調整
- ↓
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- ↓
- 阻集器本体周囲モルタル固定
- ↓
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、枠部分のねじれに注意の事)
- ↓
- 増し打ちコンクリート打設
- ↓
- 床仕上げ
- ↓
- 完成・検査

*増し打ちコンクリートを一発打設の場合、整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、槽内に水を溜めながら、若しくは張木をしてから打設の事

FRP製 パイプ流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 11ℓ・25ℓ



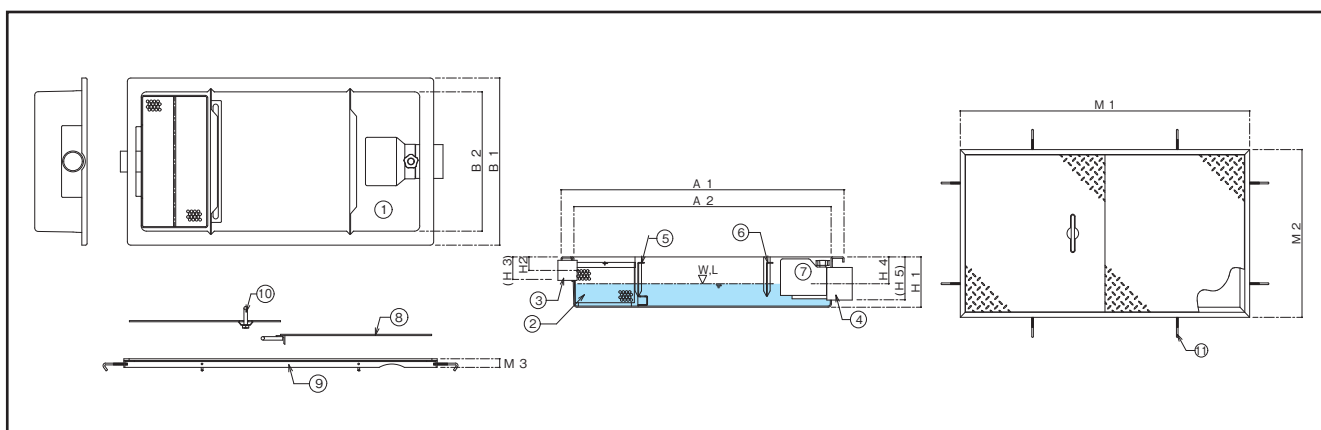
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-40R	11	1	50/75	460	400	460	400	150	40	(70)	80	(128)	5	480	480	25	1
JP-TOSC-60R	25	1	50/100	680	600	680	600	150	40	(70)	80	(142)	9	690	690	25	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流入口	塩ビ VU パイプ
④	流出口	塩ビ DS
⑤	バイキャップ	FRP
⑥	点検口 蓋	シマ板
⑦	点検口 枠	L アングル
⑧	落込式取手	10φ
⑨	ステー	M6φ ネジ

FRP製 パイプ流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 13ℓ～35ℓ



品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-630R	13	3	50/75	660	600	360	300	150	40	(70)	80	(128)	6.5	680	380	25	1
JP-TOSC-840R	24	3	50/75	880	800	480	400	150	40	(70)	80	(128)	9	900	500	25	2
JP-TOSC-1050R	35	4	50/100	1080	1000	580	500	150	40	(70)	80	(142)	13	1100	600	25	2

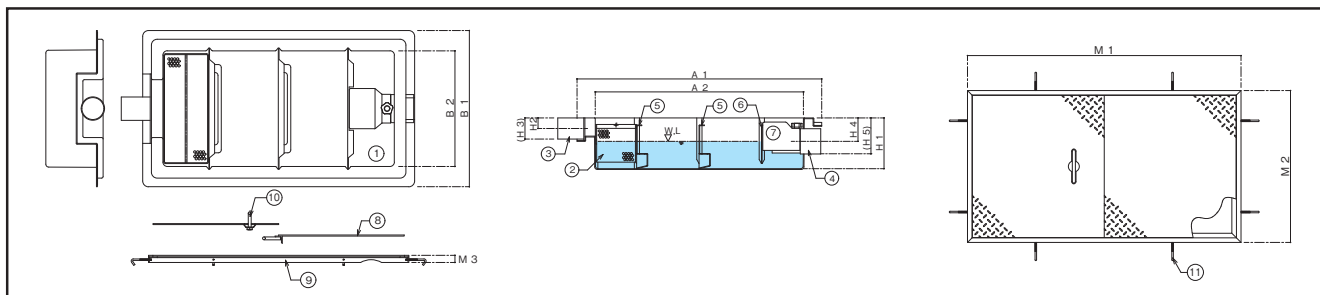
※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流入口	塩ビ VU パイプ
④	流出口	塩ビ DS
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	点検口 蓋	シマ板
⑨	点検口 枠	L アングル
⑩	落込式取手	10φ
⑪	ステー	M6φ ネジ

浅
型

FRP製 パイプ流入シンダー内埋設型

浅型 200H 33ℓ～94ℓ

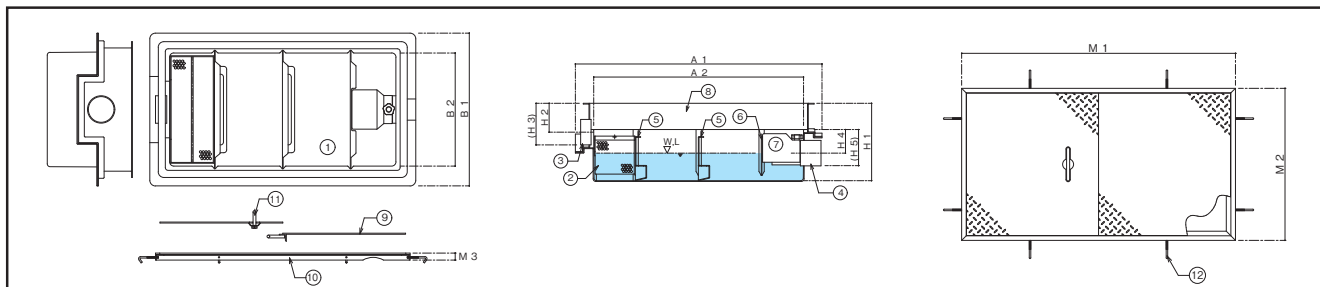


品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-840SM	33	4	65/75	940	800	540	400	195	40	(81)	90	(138)	11	900	500	25	2
JP-TOSC-1050SM	52	4	65/100	1140	1000	640	500	195	40	(81)	90	(152)	15	1100	600	25	2
JP-TOSC-1260SM	75	4	65/100	1340	1200	740	600	195	40	(81)	90	(152)	19	1300	700	25	3
JP-TOSC-1560SM	94	4	65/100	1640	1500	740	600	195	40	(81)	90	(152)	23	1600	700	25	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 バチングプレート
③	流入口	塩ビ VU パイプ
④	流出口	塩ビ DS
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	点検口 蓋	シマ板
⑨	点検口 枠	Lアングル
⑩	落込式取手	10φ
⑪	ステー	M6φ ネジ

浅型 300H 33ℓ～94ℓ

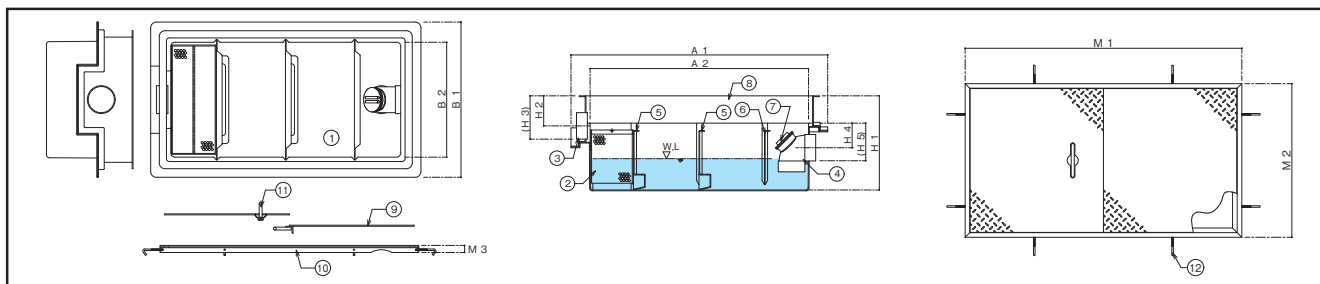


品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-840SR	33	4	75/75	940	800	540	400	295	110	(158)	190	(238)	13	900	500	25	2
JP-TOSC-1050SR	52	4	100/100	1140	1000	640	500	295	110	(172)	190	(252)	17	1100	600	25	2
JP-TOSC-1260SR	75	4	100/100	1340	1200	740	600	295	110	(172)	190	(252)	22	1300	700	25	3
JP-TOSC-1560SR	94	4	100/100	1640	1500	740	600	295	110	(172)	190	(252)	25	1600	700	25	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 バチングプレート
③	流入口	塩ビ DS
④	流出口	塩ビ DS
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	カサ上げ	FRP
⑨	点検口 蓋	シマ板
⑩	点検口 枠	Lアングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	ステー	M6φ ネジ

浅型 350H 38ℓ～105ℓ

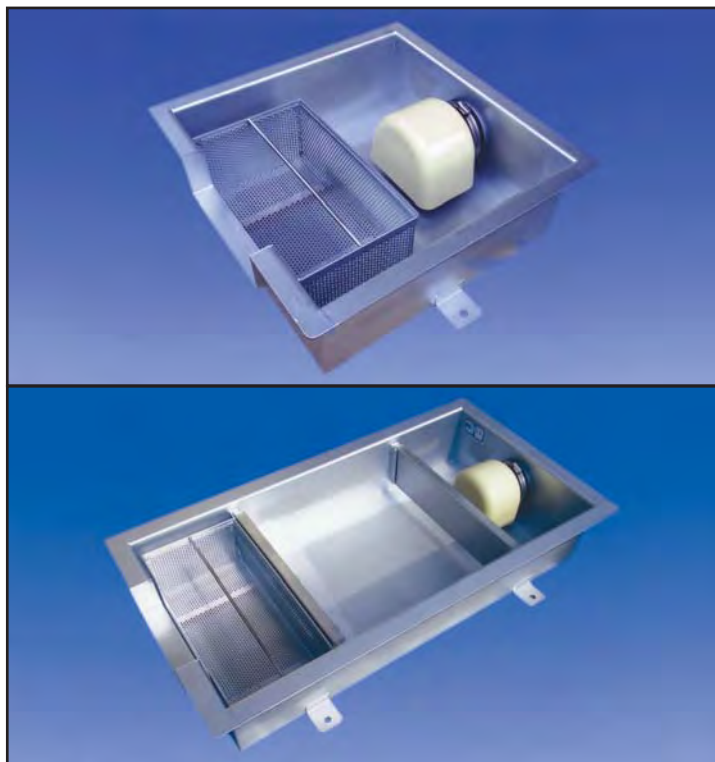


品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法										点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-TOSC-840HR	38	4	75/75	940	800	540	400	348	100	(148)	180	(228)	14	900	500	25	2
JP-TOSC-1050HR	56	4	100/100	1140	1000	640	500	348	90	(152)	180	(242)	18	1100	600	25	2
JP-TOSC-1260HR	83	4	100/100	1340	1200	740	600	348	90	(152)	180	(242)	23	1300	700	25	3
JP-TOSC-1560HR	105	4	100/100	1640	1500	740	600	348	90	(152)	180	(242)	26	1600	700	25	3

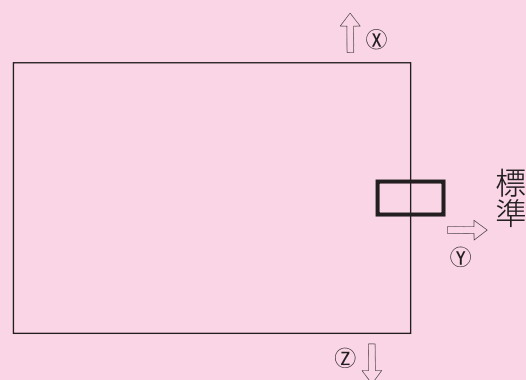
※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	FRP
②	バスケット	SUS 304 バチングプレート
③	流入口	塩ビ DS
④	流出口	塩ビ DL
⑤	可動式整流板 A	FRP
⑥	可動式整流板 B	FRP
⑦	掃除口	塩ビ CO
⑧	カサ上げ	FRP
⑨	点検口 蓋	シマ板
⑩	点検口 枠	Lアングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	ステー	M6φ ネジ

●JP式 SUS製 側溝流入シンダー内埋設型 浅型



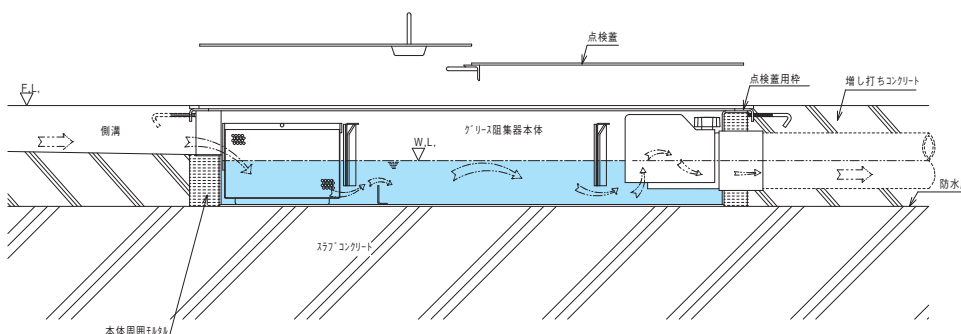
パイプ流出口 位置



*標準品は、Y方向となっておりますが、
XまたはZ方向に変更も可能です。
流出口変更の場合は、排出口方向、口径、
価格等 御確認ください。

施工図

SUS製側溝流入式埋設施工型 浅型グリース阻集器標準推奨施工例



施工手順

スラブコンクリート打設

防水層施工

墨出し(位置決め)

阻集器搬入

阻集器据付

レベル調整

流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)

阻集器本体周囲モルタル固定

点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、
枠部分のねじれに注意の事)

増し打ちコンクリート打設

床仕上げ

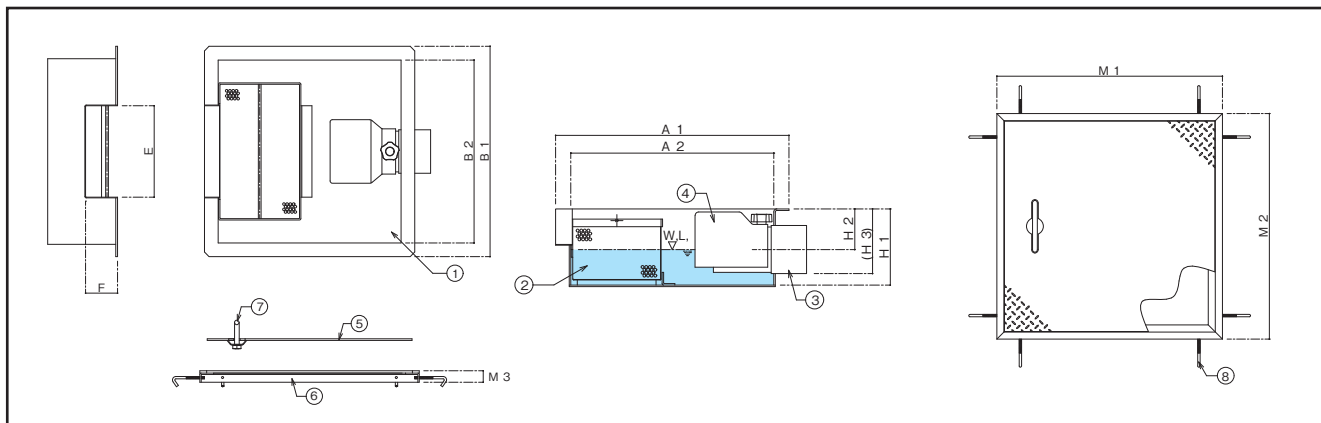
完成・検査

*増し打ちコンクリートを一発打設の場合、
整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、
槽内に水を溜めながら、若しくは張木
をしてから打設の事

浅
型

SUS製 側溝流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 11ℓ・25ℓ



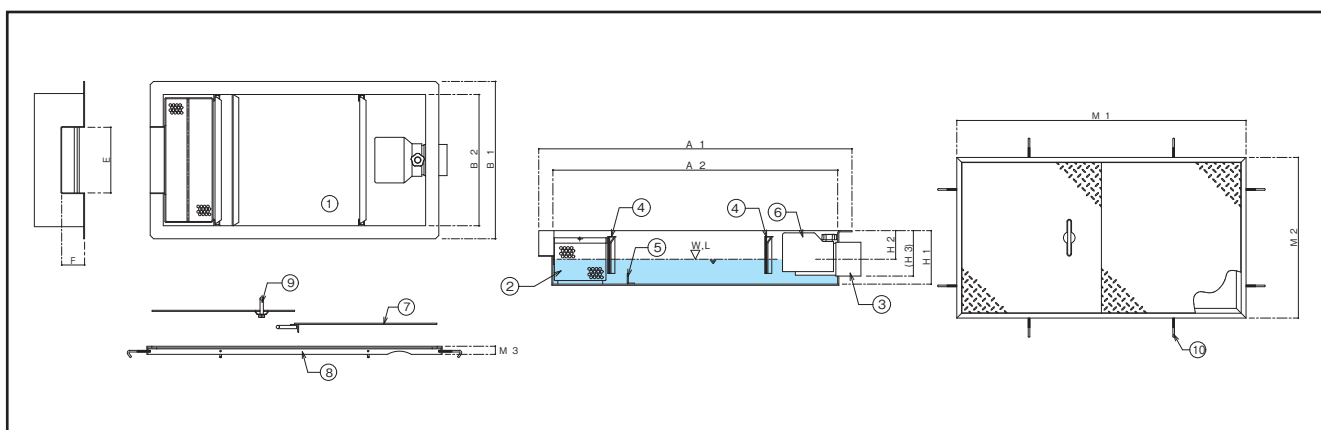
品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
	ℓ			A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	自重(kg)	M1	M2	M3	
JP-SOSC-40-15	11	1	80	460	400	460	400	150	80	(127)	200	70	13	480	480	25	1
JP-SOSC-60-15	25	1	100	680	600	680	600	150	80	(140)	300	70	22	690	690	25	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流出口	内ネジソケット
④	バイキャップ	FRP
⑤	点検口 蓋	シマ板
⑥	点検口 枠	Lアングル
⑦	落込式取手	10φ
⑧	ステー	M6φネジ

SUS製 側溝流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 12ℓ～63ℓ



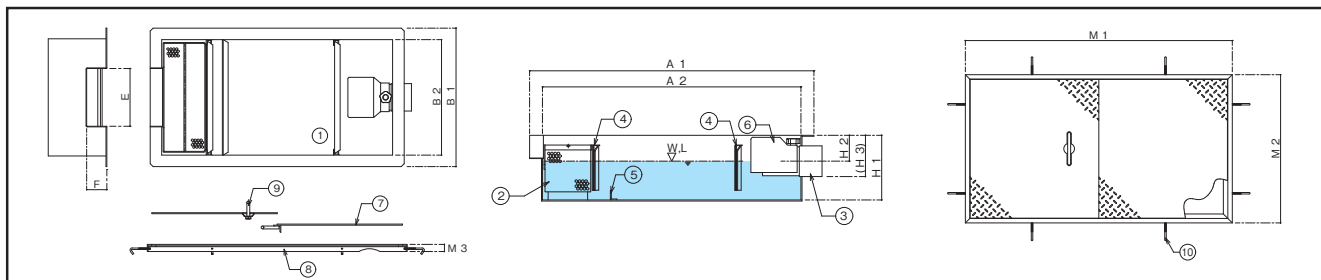
品番	容量 ℓ	槽数	口径	本体寸法									点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	M1	M2	M3	
JP-SOSC-630-15	12	3	80	660	600	360	300	150	80	(127)	200	70	680	380	25	1
JP-SOSC-840-15	22	3	80	880	800	480	400	150	80	(127)	200	70	900	500	25	2
JP-SOSC-1050-15	35	4	100	1080	1000	580	500	150	80	(140)	200	70	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260-15	50	4	100	1280	1200	680	600	150	80	(140)	200	70	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560-15	63	4	100	1580	1500	680	600	150	80	(140)	200	70	1600	700	25	3

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流出口	内ネジソケット
④	可動式整流板	SUS304
⑤	固定式整流板	SUS304
⑥	バイキャップ	FRP
⑦	点検口 蓋	シマ板
⑧	点検口 枠	Lアングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	ステー	M6φネジ

SUS 製 側溝流入シンダー内埋設型

浅型 200H 21ℓ ~ 105ℓ

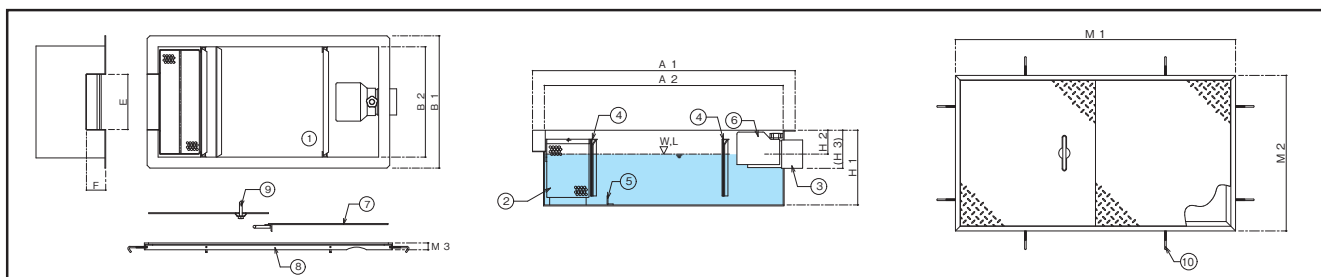


品番	容量	槽数	口径	本体寸法								点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	M1	M2	M3	
JP-SOSC-630-20	21	3	80	660	600	360	300	200	80	(127)	200	70	680	380	25	1
JP-SOSC-840-20	38	3	80	880	800	480	400	200	80	(127)	200	70	900	500	25	2
JP-SOSC-1050-20	60	4	100	1080	1000	580	500	200	80	(140)	200	70	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260-20	86	4	100	1280	1200	680	600	200	80	(140)	200	70	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560-20	105	4	100	1580	1500	680	600	200	80	(140)	200	70	1600	700	25	3

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 バンチングプレート
③	流出口	内ネジソケット
④	可動式整流板	SUS304
⑤	固定式整流板	SUS304
⑥	バイキャップ	FRP
⑦	点検口 蓋	シマ板
⑧	点検口 枠	Lアングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	ステー	M6φ ネジ

浅型 250H 30ℓ ~ 150ℓ



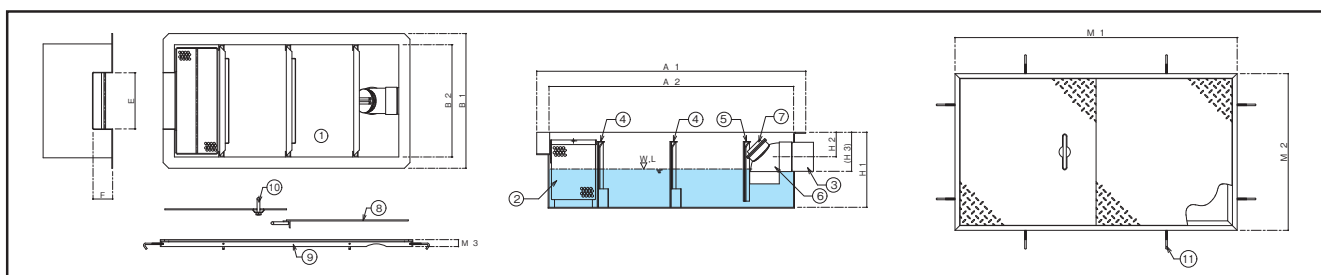
品番	容量	槽数	口径	本体寸法								点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	M1	M2	M3	
JP-SOSC-630-25	30	3	80	660	600	360	300	250	80	(127)	200	70	680	380	25	1
JP-SOSC-840-25	55	3	80	880	800	480	400	250	80	(127)	200	70	900	500	25	2
JP-SOSC-1050-25	85	4	100	1080	1000	580	500	250	80	(140)	200	70	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260-25	122	4	100	1280	1200	680	600	250	80	(140)	200	70	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560-25	150	4	100	1580	1500	680	600	250	80	(140)	200	70	1600	700	25	3

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 バンチングプレート
③	流出口	内ネジソケット
④	可動式整流板	SUS304
⑤	固定式整流板	SUS304
⑥	バイキャップ	FRP
⑦	点検口 蓋	シマ板
⑧	点検口 枠	Lアングル
⑨	落込式取手	10φ
⑩	ステー	M6φ ネジ

浅
型

浅型 250H 42ℓ ~ 105ℓ

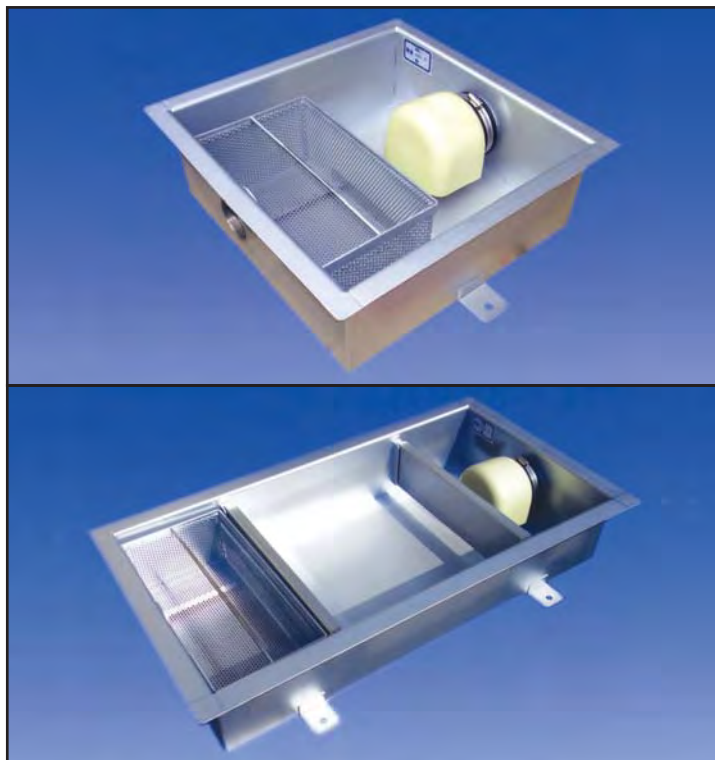


品番	容量	槽数	口径	本体寸法								点検蓋寸法				蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	E	F	M1	M2	M3	
JP-SOSC-840H	42	4	80	880	800	480	400	245	80	(127)	200	70	900	500	25	2
JP-SOSC-1050H	60	4	100	1080	1000	580	500	245	85	(140)	200	70	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260H	86	4	100	1280	1200	680	600	245	85	(140)	200	70	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560H	105	4	100	1580	1500	680	600	245	85	(140)	200	70	1600	700	25	3

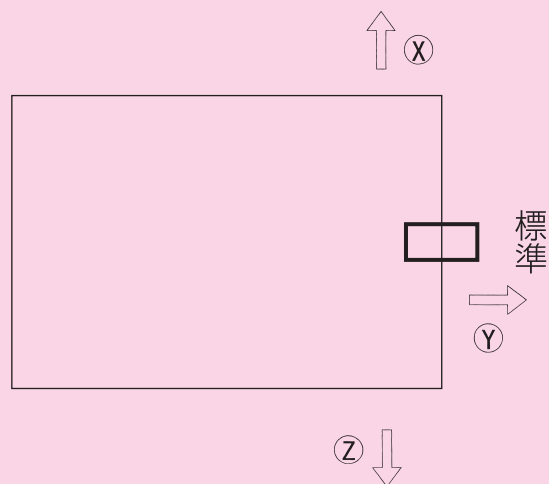
※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 バンチングプレート
③	流出口	内ネジソケット
④	可動式整流板 A	SUS 304
⑤	可動式整流板 B	SUS 304
⑥	トラップ部	塩ビ DL
⑦	掃除口	塩ビ CO
⑧	点検口 蓋	シマ板
⑨	点検口 枠	Lアングル
⑩	落込式取手	10φ
⑪	ステー	M6φ ネジ

●JP式 SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型 浅型



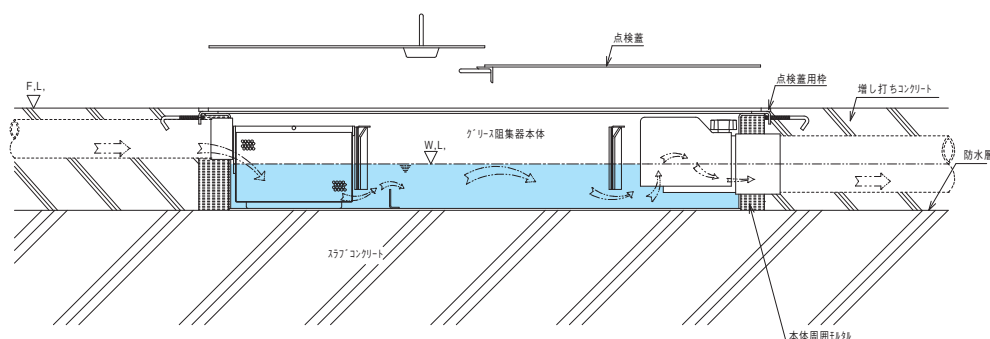
パイプ流入・流出口 位置



※流入口および流出口変更も可能です。
各種変更の場合、方向・口径・価格等
御確認ください。

施工図

SUS製パイプ流入式埋設施工型
浅型グリース阻集器標準推奨施工例



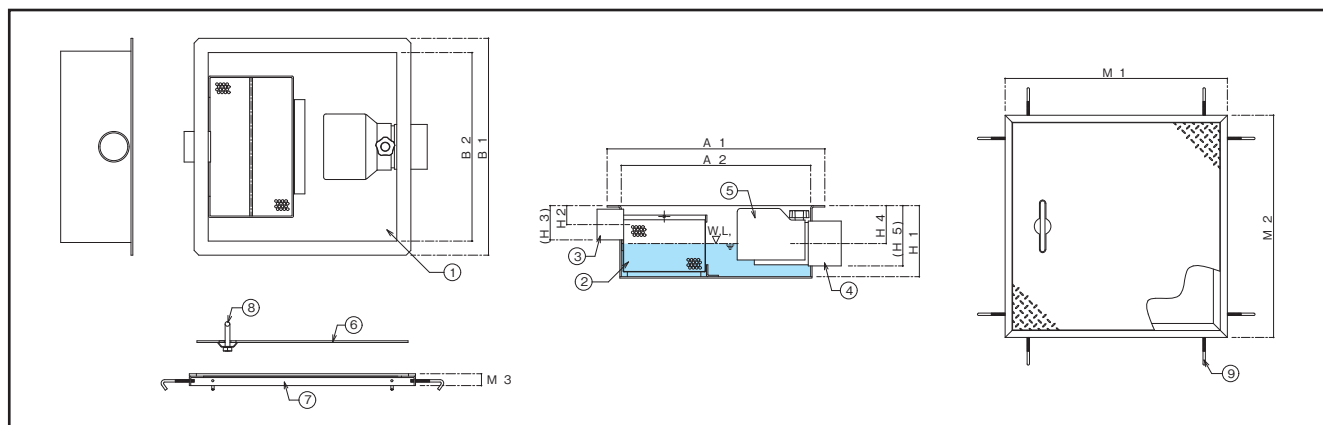
施工手順

- スラブコンクリート打設
- ↓
- 防水層施工
- ↓
- 墨出し(位置決め)
- ↓
- 阻集器搬入
- ↓
- 阻集器据付
- ↓
- レベル調整
- ↓
- 流入・流出管設置
(専用の接着剤にて完全に設置の事)
- ↓
- 阻集器本体周囲モルタル固定
- ↓
- 点検蓋用別枠の設置
(点検蓋が着脱できなくなる恐れがあるため、
枠部分のねじれに注意の事)
- ↓
- 増し打ちコンクリート打設
- ↓
- 床仕上げ
- ↓
- 完成・検査

※増し打ちコンクリートを一発打設の場合、
整流板が着脱できなくなる恐れがあるため、
槽内に水を溜めながら、若しくは張木
をしてから打設の事

SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 11ℓ・25ℓ



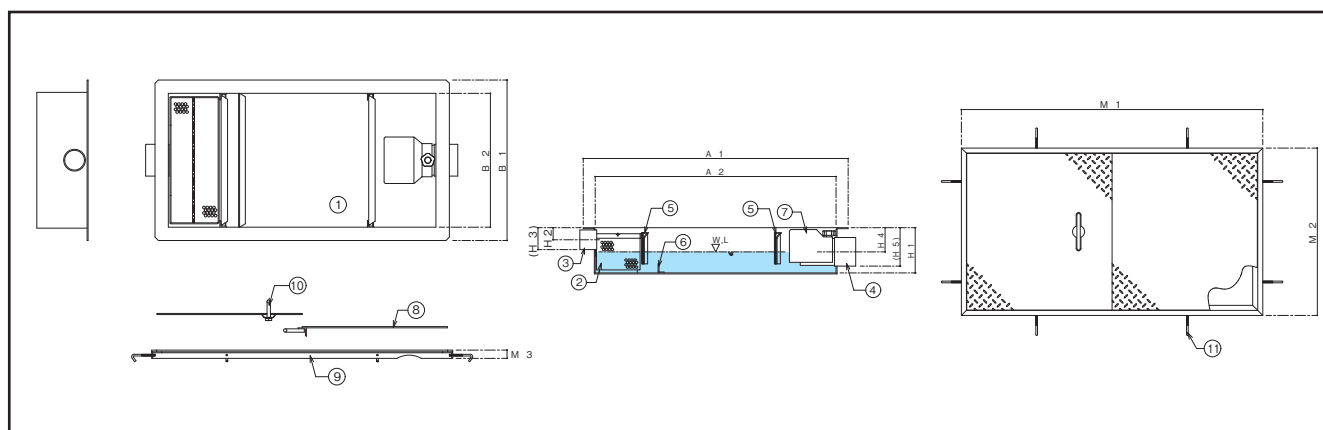
品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法									点 検 蓋 寸 法			蓋数
	ℓ			A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	M1	M2	M3	
JP-SOSC-40R-15	11	1	50/80	460	400	460	400	150	40	(73)	80	(127)	480	480	25	1
JP-SOSC-60R-15	25	1	50/100	680	600	680	600	150	40	(73)	80	(140)	690	690	25	2

※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流入口	内ネジソケット
④	流出口	内ネジソケット
⑤	バイキャップ	FRP
⑥	点検口蓋	シマ板
⑦	点検口枠	Lアングル
⑧	落込式取手	10φ
⑨	ステー	M6φ ネジ

SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型

超浅型 150H 12ℓ～63ℓ



品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法									点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	M 1	M 2	M 3	
JP-SOSC-630R-15	12	3	50/80	660	600	360	300	150	40	(73)	80	(127)	680	380	25	1
JP-SOSC-840R-15	22	3	50/80	880	800	480	400	150	40	(73)	80	(127)	900	500	25	2
JP-SOSC-1050R-15	35	4	50/100	1080	1000	580	500	150	40	(73)	80	(140)	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260R-15	50	4	50×2/100	1280	1200	680	600	150	40	(73)	80	(140)	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560R-15	63	4	50×2/100	1580	1500	680	600	150	40	(73)	80	(140)	1600	700	25	3

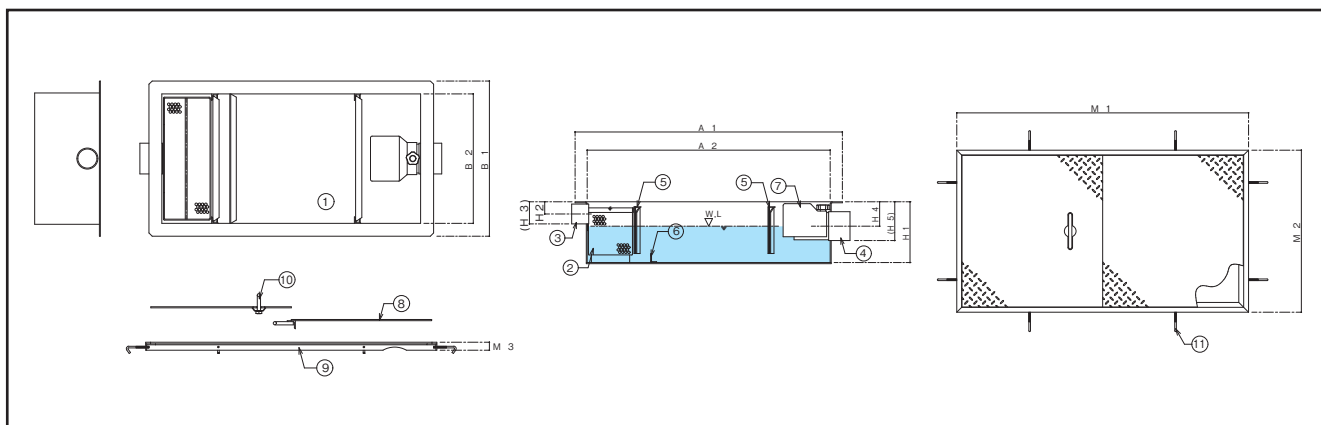
※()内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流入口	内ネジソケット
④	流出口	内ネジソケット
⑤	可動式整流板	SUS 304
⑥	固定式整流板	SUS 304
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	点検口蓋	シマ板
⑨	点検口枠	Lアングル
⑩	落込式取手	10φ
⑪	ステー	M6φ ネジ

浅
型

SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型

浅型 200H 21 ℓ ~ 105 ℓ



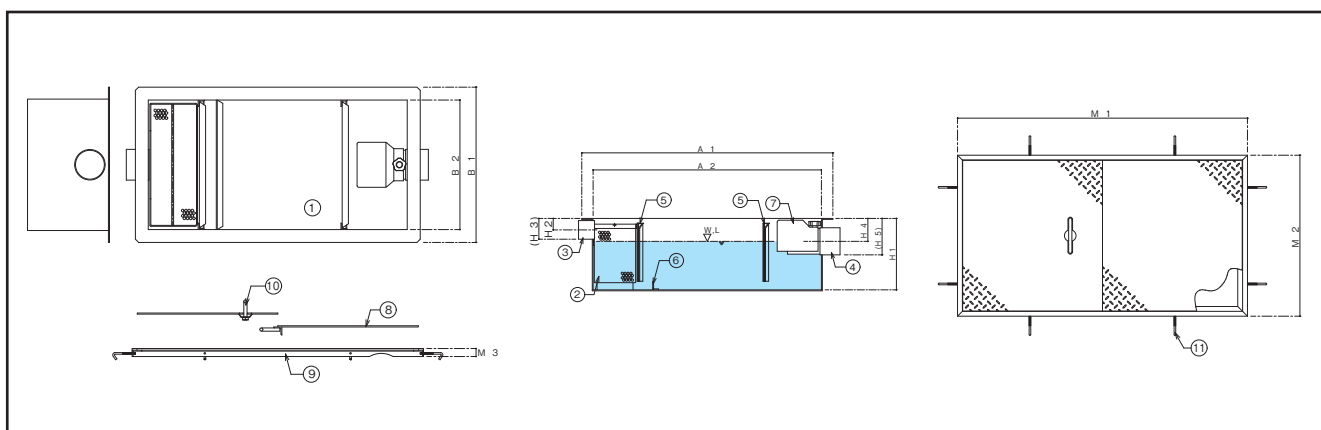
品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法										点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	M 1	M 2	M 3		
JP-SOSC-630R-20	21	3	50/80	660	600	360	300	200	40	(73)	80	(127)	680	380	25	1	
JP-SOSC-840R-20	38	3	50/80	880	800	480	400	200	40	(73)	80	(127)	900	500	25	2	
JP-SOSC-1050R-20	60	4	50×2/100	1080	1000	580	500	200	40	(73)	80	(140)	1100	600	25	2	
JP-SOSC-1260R-20	86	4	50×2/100	1280	1200	680	600	200	40	(73)	80	(140)	1300	700	25	3	
JP-SOSC-1560R-20	105	4	50×2/100	1580	1500	680	600	200	40	(73)	80	(140)	1600	700	25	3	

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 / パンチングプレート
③	流入口	内ネジソケット
④	流出口	内ネジソケット
⑤	可動式整流板	SUS304
⑥	固定式整流板	SUS304
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	点検口 蓋	シマ板
⑨	点検口 枠	L アングル
⑩	落込式取手	10 φ
⑪	ステー	M6 φ ネジ

SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型

浅型 250H 23 ℓ ~ 100 ℓ



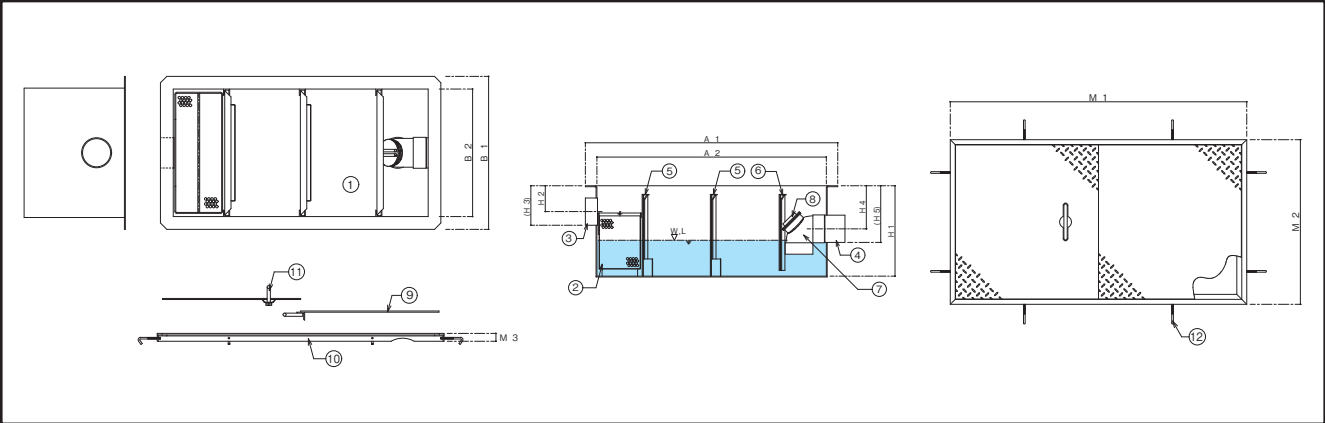
品番	容量	槽数	口径	本 体 寸 法									点 検 蓋 寸 法			蓋 数
				A 1	A 2	B 1	B 2	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	M 1	M 2	M 3	
JP-SOSC-630R-25	23	3	80/80	660	600	360	300	250	60	(108)	120	(168)	680	380	25	1
JP-SOSC-840R-25	41	3	80/80	880	800	480	400	250	60	(108)	120	(168)	900	500	25	2
JP-SOSC-1050R-25	55	4	100/100	1080	1000	580	500	250	70	(130)	140	(200)	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260R-25	79	4	100/100	1280	1200	680	600	250	70	(130)	140	(200)	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560R-25	100	4	100/100	1580	1500	680	600	250	70	(130)	140	(200)	1600	700	25	3

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 / パンチングプレート
③	流入口	内ネジソケット
④	流出口	内ネジソケット
⑤	可動式整流板	SUS304
⑥	固定式整流板	SUS304
⑦	バイキャップ	FRP
⑧	点検口 蓋	シマ板
⑨	点検口 枠	L アングル
⑩	落込式取手	10 φ
⑪	ステー	M6 φ ネジ

SUS製 パイプ流入シンダー内埋設型

浅型 320H 42ℓ～105ℓ



品番	容量	槽数	口径	本体寸法									点検蓋寸法			蓋数
				A1	A2	B1	B2	H1	H2	H3	H4	H5	M1	M2	M3	
JP-SOSC-840HR	42	4	80/80	880	800	480	400	315	90	(137)	150	(197)	900	500	25	2
JP-SOSC-1050HR	60	4	100/100	1080	1000	580	500	315	80	(140)	150	(210)	1100	600	25	2
JP-SOSC-1260HR	86	4	100/100	1280	1200	680	600	315	80	(140)	150	(210)	1300	700	25	3
JP-SOSC-1560HR	105	4	100/100	1580	1500	680	600	315	80	(140)	150	(210)	1600	700	25	3

※ () 内参考寸法は、外形寸法です。

番号	名称	規格・寸法
①	本体	SUS 304
②	バスケット	SUS 304 パンチングプレート
③	流入口	内ネジソケット
④	流出口	内ネジソケット
⑤	可動式整流板 A	SUS 304
⑥	可動式整流板 B	SUS 304
⑦	トラップ部	塩ビDL
⑧	掃除口	塩ビCO
⑨	点検口 蓋	シマ板
⑩	点検口 枠	L アングル
⑪	落込式取手	10φ
⑫	ステー	M6φ ネジ

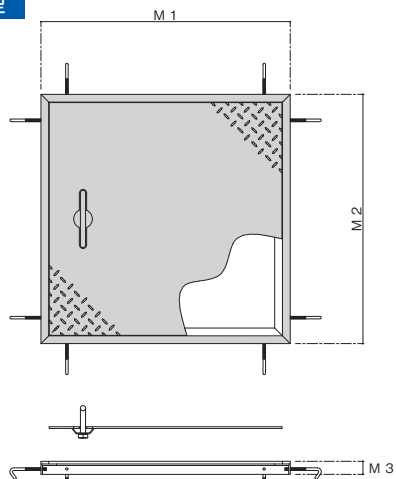
浅
型

点検蓋の標準適合機種及び概略寸法

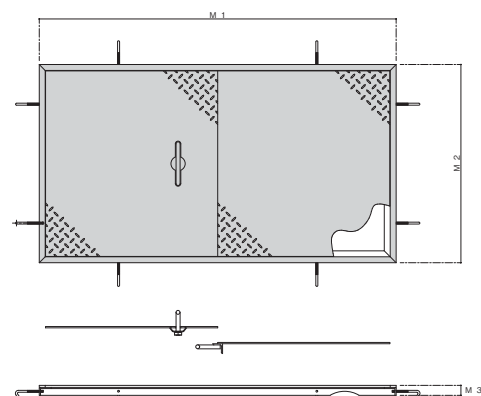
○ 標準品点検蓋の表面処理についてはノンタル系ディッピング塗料（黒色）を使用しております。

点検蓋型式	蓋 数	M 1	M 2	M 3	標 準 適 合 機 種
JP-MO-I型 (JP-MOX-I型)	1	480	480	25	JP-TOSC-40・JP-SOSC-40 シリーズ
		680	380	25	JP-TOSC-630・JP-SOSC-630 シリーズ
JP-MO-II型 (JP-MOX-II型)	2	690	690	25	JP-TOSC-60・JP-SOSC-60 シリーズ
		900	500	25	JP-TOSC-840・JP-SOSC-840 シリーズ
		1100	600	25	JP-TOSC-1050・JP-SOSC-1050 シリーズ
JP-MO-III型 (JP-MOX-III型)	3	1300	700	25	JP-TOSC-1260・JP-SOSC-1260 シリーズ
		1600	700	25	JP-TOSC-1560・JP-SOSC-1560 シリーズ

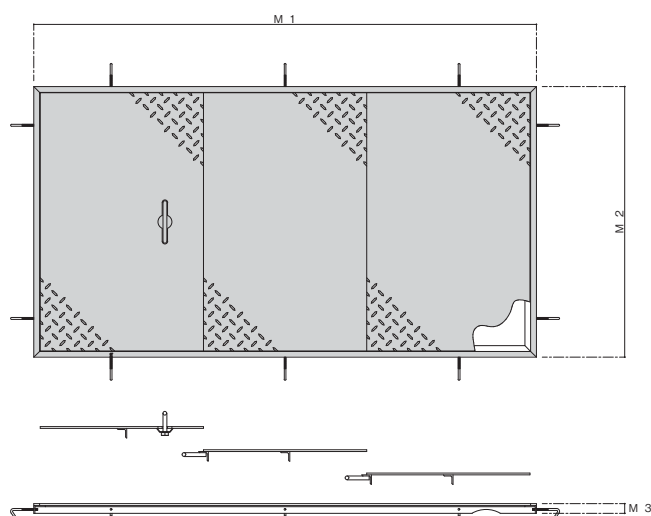
JP-MO-I型



JP-MO-II型



JP-MO-III型



いつまでも清潔に！より効率良く使用していただくために、トラップ内も掃除は下記の様な周期で行って下さい。

○バスケット内の掃除……………毎日1回

○トラップ内（ヘドロパン・整流板等）の掃除……………1週間に1回

流入口排出口の取付け方向は変更出来ますので御指示ください。数量の多少にかかわらず特注品の製作もいたします。

予告なしに改良の為、仕様等を変更させていただく事があります。

弊社製品は多くの実用新案・意匠登録・などの工業所有権及び商標を所有・申請致しております。

○各種掃除用具！

スクーパーS基本セット

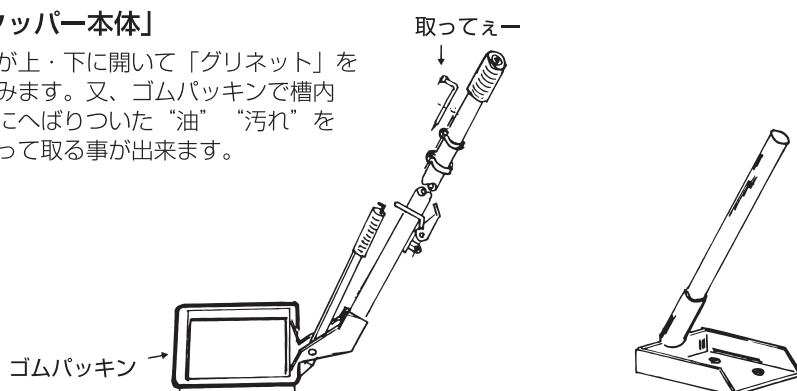
基本セットの中には

スクーパー本体 1本・溝サラエ 1本・取ってえー1本

グリネット（細目）10枚・グリマット10枚が一式になっています。

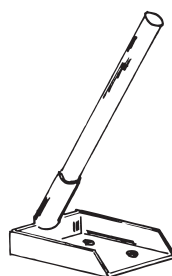
「スクーパー本体」

枠部が上・下に開いて「グリネット」をはさみます。又、ゴムパッキンで槽内側壁にへばりついた“油”“汚れ”をこすって取る事が出来ます。

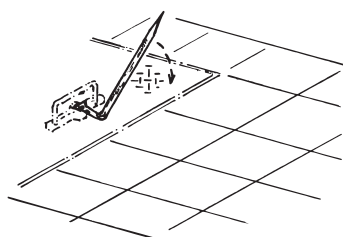


「溝サラエ」

側溝の掃除、バスケットの中の掃除に最適です。



「取ってえー」マンホールの取手の細かい隙間のゴミをかき取ってください。

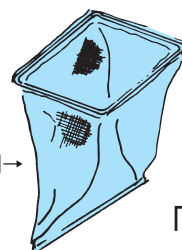


「グリマット」

掃除が終了後阻集器内に浮かべて下さい。油が吸着し、次回の掃除が楽になります。



ポリ網→

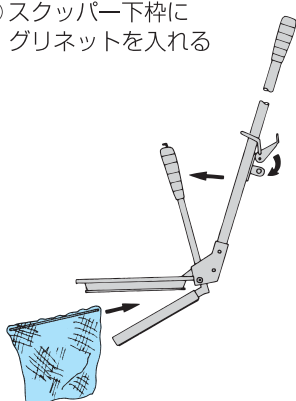


「グリネット」

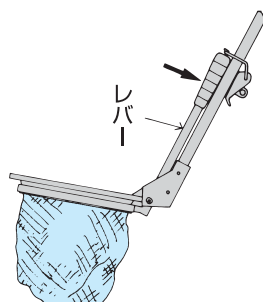
使い捨ての網です。細かいゴミ油等をすくってポイ！

グリネットの取り付け方法

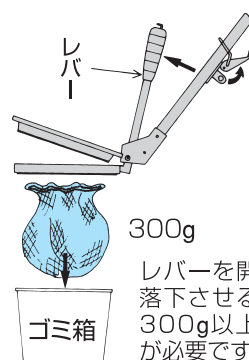
① スクーパー下枠にグリネットを入れる



② レバーを引いてグリネットをおさえる（この状態で使用して下さい）



③ 使用後はレバーを開いて枠をはずして下さい。グリネットがそのまま落下します。



300g
レバーを開いて落下させるのに300g以上重さが必要です。

備考

各阻集器の保守・管理について

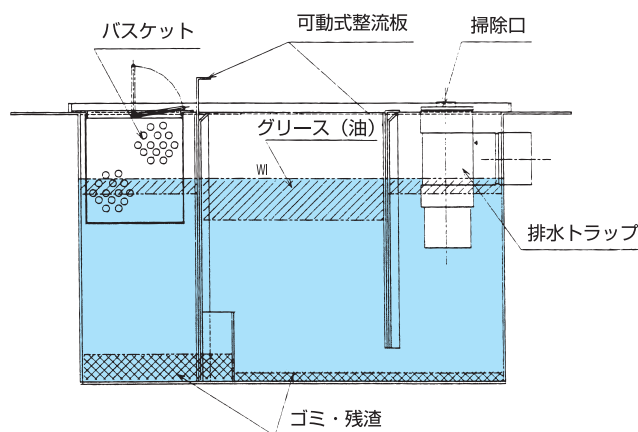
阻集器は「油」「ゴミ」を集める「器」です。
集まった「油」・「ゴミ」は金網、ヒシヤク等で必ず
除去して下さい。
取り外した部品は必ず元の位置へ取り付けして下さい!!



バスケットの
掃除は
毎日1回



掃除をおこたると著しく阻集器
の機能が低下します。必ず掃除
をして下さい!!
掃除が簡単に出来る
スクッパーも販売しています。



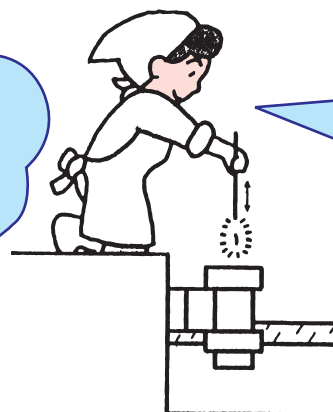
グリース(油)の
掃除は1週間に1回



ゴミ・残渣
の掃除は
2週間に1回
スクッパーで
らくらく掃除!!



トラップ内部の
掃除は
2～3ヶ月に
1回



注意!!
掃除口キャップは忘れず元の位置へ



NIHON-PIT

株式会社 日本ピット

<http://www.nihon-pit.co.jp/> E-mail: info@nihon-pit.co.jp

本 社／〒870-0941 大分県大分市大字下郡3260-9
【代 表】
TEL 097-568-4141 FAX 097-547-7900
【防水板装置部・MH部】
TEL 097-568-3711 FAX 097-568-5048
【防水板部】
TEL 097-568-1623 FAX 097-568-5726

第 五 工 場／〒870-0944 大分県大分市大字片島字米良1250番地
【建材部】
TEL 097-535-7364 FAX 097-535-7365
【営業管理部】
TEL 097-568-4143 FAX 097-535-7365

東京営業所／〒115-0042 東京都北区志茂2丁目59-20 USビル2F
TEL 03-5939-9881 FAX 03-5939-9882

大阪営業所／〒564-0051 大阪府吹田市豊津町2-1第一中田ビル203号
TEL 06-6155-8420 FAX 06-6155-8520

名古屋営業所／〒464-0807 愛知県名古屋市千種区東山通5丁目113 オークラビル302
TEL 052-715-6270 FAX 052-715-6271

福岡営業所／〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂6-1-39エルグランド・大産102号
TEL 092-481-7551 FAX 092-481-7636

●この本の内容は 2020 年 7 月現在のものです。仕様等は製品改良のため予告なしに変更することがあります。
●本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製は堅くお断りします。